

2025年度 年間行事予定表

【前期】

日	曜	4月	日	曜	5月	日	曜	6月	日	曜	7月	日	曜	8月	日	曜	9月		
1	火		1	木		1	日		1	火		1	金		1	月			
2	水		2	金		2	月		2	水		2	土		2	火			
3	木		3	土		3	火	総探③	3	木		3	日		3	水			
4	金		4	日		4	水	3年次生 三者懇談 (オンライン)	4	金		4	月		4	木			
5	土		5	月		5	木			5	土		5	火		5	金		
6	日		6	火		6	金			6	日		6	水		6	土		
7	月		7	水		7	土			7	月		7	木		7	日		
8	火		8	木		8	日			8	火	前期 定期試験対策講座	8	金		8	月		
9	水		9	金		9	月			9	水			9	土		9	火	総探④
10	木		10	土		10	火			10	木		10	日		10	水	1・2年次生 個人面談(三者面談) (オンライン)	
11	金		11	日		11	水			11	金		11	月		11	木		
12	土		12	月		12	木		12	土		12	火		12	金			
13	日	入学式(特活)	13	火	総探②	13	金		13	日		13	水		13	土			
14	月	オリエンテーション(特活)	14	水		14	土		14	月		14	木		14	日			
15	火	総探①	15	木		15	日		15	火	オンラインHR③(特活)	15	金		15	月			
16	水		16	金		16	月		16	水	前期 定期試験対策講座	16	土		16	火	オンラインHR⑤(特活)		
17	木	オリエンテーション(特活)	17	土		17	火	オンラインHR②(特活)	17	木			17	日		17	水		
18	金		18	日		18	水		18	金		18	月		18	木			
19	土		19	月		19	木		19	土		19	火	オンラインHR④(特活)	19	金			
20	日		20	火	オンラインHR①(特活)	20	金		20	日		20	水	3年次生 三者懇談 (オンライン)	20	土			
21	月	個人面談 (オンライン)	21	水		21	土		21	月		21	木			21	日		
22	火			22	木		22	日		22	火	前期 定期試験対策講座	22		金		22	月	1・2年次生 個人面談(三者面談) (オンライン)
23	水			23	金		23	月	報告課題支援 オンライン授業	23	水		23		土		23	火	
24	木			24	土		24	火			24	木	報告課題支援 オンライン授業	24	日		24	水	
25	金		25	日		25	水		25	金		25	月	報告課題支援 オンライン授業	25	木			
26	土		26	月	報告課題支援 オンライン授業	26	木		26	土		26	火			26	金		
27	日		27	火			27	金		27	日		27	水		27	土		
28	月		28	水			28	土		28	月	報告課題支援 オンライン授業	28	木		28	日		
29	火		29	木			29	日		29	火			29	金		29	月	
30	水		30	金		30	月	報告課題提出〆切日	30	水		30	土		30	火			
			31	土	報告課題提出〆切日				31	木	報告課題提出〆切日	31	日	報告課題提出〆切日					

2025年度 年間行事予定表

【後期】

日	曜	10月	日	曜	11月	日	曜	12月	日	曜	1月	日	曜	2月	日	曜	3月	
1	水		1	土		1	月	3年次生後期	1	木		1	日		1	日		
2	木		2	日		2	火	総探⑤	2	金		2	月		2	月		
3	金		3	月		3	水	定期試験対策講座	3	土		3	火		3	火	総探⑥	
4	土		4	火		4	木		4	日		4	水		4	水		
5	日		5	水		5	金		5	月	1・2年次生 個人面談 (オンライン)	5	木		5	木		
6	月		6	木		6	土		6	火		6	金		6	金		
7	火		7	金		7	日		7	水		7	土		7	土		
8	水		8	土		8	月		8	木		8	日		8	日		
9	木		9	日		9	火		9	金		9	月		9	月	1・2年次生 履修指導・個人面談 (オンライン)	
10	金		10	月	3年次生 三者懇談 (オンライン)	10	水		10	土		10	火		10	火		
11	土		11	火		11	木		11	日		11	水		11	水		
12	日		12	水		12	金		12	月		12	木		12	木		
13	月		13	木		13	土		13	火	1・2年次生後期 定期試験対策講座	13	金		13	金		
14	火		14	金	14	日		14	水	14		土		14	土			
15	水		15	土		15	月		15	木			15	日		15	日	卒業式
16	木		16	日		16	火	オンラインHR⑧(特活)	16	金			16	月		16	月	
17	金		17	月		17	水		17	土		17	火	オンラインHR⑩(特活)	17	火	オンライン集会(特活)	
18	土		18	火	オンラインHR⑦(特活)	18	木		18	日		18	水		18	水		
19	日		19	水		19	金		19	月		19	木		19	木		
20	月		20	木		20	土		20	火	オンラインHR⑨(特活)	20	金		20	金		
21	火	オンラインHR⑥(特活)	21	金		21	日		21	水		21	土		21	土		
22	水		22	土		22	月	報告課題支援 オンライン授業	22	木		22	日		22	日		
23	木		23	日		23	火			23	金		23	月		23	月	
24	金		24	月		24	水			24	土		24	火	1・2年次生 履修指導・個人面談 (オンライン)	24	火	
25	土		25	火	報告課題支援 オンライン授業	25	木			25	日		25	水		25	水	
26	日		26	水		26	金		26	月		26	木	26		木		
27	月	報告課題支援 オンライン授業	27	木		27	土		27	火		27	金	27		金		
28	火		28	金			28	日		28	水		28	土	28	土		
29	水		29	土		29	月		29	木				29	日			
30	木			30	日	報告課題提出〆切日	30	火		30	金				30	月		
31	金	報告課題提出〆切日				31	水	報告課題提出〆切日	31	土					31	火		

創志学園高等学校 2025年度 スクーリング時間割

履修モデルによる標準的な時間割例です。

生徒が履修する科目によって、時間割は異なります。

スクーリングは、前期・後期、各5日間です。

スクーリング期間中に、面接指導（3日）および単位認定試験（2日）を実施します。

面接指導・単位認定試験の1コマは50分です。

各会場の開始時間・時間割は、会場ごとに異なります。参加する会場ごとに連絡をします。

特に転入生については、それまでの修得科目により、時間割が大きく異なります。

前期時間割（例）

		9:30～	10:30～	11:30～	13:10～	14:10～	15:10～	16:10～
		1時間目	2時間目	3時間目	4時間目	5時間目	6時間目	7時間目
面接指導 1日目	1年次	特別活動	書道Ⅰ	書道Ⅰ	英語コミュⅠ	英語コミュⅠ	英語コミュⅠ	数学Ⅰ
	2年次	特別活動	論理表現Ⅰ	論理表現Ⅰ	生物基礎	生物基礎	数学Ⅱ	
	3年次	特別活動	地学基礎	地学基礎	体育Ⅲ	体育Ⅲ	体育Ⅲ	

		9:30～	10:30～	11:30～	13:10～	14:10～	15:10～
		1時間目	2時間目	3時間目	4時間目	5時間目	6時間目
面接指導 2日目	1年次	体育Ⅰ	体育Ⅰ	保健Ⅰ	言語文化	現代の国語	地理総合
	2年次	情報Ⅰ	歴史総合	論理国語	体育Ⅱ	体育Ⅱ	保健Ⅱ
	3年次	地理探究	英語コミュⅡ	英語コミュⅡ	英語コミュⅡ	英語コミュⅡ	文学国語

		9:30～	10:30～	11:30～	13:10～	14:10～	15:10～
		1時間目	2時間目	3時間目	4時間目	5時間目	6時間目
面接指導 3日目	1年次	科学と人間生活	科学と人間生活	公共	数学A	総合探究	総合探究
	2年次	倫理	家庭総合	家庭総合	総合探究	総合探究	
	3年次	数学B	政治経済	総合探究	総合探究		

		9:30～	10:30～	11:30～	13:10～	14:10～	15:10～
		1時間目	2時間目	3時間目	4時間目	5時間目	6時間目
単位認定試験 1日目	1年次	現代の国語	数学Ⅰ	科学と人間生活	地理総合	保健Ⅰ	公共
	2年次	数学Ⅱ	論理国語	論理表現Ⅰ	家庭総合	体育Ⅱ	保健Ⅱ
	3年次	地学基礎	体育Ⅲ	数学B	政治経済		

		9:30～	10:30～	11:30～	13:10～	14:10～	15:10～
		1時間目	2時間目	3時間目	4時間目	5時間目	6時間目
単位認定試験 2日目	1年次	数学A	体育Ⅰ	英語コミュⅠ	言語文化	書道Ⅰ	特別活動
	2年次	情報Ⅰ	生物基礎	歴史総合	倫理	特別活動	
	3年次	地理探究	英語コミュⅡ	文学国語	特別活動		

後期時間割（例）

	9:30～	10:30～	11:30～	13:10～	14:10～	15:10～
年次	1時間目	2時間目	3時間目	4時間目	5時間目	6時間目
面接指導	1年次	特別活動	書道Ⅰ	書道Ⅰ	英語コミュⅠ	英語コミュⅠ
1日目	2年次	特別活動	論理表現Ⅰ	論理表現Ⅰ	生物基礎	生物基礎
	3年次	特別活動	地学基礎	地学基礎	体育Ⅲ	体育Ⅲ

	9:30～	10:30～	11:30～	13:10～	14:10～	15:10～
年次	1時間目	2時間目	3時間目	4時間目	5時間目	6時間目
面接指導	1年次	体育Ⅰ	体育Ⅰ	保健Ⅰ	言語文化	現代の国語
2日目	2年次	情報Ⅰ	歴史総合	論理国語	体育Ⅱ	体育Ⅱ
	3年次	地理探究	英語コミュⅡ	英語コミュⅡ	英語コミュⅡ	英語コミュⅡ

	9:30～	10:30～	11:30～	13:10～	14:10～	15:10～
年次	1時間目	2時間目	3時間目	4時間目	5時間目	6時間目
面接指導	1年次	科学と人間生活	科学と人間生活	公共	数学A	総合探究
3日目	2年次	倫理	家庭総合	家庭総合	総合探究	総合探究
	3年次	数学B	政治経済	総合探究	総合探究	

	9:30～	10:30～	11:30～	13:10～	14:10～	15:10～
年次	1時間目	2時間目	3時間目	4時間目	5時間目	6時間目
単位認定試験	1年次	現代の国語	数学Ⅰ	科学と人間生活	地理総合	保健Ⅰ
1日目	2年次	数学Ⅱ	論理国語	論理表現Ⅰ	家庭総合	体育Ⅱ
	3年次	地学基礎	体育Ⅲ	数学B	政治経済	

	9:30～	10:30～	11:30～	13:10～	14:10～	15:10～
年次	1時間目	2時間目	3時間目	4時間目	5時間目	6時間目
単位認定試験	1年次	数学A	体育Ⅰ	英語コミュⅠ	言語文化	書道Ⅰ
2日目	2年次	情報Ⅰ	生物基礎	歴史総合	倫理	特別活動
	3年次	地理探究	英語コミュⅡ	文学国語	特別活動	

2025年度 創志学園高等学校 スクーリング 前期計画

日 曜	5 月	日 曜	6 月	日 曜	7 月	西日本	日 曜	8 月	西日本	日 曜	9 月	西日本
1 木		1 日		1 火			1 金		福岡⑤	1 月	補完 2	補完 2
2 金		2 月		2 水		岡山 面接①②③	2 土			2 火	千葉	なんば
3 土		3 火		3 木			3 日			3 水	面接①②③	面接①②③
4 日		4 水		4 金			4 月		いばらき 定期試験④⑤	4 木	定期試験④⑤	定期試験④⑤
5 月		5 木		5 土	千葉 面接③		5 火	横浜 面接①②③ 定期試験④⑤	札幌 面接①②③ 定期試験④⑤	5 金		
6 火		6 金		6 日			6 水		なんば 定期試験④⑤	6 土		
7 水		7 土	千葉 面接①	7 月		岡山 定期試験④⑤	7 木			7 日		
8 木		8 日		8 火			8 金			8 月		
9 金		9 月		9 水			9 土			9 火		
10 土		10 火		10 木			10 日			10 水		
11 日		11 水		11 金			11 月			11 木		
12 月		12 木		12 土			12 火			12 金		
13 火		13 金		13 日	小平 面接③		13 水			13 土		
14 水		14 土		14 月			14 木			14 日		
15 木		15 日	小平 面接②	15 火			15 金			15 月		
16 金		16 月		16 水			16 土			16 火		
17 土		17 火		17 木			17 日			17 水		
18 日	小平 面接④	18 水		18 金			18 月	小平 定期試験④⑤		18 木	埼玉 面接①②③	
19 月		19 木		19 土			19 火		台東区 面接①②③ 定期試験④⑤	19 金		
20 火		20 金		20 日			20 水	千葉 定期試験④⑤		20 土		
21 水		21 土	千葉 面接②	21 月			21 木			21 日		
22 木		22 日		22 火			22 金			22 月		
23 金		23 月		23 水	仙台 面接①②③ 定期試験④⑤		23 土			23 火		
24 土		24 火		24 木		いばらき 面接指導 ①②③	24 日			24 水	埼玉 定期試験④⑤	
25 日		25 水		25 金			25 月			25 木		
26 月		26 木		26 土			26 火	補完 1 千葉 面接①②③ 定期試験④⑤		26 金	補完埼玉 面接①	
27 火		27 金		27 日			27 水			27 土		
28 水		28 土		28 月	名古屋 面接①②③ 定期試験④⑤		28 木			28 日	補完埼玉 面接②	補完 岡山 面接①②③ 定期試験④⑤
29 木		29 日		29 火			29 金			29 月		
30 金		30 月		30 水		福岡 面接①②③ 定期試験④⑤ ～8月1日	30 土			30 火	補完埼玉 面接③	
31 土				31 木			31 日				定期試験④⑤・1・2日	

スクーリングには面接指導と定期試験があります。
面接指導は①②③、定期試験④⑤で表記しています。

スクーリング前期

- 1日目：面接①
 - 2日目：面接②
 - 3日目：面接③
 - 4日目：定期試験④
 - 5日目：定期試験⑤
- スクーリング後期
- 6日目：面接⑥
 - 7日目：面接⑦
 - 8日目：面接⑧
 - 9日目：定期試験⑨
 - 10日目：定期試験⑩

スクーリング会場は、1か所を指定します。
補完スクーリングは、指定したスクーリングを欠席した方のためのもです。

2025年度 スクーリング会場一覧

名称(地域)	スクーリング会場	所在地	最寄駅
札幌	専修学校クラーク高等学院 札幌大通校	北海道札幌市中央区大通東8-1-61	地下鉄バスセンター前駅
仙台	クラーク記念国際高等学校 仙台学習センター	宮城県仙台市若林区新寺1-7-21	仙台
埼玉	放送大学埼玉学習センター	埼玉県さいたま市大宮区錦町682-2	大宮
千葉	東京経営短期大学 (IPU東京)	千葉県市川市二俣625-1	西船橋
台東区	専門学校東京国際ビジネスカレッジ	東京都台東区柳橋2-7-5	浅草橋
小平	白梅学園大学・短期大学	東京都小平市小川町1-830	鷹の台
横浜	環太平洋大学 国際科学・教育研究所	神奈川県横浜市中区桜木町1-1-7 ヒューリックみなとみらい16F	桜木町
名古屋	専修学校クラーク高等学院 名古屋校	愛知県名古屋市中村区名駅3-11-20	名古屋
いばらき	立命館いばらきフューチャープラザ	大阪府茨木市岩倉町2-150	茨木
なんば	大阪公立大学 I-saiteなんば	大阪府大阪市浪速区敷津東2-1-41	なんば
岡山	IPU環太平洋大学 グローバルキャンパス	岡山県岡山市北区下石井2-2-1	岡山
福岡	専門学校東京国際ビジネスカレッジ 福岡校	福岡県福岡市中央区平尾1-7-1	薬院

西日本地区の会場です。その他は東日本地区の会場です。

2025年度 創志学園高等学校 スクーリング 後期計画

日	曜	10月	日	曜	11月	日	曜	12月	
1	水		1	土		1	月		
2	木		2	日	白梅 面接指導⑥	2	火		
3	金		3	月	文化の日	クラーク埼玉 面接⑥	3	水	
4	土		4	火			4	木	
5	日		5	水			5	金	
6	月		6	木			6	土	千葉 定期試験⑨
7	火		7	金			7	日	小平 定期試験⑨
8	水		8	土	千葉 面接指導⑥		8	月	
9	木		9	日			9	火	
10	金		10	月			10	水	
11	土		11	火			11	木	
12	日		12	水			12	金	
13	月		13	木			13	土	横浜 面接指導⑥⑦ 千葉 定期試験⑩
14	火		14	金			14	日	台東区 面接指導⑦
15	水		15	土			15	月	
16	木		16	日			16	火	
17	金		17	月			17	水	
18	土		18	火			18	木	
19	日		19	水			19	金	
20	月		20	木			20	土	小平 定期試験⑩ 横浜 面接⑧
21	火		21	金			21	日	
22	水		22	土	千葉 面接⑦		22	月	
23	木		23	日	埼玉 面接指導⑦⑧		23	火	札幌 面接指導⑥⑦⑧ 定期考査⑨⑩ 横浜 定期考査⑨⑩
24	金		24	月	小平 面接指導⑦		24	水	台東区 面接指導⑧ 定期試験⑨⑩ 名古屋 面接指導⑧ 定期試験⑨⑩
25	土		25	火	仙台 面接指導⑥⑦⑧ 定期試験⑨⑩	名古屋 面接指導⑥⑦	25	木	埼玉 定期試験⑨⑩
26	日	台東区 面接⑥	26	水			26	金	
27	月		27	木			27	土	
28	火		28	金			28	日	
29	水		29	土	千葉 面接⑧		29	月	
30	木		30	日	小平 面接指導⑧		30	火	
31	金						31	水	

冬休み

2025年度 創志学園高等学校 スクーリング 後期計画（補完）

日 曜	1 月			日 曜	2 月			日 曜	3 月			
1 木	冬休み			1 日				1 日				
2 金							2 月			2 月		
3 土							3 火			3 火		
4 日							4 水			4 水		
5 月							5 木			5 木		
6 火							6 金			6 金		
7 水				7 土				7 土				
8 木				8 日	台東区 補完		なんば 補完スクーリング2	8 日				
9 金			9 月			9 月						
10 土			10 火			10 火						
11 日		台東区 補完		11 水	台東区 補完			11 水				
12 月		台東区 補完		12 木			なんば	12 木				
13 火	横浜 補完スクーリング 1			13 金				13 金				
14 水				14 土				14 土				
15 木				15 日			岡山 補完スクーリング	15 日	卒業式			
16 金			16 月	横浜 補完スクーリング 2		16 月						
17 土			17 火			17 火						
18 日			18 水			18 水						
19 月			19 木			19 木						
20 火			20 金	横浜 補完スクーリング 2		20 金						
21 水			21 土			21 土						
22 木			22 日			22 日						
23 金			23 月			23 月						
24 土			24 火			24 火						
25 日		台東区 補完		25 水		25 水						
26 月				26 木		26 木						
27 火	横浜 補完スクーリング 1			27 金		27 金						
28 水				28 土		28 土						
29 木	横浜 補完スクーリング 2					29 日						
30 金						30 月						
31 土						31 火						

2024新課程年間指導計画一覧(一般科目)

一般科目

教科	科 目	単位数
国語	現代の国語	2
	言語文化	2
	論理国語	4
	文学国語	4
	国語表現	4
	古典探究	4
地理歴史	地理総合	2
	地理探究	3
	歴史総合	2
	日本史探究	3
	世界史探究	3
公民	公共	2
	倫理	2
	政治・経済	2
数学	数学Ⅰ	3
	数学Ⅱ	4
	数学Ⅲ	3
	数学A	2
	数学B	2
	数学C	2
理科	科学と人間生活	2
	物理基礎	2
	物理	4
	化学基礎	2
	化学	4
	生物基礎	2
	生物	4
	地学基礎	2
保健体育	体育Ⅰ	2
	体育Ⅱ	2
	体育Ⅲ	3
	保健Ⅰ	1
	保健Ⅱ	1
芸術	音楽Ⅰ	2
	美術Ⅰ	2
	書道Ⅰ	2
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3
	英語コミュニケーションⅡ	4
	英語コミュニケーションⅢ	4
	論理・表現Ⅰ	2
	論理・表現Ⅱ	2
	論理・表現Ⅲ	2
家庭科	家庭基礎	2
	家庭総合	4
情報	情報Ⅰ	2
	情報Ⅱ	2

年間指導計画

教科等		科目		単位数	報告課題回数	定期試験回数	
国語		現代の国語		2	6	2	
面接指導			実施学年・クラス等	指導者名			
規定回数(1)	メディアによる減免回数						
	Web(2)	放送視聴(3)	(1)-(2)-(3)				
2	1	0	1				
※検定教科書は、発行者の番号・略称、教科書の記号・番号を記載		発行者の番号・略称または出版社名	教科書の記号・番号	書名			
教科書	東京書籍	現国・703	現代の国語				
副教材等	-	-	-				
学習目標							
<p>国語学習を通じて、言葉そのものを正しく捉え、対象や概念を正しく表現できる一方で、その言葉の背景世界や行間まで意識することで豊かな言葉の力を育み、「言葉による見方・考え方」を働かせる。そのために「現代の国語」では以下の観点で学習目標とし、文章の論理的読解手法や、表現方法、分析方法などの現代に必要な知識や考え方を指導する。</p> <p>(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。【知識・技能】</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。【思考・判断・表現】</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。</p>							
定期試験範囲							
一学期末試験				学年末試験			
①読解編1 p18～23「水の東西」/Column p24～25「評論の型」/探究編1 p152～155「本を紹介する」/探究編2 p160～165「手順を整理して正確に伝える」				④読解編4 p76～82「真の自立とは」/Column p92～94「文章を読み比べるために」/探究編7 p205～209「異なる主張の文章を読み比べて自分の意見を書く」			
②読解編2 p33～39「言葉は世界を切り分ける」/Column p166～169「探究学習へのアプローチ」				⑤読解編5 p103～111「人工知能はなぜ椅子に座れないのか」/探究編8 p210～215「情報を整理しながら話し合う」/探究編9 p216～223「論証してレポートを書く」			
③読解編3 p170～177「発想を広げて課題を見つける」/探究編4 p178～185「新聞記事をもとに問いを作り、意見をまとめる」							
【添削指導(報告課題)】							
	学習範囲	単元目標			報告課題回数	Web授業回数	定期試験範囲 前期 後期
①	読解編1 p18～23「水の東西」 Column p24～25「評論の型」 探究編1 p152～155「本を紹介する」 探究編2 p160～165「手順を整理して正確に伝える」	【知識・技能】 ①論理的な文章の読解を通じて、主題を正しく把握する方法を理解している。 ②ブックトーク・ピリオパトルを通じて相手に伝わる表現手法について理解している。 【思考・判断・表現】 ①評論文の基本的な形と一般的な理論展開の流れを理解し判断することができる。 ②手順書の書き方を通じて表形式やフローチャート形式などの実用的表現を理解し適切に使用することができる。			1	1・2	○
②	読解編2 p33～39「言葉は世界を切り分ける」 Column p166～169「探究学習へのアプローチ」 探究編3 p170～177「発想を広げて課題を見つける」 探究編4 p178～185「新聞記事をもとに問いを作り、意見をまとめる」	【知識・技能】 ①探究学習の目標目的を学び、その基本的な方法や考えなどの知識を理解している。 【思考・判断・表現】 ①探究学習を通じて、自分で問題提起を行い、その調査・検証・発表の方法を適切に使うことができる。 ②文章の構造を把握して論理的な文章の構造的読解を理解し、その内容を適切に判断できる。			2	3・4	○
③	読解編3 p54～63「時間と自由の関係について」 探究編5 p186～193「メディアを適切に使い分けながら、情報を収集する」 探究編6 p194～200「調べた情報を説明資料にまとめる」 Column p201～204「グラフや写真の読み取り方」	【知識・技能】 ①探究学習に関連して、メディアの特性とメディアリテラシーについて正しく理解している。 ②グラフや写真など非言語情報に触れその読解手法を理解し実践することができる。 【思考・判断・表現】 ①キーワードの展開を通読から学び、論の展開方法を理解し、本文の詳細な構造分析をすることができる。			3	5・6	
④	読解編4 p76～82「真の自立とは」 Column p92～94「文章を読み比べるために」 探究編7 p205～209「異なる主張の文章を読み比べて自分の意見を書く」	【知識・技能】 ①段落相互の関係など、文脈を構成する言葉を利用して論理的な文章の構造解釈の方法を正しく身に付けている。 【思考・判断・表現】 ①同一テーマの文章を比較し、主張やデータの使い方の違いを理解し、多角的な視点で本文を理解することができる。 ②様々な意見からそれぞれの立場や考え方の違いを比較考察し、そこから自分の意見につなげる力を身に付けている。			4	7・8	○
⑤	読解編5 p103～111「人工知能はなぜ椅子に座れないのか」 探究編8 p210～215「情報を整理しながら話し合う」 探究編9 p216～223「論証してレポートを書く」	【知識・技能】 ①報告文(レポート)の体裁や作成の流れを学び、実際に探究学習の成果を作成し発表することができる。 【思考・判断・表現】 ①これまで学んだ論理的な文章の解法をもとに、自分の観点で理解し整理する力を身に付けている。 ②「話し合い」の方法を学び、実際に自分の意見を交換し話し合いを通じて、考え方を高めることができる。			5	9・10	○
⑥	読解編6 p126～133「暇と退屈の倫理学」 Column p224～228「引用の方法」 探究編10 p229～236「探究したことを発信する」	【知識・技能】 ①引用のルールや効果的な方法を学び、論文や発表用資料の正しい作成法を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ①抽象的概念をテーマにした論理的な文章の読解を通じて、概念を論証する方法を適切に使うことができる。 ②「現代の国語」を通じて学んだことの中から1つテーマをとりあげ探究学習の成果として発表することができる。			6	11・12	
学習方法							
【添削指導(報告課題)】							
1 マイページ内の「講座視聴」の学習を終えること。							
2 教科書を見ながら報告課題に取り組み、期限内に提出すること。							
3 各回の添削指導後も、疑問点などがあれば、質問メールや面接指導時を活用してそれらの解消に努めること。							
【面接指導(スクーリング)】							
1 自宅学習に必要な基礎的・基本的な知識や技能を学ぶ機会とすること。							
2 教員から直接指導を受けたり、他の生徒と議論や協力をしながら学習に取り組むこと。							
【定期試験】							
1 実施回数 前期に1回、後期に1回実施する。							
2 出題範囲 報告課題の内容を中心とする。							
評価方法							

【知識・技能】報告課題、定期試験での成果にもとづき評価をする。

【思考・判断・表現】報告課題、面接指導、定期試験での成果にもとづき評価をする。

【主体的に学習に取り組む態度】マイページ内の「講座視聴」の学習および報告課題の取り組み状況、面接指導および定期試験の出席状況にもとづき評価をする。
評定は、3観点を点数化し、科目の目標や内容に照らし合せて、5段階評価を行う。

年間指導計画

教科等		科目		単位数	報告課題回数	定期試験回数
国語		言語文化		2	6	2
面接指導				実施学年・クラス等	指導者名	
規定回数(1)	メディアによる減免回数		(1)-(2)-(3)			
2	Web(2)	放送視聴(3)	1			
※検定教科書は、発行者の番号・略称、教科書の記号・番号を記載		発行者の番号・略称または出版社名	教科書の記号・番号	書名		
教科書	東京書籍	言文・701		新編言語文化		
副教材等	-	-		-		
学習目標						
<p>国語学習を通じて、言葉そのものを正しく捉え、対象や概念を正しく表現できる一方で、その言葉の背景世界や行間まで意識することで豊かな言葉の力を育み、「言葉による見方・考え方」を働かせる。そのために「言語文化」では以下の観点を学習目標とし、日本語の豊かさや奥深さ、そして言語と文化の関連について指導する。</p> <p>(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。【知識・技能】</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。【思考・判断・表現】</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。</p>						
定期試験範囲						
一学期末試験				学年末試験		
<p>①随筆 p10～15「さくらさくらさくら」/小説 p24～35「とんかつ」/p45～48「小説の読み方」</p> <p>②古文入門 p122～123「児のそら寝」/p124～125「古文の言葉と仮名遣い」/p128～129「古語を調べるために」 p134～136「用言の活用」/詩歌 p154～163「折々の歌」/p164～166「和歌」</p>				<p>④詩歌 p62～65「I was born」/小説 p72～87「羅生門」/p88～92言語活動「元になった古典作品と読み比べよう」</p> <p>⑥論語 p238～241「論語一八章」/p242～245「『論語』の注釈を読む」/史話 p248～249「曹公戦於白馬」(三国志)</p>		
【添削指導(報告課題)】						
	学習範囲	単元目標		報告課題回数	Web授業回数	定期試験範囲 前期 後期
①	現代文編 随筆 p10～15「さくらさくらさくら」 小説 p24～35「とんかつ」/p45～48「小説の読み方」	【知識・技能】 ①随筆の文章的特性を理解し、その読解手法を正しく使うことができる。 【思考・判断・表現】 ①現代の随筆および小説作品を通読し、筆者の情緒的な感性を味わうことができる。 ②小説の基本的な知識を把握し、小説の鑑賞方法や鑑賞のポイントを理解することができる。		1	1・2	○
②	古文編 古文入門 p122～123「児のそら寝」/p124～125「古文の言葉と仮名遣い」/p128～129「古語を調べるために」 p134～136「用言の活用」 詩歌 p154～163「折々の歌」/p164～166「和歌」	【知識・技能】 ①古文を通読するために必要な、基本的な決まり事に関する知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ①古文の通読・音読を通して、古代日本の文化や精神性といった古典そのものの魅力に触れることができる。 ②近代以降の詩歌に触れ、韻文特有の表現から日本の精神文化について考えるきっかけにできる。		2	3・4	○
③	漢文編 漢文入門 p210～218「訓詁の基本」 漢詩 p229「春曉」(孟浩然)、「春曉」(幸田露伴) p233「春望」(杜甫)/p234「漢詩と日本文学」	【知識・技能】 ①漢文を通読するのに必要な訓詁のルールと基本的な句法の知識を身に付ける。 【思考・判断・表現】 ①中国の古典である漢文が日本の文化や日本人の精神性に与えた影響を知るきっかけにできる。 ②中国近代詩(唐詩)のルールを学び、代表的な唐詩の解釈から当時の中国文化や精神性を理解している。		3	5・6	
④	現代文編 詩歌 p62～65「I was born」 小説 p72～87「羅生門」/p88～92言語活動「元になった古典作品と読み比べよう」	【知識・技能】 ①和歌や俳句、詩など日本の韻文特有の決まりごとを正しく理解している。 【思考・判断・表現】 ①現代詩の理解を通じ、現代日本の文化や日本人の精神性を見つめ直すことができる。 ②明治以降の小説を読むことで、近代日本の精神性と現代の違いについて考察できる。 ③近代と古典の比較から古典的な日本の精神文化と明治時代以降の日本人の変化を考察できる。		4	7・8	○
⑤	古文編 古文入門 p126～127「用光と白波」(今鏡) 随筆 p146～148「うつくしきもの」(枕草子) 物語 p170～171「芥川」(伊勢物語)/p203～208「文体の変遷」	【知識・技能】 ①中文学の代表的な短編3作品を読み、基本文法や古典解釈の方法を正しく身に付けている。 【思考・判断・表現】 ①ジャンルが違う3作品の相互比較から共通点や相異点などを発見し中文学の特徴を理解できる。 ②様々な文体の知識を学び、豊かな日本語の表現技法を正しく理解し、解釈することができる。		5	9・10	○
⑥	漢文編 論語 p238～241「論語一八章」/p242～245「『論語』の注釈を読む」 史話 p248～249「曹公戦於白馬」(三国志)	【知識・技能】 ①中国古典特有の「注釈書」に触れ中国文化の学問的姿勢を正しく把握しその精神性を理解できる。 【思考・判断・表現】 ①古代日本から現代にいたるまで強い影響を与える「論語」から人間の普遍性を理解することができる。 ②日本でも人気のある「三国志」に触れ、中国と日本の文化に共通する価値観について考察することができる。		6	11・12	
学習方法						
【添削指導(報告課題)】						
<p>1 マイページ内の「講座視聴」の学習を終えること。</p> <p>2 教科書を見ながら報告課題に取り組み、期限内に提出すること。</p> <p>3 各回の添削指導後も、疑問点などがあれば、質問メールや面接指導時を活用してそれらの解消に努めること。</p>						
【面接指導(スクーリング)】						
<p>1 自宅学習に必要な基礎的・基本的な知識や技能を学ぶ機会とすること。</p> <p>2 教員から直接指導を受けたり、他の生徒と議論や協力をしながら学習に取り組むこと。</p>						
【定期試験】						
<p>1 実施回数 前期に1回、後期に1回実施する。</p> <p>2 出題範囲 報告課題の内容を中心とする。</p>						
評価方法						
<p>【知識・技能】報告課題、定期試験での成果にもとづき評価をする。</p> <p>【思考・判断・表現】報告課題、面接指導、定期試験での成果にもとづき評価をする。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】マイページ内の「講座視聴」の学習および報告課題の取り組み状況、面接指導および定期試験の出席状況にもとづき評価をする。</p> <p>評定は、3観点を点数化し、科目の目標や内容に照らし合わせて、5段階評価を行う。</p>						

年間指導計画

教科等		科目		単位数	報告課題回数	定期試験回数
国語		論理国語		4	12	2
面接指導						
規定回数(1)	メディアによる減免回数		(1)-(2)-(3)	実施学年・クラス等	指導者名	
	Web(2)	放送視聴(3)				
4	2	0	2			
※検定教科書は、発行者の番号・略称、教科書の記号・番号を記載		発行者の番号・略称または出版社名	教科書の記号・番号	書名		
教科書	東京書籍	論国702	精選論理国語			
副教材等	-	-	-			

学習目標

国語学習を通して、言葉そのものを正しく捉え、対象や概念を正しく表現できる一方で、その言葉の背景世界や行間まで意識することで豊かな言葉の力を育み、「言葉による見方・考え方」を働かせる。そのために「論理国語」では、「現代の国語」「言語文化」の学習を踏まえ、創造的・論理的思考の力を育成すると同時に、実社会に必要な、論理的に書く・批判的に読む能力を育成することを目標とする。また、論理的に考え、表現するために必要な言葉や情報の扱い方などについても十分に育成する。

- (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。【知識・技能】
 - (2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。【思考・判断・表現】
 - (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読みに親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】
- 以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。

定期試験範囲

一学期末試験		学年末試験	
論理の力を鍛えよう(p21~22) 2論証する力・2言葉と認識「相手依存の自己規定」(p24~33) 3要約する力(p142~149) 1部『ミロのヴィーナス』(p14~20)	論理の力・論理とは何か・つなげる力(p134~141) 4質問する力(p150~154) 『地図の想像力』(p110~130)	Ⅱ部『言語と記号』(p156~171) 『抗争する人間』(p272~281) 探究学習へのアプローチ(p314~328)	『鏡の中の現代社会』(p174~191) 言葉のトレーニング・やさしい日本語(p354~362) 探究編・1資料を整理し、テーマを吟味する(p284~291)

【添削指導(報告課題)】

	学習範囲	単元目標	報告課題回数	Web授業回数	定期試験範囲	
					前期	後期
①	論理の力を鍛えよう(p21~22) 論理の力 論理とは何か つなげる力(p134~141) 1部『ミロのヴィーナス』(p14~20)	【知識・技能】 ①「現代の国語」の振り返りをふまえて基本的な論理思考の方法を再確認できる。 ②正しい表現および語彙を理解できる。 【思考・判断・表現】 ①理論的思考について正しく理解し、それに基づいた思考を再現できる。 ②説明的文章を論理的に読み、理解し、それに対する自分の考えを持つことができる。	1	1・2	○	
②	論理の力 2論証する力 3要約する力(p142~149) 1部『6-MEANS』を読む 『地図の想像力』(p110~130)	【知識・技能】 ①基本的な論理思考の方法を再確認できる。 ②正しい表現および語彙を理解できる。 【思考・判断・表現】 ①論証する方法と要約する方法を正しく理解し、実践できる。 ②実際に説明的文章を読み、その内容を適切に論証し正しく要約できる。	2	3・4	○	
③	論理の力 4質問する力(p150~154) 2言葉と認識『相手依存の自己規定』(p24~33)	【知識・技能】 ①基本的な論理思考の方法を再確認できる。 ②正しい表現および語彙を理解できる。 【思考・判断・表現】 ①「質問」すること(論点を踏まえて疑問を出す)に関して正しく理解し、実践できる。 ②実際に説明的文章を読み、その内容を適切に「質問」をもとに論議をつくらることができる。	3	5・6	○	
④	Column 文章を読み比べるために(p61~62) 1部『3人間を見つめる』 『メディアの変容』(p52~60)	【知識・技能】 ①基本的な論理思考の方法を再確認できる。 ②正しい表現および語彙を理解できる。 【思考・判断・表現】 ①文章の比較考察について、その方法や内容を正しく理解し、実践できる。 ②実際に説明的文章を読み、他の文章と比較して多角的な視点を持つことができる。	4	7・8		
⑤	1部『4学問のまなざし』 『環境』とは何か(p73~82) 探究編・4資料を活用して論述する(p306~313)	【知識・技能】 ①探究学習の方法について正しく理解し、適切な方法を選択できる。 ②正しい表現および語彙を理解できる。 【思考・判断・表現】 ①論題に対する適切な資料を用意し、それをもとに論述することができる。 ②実際に説明的文章を読み、そこから論議を設定し、論述することができる。	5	9・10		
⑥	1部『5社会を捉え直す』 『である』こと『する』こと(p84~p97) 思考への扉・1実在論vs.唯名論(p108)	【知識・技能】 ①実在論・唯名論といった哲学的な立場を正しく理解できる。 ②正しい表現および語彙を理解できる。 【思考・判断・表現】 ①様々な哲学的立場を自ら調べ、それを参考に自分の考えをまとめることができる。 ②実際に説明的文章を読み、そこから考え方や思想的な立場を捉え自分の参考にできる。	6	11・12		
⑦	Ⅱ部『1言葉を再考する』言語と記号(p156~171) 言葉のトレーニング・やさしい日本語(p354~362)	【知識・技能】 ①「言葉」と「記号」の意味を正しく理解できる。 ②正しい表現および語彙を理解できる。 【思考・判断・表現】 ①いわゆる記号論や言語に関する論を調べ、それを自分の考えに応用することができる。 ②実際に説明的文章を読み、そこから言語(日本語)の特性を自分なりにまとめることができる。	7	13・14	○	
⑧	Ⅱ部『6自己と社会』 『抗争する人間』(p272~281) 探究学習へのアプローチ(p314~328)	【知識・技能】 ①前回の授業をふまえて、探究学習の方法について正しく理解し、適切な方法を選択できる。 ②正しい表現および語彙を理解できる。 【思考・判断・表現】 ①論題に対する適切な資料を用意し、それをもとに論述することができる。 ②実際に説明的文章を読み、そこから論議を設定し、論述することができる。	8	15・16	○	
⑨	Ⅱ部『2近代という時代』 『鏡の中の現代社会』(p174~191) 探究編・1資料を整理し、テーマを吟味する(p284~291)	【知識・技能】 ①探究学習の方法に基づき、適切に探究学習を実践できる。 ②正しい表現および語彙を理解できる。 【思考・判断・表現】 ①探究学習に対して適切なテーマを設定し、探究の準備をすることができる。 ②実際に説明的文章を読み、必要な情報を抽出し参照することができる。	9	17・18	○	
⑩	Ⅱ部『4他者のいる思考』 『ロボットは意思を持つか』(p210~230) 探究編・2仮説を立てて検証する(p292~299)	【知識・技能】 ①探究学習の方法に基づき、適切に探究学習を実践できる。 ②正しい表現および語彙を理解できる。 【思考・判断・表現】 ①探究学習に対して適切に仮説を立てて論理的に論証することができる。 ②実際に説明的文章を読み、その論議の過程を分析し、参考にできる。	10	19・20		
⑪	Ⅱ部『3メディアを問い直す』 『おじいさんのランプ』(p194~208) 探究編・3社会的な話題に関する文章を読み、短い論文を書く(p300~305)	【知識・技能】 ①探究学習の方法に基づき、適切に探究学習を実践できる。 ②正しい表現および語彙を理解できる。 【思考・判断・表現】 ①「社会的な話題」に対して適切に論述する過程を理解し、実践することができる。 ②実際に説明的文章を読み、その構造を正しく理解し、自分の論述に応用できる。	11	21・22		
⑫	Ⅱ部『5困難な時代に』 『社会の壊れるとき-知性的であるとはどういうことか』(p232~240) 言葉のトレーニング・地方都市を考える(p336~343)	【知識・技能】 ①探究学習の方法に基づき、適切に探究学習を実践できる。 ②正しい表現および語彙を理解できる。 【思考・判断・表現】 ①前回の学習をふまえて「社会的な話題」に対して適切に論述できる。 ②実際に説明的文章を読み、その構造を正しく理解し、自分の論述に応用できる。	12	23・24		

学習方法

【添削指導(報告課題)】

- 1 マイページ内の「講座視聴」の学習を終えること。
- 2 教科書を見ながら報告課題に取り組み、期限内に提出すること。
- 3 各回の添削指導後も、疑問点などがあれば、質問メールや面接指導時を活用してそれらの解消に努めること。

【面接指導(スクーリング)】

- 1 自宅学習に必要な基礎的・基本的な知識や技能を学ぶ機会とすること。
- 2 教員から直接指導を受けたり、他の生徒と議論や協力をしながら学習に取り組むこと。

【定期試験】

- 1 実施回数 前期に1回、後期に1回実施する。
- 2 出題範囲 報告課題の内容を中心とする。

評 価 方 法

【知識・技能】報告課題、定期試験での成果にもとづき評価をする。

【思考・判断・表現】報告課題、面接指導、定期試験での成果にもとづき評価をする。

【主体的に学習に取り組む態度】マイページ内の「講座視聴」の学習および報告課題の取り組み状況、面接指導および定期試験の出席状況にもとづき評価をする。

評定は、3観点を点数化し、科目の目標や内容に照らし合せて、5段階評価を行う。

年間指導計画

教科等		科目		単位数	報告課題回数	定期試験回数
国語		文学国語		4	12	2
面直接指導			実施学年・クラス等	指導者名		
規定回数(1)	メディアによる減免回数					
	Web(2)	放送視聴(3)	(1)-(2)-(3)			
4	2	0	2			
※検定教科書は、発行者の番号・略称、教科書の記号・番号を記載	発行者の番号・略称または出版社名	教科書の記号・番号	書名			
教科書	東京書籍	文国701	文学国語			
副教材等	-	-	-			
学習目標						
<p>国語学習を通じて、言葉そのものを正しく捉え、対象や概念を正しく表現できる一方で、その言葉の背景世界や行間まで意識することで豊かな言葉の力を育み、「言葉による見方・考え方」を働かせる。そのために「文学国語」では、「言語文化」現代の国語の学習を踏まえ、「思考力・判断力・表現力」の感性・情緒の側面を育成することで、共感や想像の力を育む。また、文学作品を通じて表現力を深め、作品の周辺から考えられる多角的な視野を獲得することを目標とする。</p> <p>(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。【知識・技能】</p> <p>(2) 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。【思考・判断・表現】</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。</p>						
定期試験範囲						
一学期末試験			学年末試験			
【I部】1随筆「光の窓」(p8~14)・「雨月物語」(p15~18) 【I部】2小説1「山月記」(p20~33)・文学への扉1 変身ということ(p42)・「窓」(p34~39) 【I部】4小説2「沖縄の手記から」(p71~91) 【附録】五不安と混乱(p376~386・4行上段) 【附録】六近代から現代へ〜「ポストモダン」の現代(p386・5行上段~p393)			【II部】1随筆「国語から旅立つて」(p190~198)・「書かれた風景の中へ」(p199~205) 【II部】2小説1「コンビニの母」(p217~222)・文学への扉4 記号も言語の一種(p224) 【II部】3詩歌「夏の姿」(p226~227)・「帰途」(p228~229)・「平気」(p236~244)・参考正岡子規(p245) 【II部】4随筆2「空っぽの瓶」(p248~254)・「クレールという女」(p255~265) 【II部】4戯曲「父と暮らせば」(p266~280)			
【添削指導(報告課題)】						
	学習範囲	単元目標	報告課題回数	Web授業回数	定期試験範囲	
					前期	後期
①	【I部】1随筆「光の窓」(p8~14)「雨月物語」(p15~18) 【附録】近現代の日本文学史(近代文学史) 一啓蒙の時代〜五不安と混乱 (p376~386・4行上段)	『文章のメッセージ・近現代文学を俯瞰するⅠ』 【知識・技能】 ①主要な代表作と作家、主な文芸思潮などの近代文学史の基本事項を理解できる。 ②近代文学の思潮の変遷などの概要を正しく理解できる。 【思考・判断・表現】 ①随筆の基本的な形と一般的な理論展開の流れを理解し判断することができる。 ②表現や背景から筆者の考えを理解、あるいは共感することができる。	1	1・2	○	
②	【I部】2小説1「山月記」(p20~33) 文学への扉1 変身ということ(p42) 【附録】近現代の日本文学史(現代文学史) 六近代から現代へ〜「ポストモダン」の現代(p386・5行上段~p393)	『近代小説を読むⅠ・近現代文学を俯瞰するⅡ』 【知識・技能】 ①ポストモダニズムなど近代からの文学思潮上の変遷を理解できる。②戦後文学の主な思潮を理解できる。 【思考・判断・表現】 ①小説の基本的な形と文脈を理解し、筆者のメッセージを正しく判断できる。 ②異類変身譚の一つである「山月記」とその他の作品の異同を理解できる。	2	3・4	○	
③	【I部】2小説1「窓」(p34~39) 【I部】4小説2「沖縄の手記から」(p71~91)	『現代小説を読む』 【知識・技能】 ①扱う作品の作品背景や作家などの基本事項を理解できる。 ②小説の書かれた背景知識を理解できる。 【思考・判断・表現】 ①現代小説を論理的に読解し、物語の流れを理解し判断することができる。 ②作品の表現やその背景などから筆者の考えを正しく理解、あるいは共感することができる。	3	5・6	○	
④	【I部】3評論1「言葉を生かす」(p44~49) 「詩と感情生活」(p50~55) 【附録】創作へのアプローチ(p394~399) ※文学のジャンル説明(教科書外)含む	『様々な価値観に触れる・創作へのアプローチ』 【知識・技能】 ①文学のジャンルとその表現的特徴などの知識を正しく理解できる。 ②評論文の形式や特徴などの知識を正しく理解できる。 【思考・判断・表現】 ①評論の基本的な形と一般的な理論展開の流れを理解し正しく判断することができる。 ②自分の好きなもの・ことなどについて自分の意見をもち、相手に伝えるように表現できる。	4	7・8		
⑤	【I部】5詩歌「鏡」(p94~95) 「永訣の朝」(p98~102)・参考宮澤賢治(p103) 「モードの変遷」(p108~113)	『詩に親しむ・短歌と評論』 【知識・技能】 ①詩の形式や種別、用語などの基本事項を理解できる。 ②短歌の表現技法や表現上のルールなどの基本事項を理解できる。 【思考・判断・表現】 ①詩・短歌の一般的な読解法を理解し、内容を正しく判断することができる。 ②評論文の読解を通じ、原文の考察方法や作品評価の多角的視点を理解できる。	5	9・10		
⑥	【I部】6小説3「こころ」(p116~147) 文学への扉3 襖という建具(p148) ※夏目漱石の作家研究含む 新総合図説国語(p220~223)	『名作に触れるⅠ』 【知識・技能】 ①近代文学の大家、夏目漱石に関する文学史上の基本事項を理解できる。 ②夏目漱石の活躍した時代の特徴や文芸思潮などの作品の背景世界を理解できる。 【思考・判断・表現】 ①近代日本人の考え方や現代日本人の考え方の異同を考察し自分なりの意見を持つことができる。 ②作品を通じて作家が伝えたいメッセージについて自分なりの考えを持つことができる。	6	11・12		
⑦	【II部】1随筆「国語から旅立つて」(p190~198) 「書かれた風景の中へ」(p199~205) 【II部】2小説1「コンビニの母」(p217~222) 文学への扉4 記号も言語の一種(p224)	『様々な見方・考え方に触れるⅠ・現代小説を読むⅡ』 【知識・技能】 ①前期の学習を踏まえ随筆の基本事項が理解できている。 ②前期の学習を踏まえ現代小説の基本事項が理解できている。 【思考・判断・表現】 ①随筆で表現された筆者の意見や独自の視点を正しく理解した上で自分なりの意見を持つことができる。 ②小説に込められた筆者のメッセージを正しく受け止め、自分なりの感想を持つことができる。	7	13・14	○	
⑧	【II部】3詩歌「夏の姿」(p226~227)「帰途」(p228~229) 「平気」(p236~244)・参考正岡子規(p245)	『詩に親しむ・短歌と評論』 【知識・技能】 ①扱う作品の作品背景や作家などの基本事項を理解できる。 ②小説の書かれた背景知識を理解できる。 【思考・判断・表現】 ①現代小説を論理的に読解し、物語の流れを理解し判断することができる。 ②作品の表現やその背景などから筆者の考えを正しく理解、あるいは共感することができる。	8	15・16	○	
⑨	【II部】4随筆2「空っぽの瓶」(p248~254) 「クレールという女」(p255~265) 【II部】4戯曲「父と暮らせば」(p266~280)	『様々な見方・考え方に触れるⅡ・多様な形式の作品に触れる』 【知識・技能】 ①前期の学習を踏まえ随筆の基本事項が理解できている。②戯曲の形式や特徴などの基本事項が理解できている。 【思考・判断・表現】 ①随筆で表現された筆者の意見や独自の視点を正しく理解した上で自分なりの意見を持つことができる。 ②舞台芸術の元となる戯曲を自分なりに再現し表現もしくは感想を持つことができる。	9	17・18	○	
⑩	【II部】6小説2「舞姫」(p292~327) 文学への扉5 小説の冒頭部(p328) ※森鷗外作家研究含む 新総合図説国語(p216~218)	『名作に触れるⅡ』 【知識・技能】 ①近代文学の大家、森鷗外に関する文学史上の基本事項を理解できる。 ②様々な作品の冒頭部を読み、物語世界に引き込み表現技術を理解できる。 【思考・判断・表現】 ①初期の森鷗外と後期の森鷗外作品の表現等の特性を考察し自分なりの意見を持つことができる。 ②作品を通じて作家が伝えたいメッセージについて自分なりの考えを持つことができる。	10	19・20		
⑪	【II部】7評論「演技する「私」」(p330~334) 「映画の可能性のために」(p335~344) 【言語活動】映画と原作を比較する(p345~346)	『多角的に文学を読む』 【知識・技能】 ①映画や舞台芸術などの表現方法について基本事項を理解できる。②映像表現と言語表現の特性や違いについて理解できる。 【思考・判断・表現】 ①表現に対する様々な意見を踏まえ、自分なりの意見を持つことができる。 ②原作付き映像について教科書以外の作品にも触れ、自分なりの考えを持つことができる。	11	21・22		
⑫	【II部】8小説3「業火と魔笛」(p348~360) 参考大宰治(p348) 「蠅」(p362~371) 参考横光利一(p372)	『近代小説を読むⅡ』 【知識・技能】 ①大宰治、横光利一に関する文学史上の基本事項を理解できる。 ②作者の活躍した時代の特徴や文芸思潮などの作品の背景世界を理解できる。 【思考・判断・表現】 ①それぞれの作品について共感もしくは感想を持ち、自分なりの意見を持つことができる。 ②作品を通じて作家が伝えたいメッセージについて自分なりの考えを持つことができる。	12	23・24		
学習方法						

【添削指導(報告課題)】

1 マイページ内の「講座視聴」の学習を終えること。 2 教科書を見ながら報告課題に取り組み、期限内に提出すること。 3 各回の添削指導後も、疑問点などがあれば、質問メールや面接指導時を活用してそれらの解消に努めること。

【面接指導(スクーリング)】

1 自宅学習に必要な基礎的・基本的な知識や技能を学ぶ機会とすること。 2 教員から直接指導を受けたり、他の生徒と議論や協力をしながら学習に取り組むこと。

【定期試験】

1 実施回数 前期に1回、後期に1回実施する。 2 出題範囲 報告課題の内容を中心とする。

評価方法

【知識・技能】報告課題、定期試験での成果にもとづき評価をする。 【思考・判断・表現】報告課題、面接指導、定期試験での成果にもとづき評価をする。

【主体的に学習に取り組む態度】マイページ内の「講座視聴」の学習および報告課題の取り組み状況、面接指導および定期試験の出席状況にもとづき評価をする。
評定は、3観点を点数化し、科目の目標や内容に照らし合せて、5段階評価を行う。

年間指導計画

教科等		科目		単位数	報告課題回数	定期試験回数		
地理歴史		地理総合		2	6	2		
面接指導				実施学年・クラス等		指導者名		
規定回数(1)	メディアによる減免回数		(1)-(2)-(3)					
	Web(2)	放送視聴(3)						
2	1	0	1					
※検定教科書は、発行者の番号・略称、教科書の記号・番号を記載		発行者の番号・略称または出版社名	教科書の記号・番号	書名				
教科書	46 帝国	地総703	高等学校 新地理総合					
副教材等	46 帝国	地総702	新詳高等地図					
学習目標								
<p>社会的現象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。【知識・技能】</p> <p>(2)地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論することができる。【思考・判断・表現】</p> <p>(3)地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵かん養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深めようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>以上のことを、「基礎的・基本的な知識・技能」「課題を解決するために必要な思考・判断力、表現力等」として「主体的に学習に取り組む態度」の成長を図る。</p>								
定期試験範囲								
一学期末試験			学年末試験					
第1部 第1章 地図と地理情報システム 第2章 結び付きを深める現代世界 第2部 第1章 生活文化の多様性と国際世界(1～2節)			第2部 第1章 世界文化の多様性と国際世界(5節) 第2章 地球的課題と国際協力					
【添削指導(報告課題)】								
	学習範囲	単元目標			報告課題回数	Web授業回数	定期試験範囲	
							前期	後期
①	第1部 第1章 地図と地理情報システム 第2章 結び付きを深める現代世界	【知識・技能】 ①地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解することができる。 【思考・判断・表現】 ①地図や地理情報システムの位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。 ②よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究・解決することができる。			1	1・2	○	
②	第2部 第1章 生活文化の多様性と国際世界 1節 世界地形と人々の生活 2節 世界の気候と人々の生活	【知識・技能】 ①世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解することができる。			2	3・4	○	
③	第2部 第1章 生活文化の多様性と国際世界 3節 世界の言語・宗教と人々の生活 4節 歴史的背景と人々の生活	【思考・判断・表現】 ①世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。			3	5・6		
④	第2部 第1章 世界文化の多様性と国際世界 5節 世界の産業と人々の生活	【知識・技能】 ①産業の発展が、人々の生活に与えた影響について理解することができる。 【思考・判断・表現】 ①産業のグローバル化についてと、地域の影響について考察し、表現することができる。			4	7・8		○
⑤	第2部 第2章 地球的課題と国際協力	【知識・技能】 ①地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解することができる。 【思考・判断・表現】 ①地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。			5	9・10		○
⑥	第3部 第1章 自然環境と災害 第2章 生活圏の調査と地域の展望	【知識・技能】 ①自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解することができる。 【思考・判断・表現】 ①地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。			6	11・12		
学習方法								
【添削指導(報告課題)】								
1 マイページ内の「講座視聴」の学習を終えること。 2 教科書を見ながら報告課題に取り組み、期限内に提出すること。 3 各回の添削指導後も、疑問点などがあれば、質問メールや面接指導時を活用してそれらの解消に努めること。								
【面接指導(スクーリング)】								
1 自宅学習に必要な基礎的・基本的な知識や技能を学ぶ機会とすること。 2 教員から直接指導を受けたり、他の生徒と議論や協力をしながら学習に取り組むこと。								
【定期試験】								
1 実施回数 前期に1回、後期に1回実施する。 2 出題範囲 報告課題の内容を中心とする。								
評価方法								

【知識・技能】報告課題、定期試験での成果にもとづき評価をする。

【思考・判断・表現】報告課題、面接指導、定期試験での成果にもとづき評価をする。

【主体的に学習に取り組む態度】マイページ内の「講座視聴」の学習および報告課題の取り組み状況、面接指導および定期試験の出席状況にもとづき評価をする。
評価は、3観点を点数化し、科目の目標や内容に照らし合わせて、5段階評価を行う。

年間指導計画

教科等		科目		単位数	報告課題回数	定期試験回数	
地理歴史		地理探究		3	9	2	
面直接指導							
規定回数(1)	メディアによる減免回数		(1)-(2)-(3)	実施学年・クラス等	指導者名		
	Web(2)	放送視聴(3)					
3	1	0	2				
※検定教科書は、発行者の番号・略称、教科書の記号・番号を記載	発行者の番号・略称または出版社名	教科書の記号・番号	書名				
教科書	帝国書院	地探702	新詳地理探究				
副教材等	-	-	-				
学習目標							
<p>社会的現象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けている。【知識・技能】</p> <p>(2)地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、系統的、地誌的に、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。【思考力・判断力・表現力】</p> <p>(3)地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して(涵(かん)養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深めようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>以上を踏まえ、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。</p>							
定期試験範囲							
一学期末試験			学年末試験				
<p>①p.6~7 地球環境と人間 / p.8~31 地形 / p.32~41 気候</p> <p>②p.42~61 気候 / p.62~67 日本の自然環境 / p.68~79 地球環境問題</p>			<p>⑤p.146~153 交通・通信 / p.154~159 観光 / p.160~165 貿易と経済圏 / p.166~169 人口 / p.170~177 人口問題 / p.178~183 村落と都市</p> <p>⑥p.184~187 村落と都市 / p.188~197 都市・居住問題 / p.198~201 衣食住 / p.202~211 民族・宗教と民族問題 / p.212~220 国家の領域と領土問題</p> <p>⑦p.221~225 地域区分 / p.226~227 地域の考察方法 / p.228~237 中国 / p.238~243 韓国 / p.244~253 ASEAN諸国 / p.254~261 インド</p>				
【添削指導(報告課題)】							
	学習範囲	単元目標			報告課題回数	Web授業回数	定期試験範囲 前期 後期
①	p.6~7 地球環境と人間 p.8~31 地形 p.32~41 気候	【知識・技能】 ①地球上の地形や気候・生態系にはどのような傾向や規則性があるのかを理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ①地球上の地形や気候・生態系にはどのような傾向や規則性があり、それらは人々の生活や人間活動にどのような影響を与えているのか、場所や人間と自然との関わりなどに着目して考察することができる。			1	1・2	○
②	p.42~61 気候 p.62~67 日本の自然環境 p.68~79 地球環境問題	【知識・技能】 ①地球上の気候・生態系にはどのような傾向や規則性があるのかを理解している。また、日本の自然環境について、その特徴を理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ①地球上の地形や気候・生態系にはどのような傾向や規則性があり、それらは地球的課題とどのように関わっているのか、場所や人間と自然との関わりなどに着目して考察することができる。また、日本の自然環境と自然災害の関係について考察することができる。			2	3・4	○
③	p.80~97 農林水産業 p.98~103 食料問題 p.104~115 エネルギー・鉱山資源	【知識・技能】 ①資源・エネルギーの開発や、農林水産業など産業の発達にはどのような傾向や規則性があるのかを理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ①資源・エネルギーの開発や、農林水産業など産業の発達にはどのような傾向や規則性があり、それらは地球的課題とどのように関わっているのか、場所や他地域との結びつきなどに着目して考察することができる。			3	5・6	
④	p.116~121 資源・エネルギー問題 p.122~139 工業 p.140~145 第3次産業	【知識・技能】 ①資源・エネルギーの開発や、工業・第3次産業など産業の発達にはどのような傾向や規則性があるのかを理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ①資源・エネルギーの開発や、工業・第3次産業など産業の発達にはどのような傾向や規則性があり、それらは地球的課題とどのように関わっているのか、場所や他地域との結びつきなどに着目して考察することができる。			4	7・8	
⑤	p.146~153 交通・通信 p.154~159 観光 p.160~165 貿易と経済圏 p.166~169 人口 p.170~177 人口問題 p.178~183 村落と都市	【知識・技能】 ①交通・通信網の整備や観光・貿易の発展、また人口や村落・都市にはどのような傾向や規則性があるのかを理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ①交通・通信網の整備や観光・貿易の発展、また人口・村落・都市にはどのような傾向や規則性があり、それらは地球的課題とどのように関わっているのか、場所や他地域との結びつきなどに着目して考察することができる。			5	9・10	○
⑥	p.184~187 村落と都市 p.188~197 都市・居住問題 p.198~201 衣食住 p.202~211 民族・宗教と民族問題 p.212~220 国家の領域と領土問題	【知識・技能】 ①人口や村落・都市、また生活文化や民族・宗教にはどのような傾向や規則性があるのかを理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ①人口や村落・都市、また生活文化や民族・宗教にはどのような傾向や規則性があり、それらは地球的課題とどのように関わっているのか、場所や他地域との結びつきなどに着目して考察することができる。			6	11・12	○
⑦	p.221~225 地域区分 p.226~227 地域の考察方法 p.228~237 中国 p.238~243 韓国 p.244~253 ASEAN諸国 p.254~261 インド	【知識・技能】 ①自然環境・文化・政治・経済などの指標をもとに地域を区分する方法を理解している。中国・韓国・ASEAN諸国・インドについて、自然環境や歴史・生活文化・産業などを項目ごとに整理し理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ①世界のさまざまな地域について、位置や分布、地域の特徴などに着目して考察することができる。また、それぞれの地域では、どのような地域的特色や地球的課題がみられ、どのような地域の構造や変化がみられるのか、他地域との結びつきや地域の特徴などに着目して考察することができる。			7	13・14	○
⑧	p.262~269 西アジアと中央アジア p.270~279 北アフリカとサハラ以南アフリカ p.278~289 EU諸国 p.290~295 ロシア	【知識・技能】 ①西アジアと中央アジア・北アフリカとサハラ以南アフリカ・EU諸国・ロシアについて、自然環境や歴史・生活文化・産業などを項目ごとに整理し、理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ①それぞれの地域では、どのような地域的特色や地球的課題がみられ、どのような地域の構造や変化がみられるのか、他地域との結びつきや地域の特徴などに着目して考察することができる。			8	15・16	
⑨	p.296~307 アメリカ合衆国 p.308~315 ラテンアメリカ p.316~322 オーストラリアとニュージーランド p.323~327 将来の国土のあり方 p.328~335 持続可能な日本の国土像の探究	【知識・技能】 ①アメリカ合衆国・ラテンアメリカ・オーストラリアとニュージーランドについて、自然環境や歴史・生活文化・産業などを項目ごとに整理し、理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ①それぞれの地域では、どのような地域的特色や地球的課題がみられ、どのような地域の構造や変化がみられるのか、他地域との結びつきや地域の特徴などに着目して考察することができる。また、これまでの地理学習の集大成として、日本の強みや課題を整理したうえで、持続可能性を踏まえた将来の国土の在り方について、他地域との結びつきや地域の特徴などに着目して探究することができる。			9	17・18	
学習方法							
【添削指導(報告課題)】							
<p>1 マイページ内の「講座視聴」の学習を終えること。 2 教科書を見ながら報告課題に取り組み、期限内に提出すること。</p> <p>3 各回の添削指導後も、疑問点などがあれば、質問メールや面直接指導時を活用してそれらの解消に努めること。</p>							
【面直接指導(スクーリング)】							
<p>1 自宅学習に必要な基礎的・基本的な知識や技能を学ぶ機会とすること。</p> <p>2 教員から直接指導を受けたり、他の生徒と議論や協力をしながら学習に取り組むこと。</p>							
【定期試験】							
1 実施回数 前期に1回、後期に1回実施する。 2 出題範囲 報告課題の内容を中心とする。							

評価方法

【知識・技能】報告課題、定期試験での成果にもとづき評価をする。

【思考・判断・表現】報告課題、面接指導、定期試験での成果にもとづき評価をする。

【主体的に学習に取り組む態度】マイページ内の「講座視聴」の学習および報告課題の取り組み状況、面接指導および定期試験の出席状況にもとづき評価をする。

評定は、3観点を点数化し、科目の目標や内容に照らし合せて、5段階評価を行う。

年間指導計画

教科等		科目			単位数	報告課題回数	定期試験回数	
地理歴史		歴史総合			2	6	2	
面接指導				実施学年・クラス等	指導者名			
規定回数(1)	メディアによる減免回数		(1)-(2)-(3)					
	Web(2)	放送視聴(3)						
2	1	0	1					
※検定教科書は、発行者の番号・略称、教科書の記号・番号を記載		発行者の番号・略称または出版社名	教科書の記号・番号	書名				
教科書	81 山川	歴総707	歴史総合 近代から現代へ					
副教材等	-	-	-					
学習目標								
<p>社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその日本の関係を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。【知識・技能】</p> <p>(2)近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。【思考・判断・表現】</p> <p>(3)近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。</p>								
定期試験範囲								
一学期末試験				学年末試験				
第Ⅰ部 近代化と私たち 第1章 結びつく世界 第2章 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 第3章 明治維新と日本の立憲体制 第4章 帝国主義の展開とアジア				第Ⅱ部 第6章 経済危機と第二次世界大戦 第7章 戦後の日本秩序と日本の改革 第Ⅲ部 第8章 冷戦と世界経済				
【添削指導(報告課題)】								
	学習範囲	単元目標			報告課題回数	Web授業回数	定期試験範囲	
							前期	後期
①	第Ⅰ部 第1章 結びつく世界 第2章 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	【知識・技能】 ①16～17世紀のヨーロッパの世界進出、特にアジア諸地域との結びつきを理解することができる。 ②18世紀のヨーロッパの再編とアメリカ世界の成立について理解することができる。 【思考・判断・表現】 ③19世紀の世界諸地域の発展とグローバル化について考察することができる。			1	1・2	○	
②	第Ⅰ部 第3章 明治維新と日本の立憲体制 第4章 帝国主義の展開とアジア	【知識・技能】 ①明治維新と日本の立憲体制について理解することができる。 ②帝国主義における欧米諸国の対立について理解することができる。 【思考・判断・表現】 ③欧米諸国との関わりの中から、20世紀初頭におけるアジアの変動を考察することができる。			2	3・4	○	
③	第Ⅱ部 第5章 第一次世界大戦と大衆社会 第6章 経済危機と第二次世界大戦	【知識・技能】 ①第一次世界大戦と戦後世界の情勢について理解することができる。 ②戦間期の動向(軍備制限と平和共存)について理解することができる。 【思考・判断・表現】 ③1910～20年代の歴史的事項と経済状況から当時の世界の動向を考察することができる。			3	5・6		
④	第Ⅱ部 第6章 経済危機と第二次世界大戦 第7章 戦後の日本秩序と日本の改革	【知識・技能】 ①戦間期の動向(世界恐慌とファシズムの台頭)について理解することができる。 ②第二次世界大戦に至る過程と日本の関わりについて理解することができる。 【思考・判断・表現】 ③世界恐慌から第二次世界世界大戦までの歴史的事項から日本を中心とした戦後の動向について考察することができる。			4	7・8	○	
⑤	第Ⅲ部 第8章 冷戦と世界経済	【知識・技能】 ①戦後の欧米諸国の動向とアジア・アフリカの独立と台頭について理解することができる。 ②冷戦構造とその崩壊について理解することができる。 【思考・判断・表現】 ③冷戦期の世界の動向を踏まえ、日本の経済的発展による繁栄とその影響について考察することができる。			5	9・10	○	
⑥	第Ⅲ部 第9章 グローバル化する世界 第10章 現代の世界	【知識・技能】 ①冷戦構造の崩壊による新しい国際秩序の形成について理解することができる。 【思考・判断・表現】 ②現代の課題について世界的視点と日本の視点から考察することができる。			6	11・12		
学習方法								
【添削指導(報告課題)】								
1 マイページ内の「講座視聴」の学習を終えること。 2 教科書を見ながら報告課題に取り組み、期限内に提出すること。 3 各回の添削指導後も、疑問点などがあれば、質問メールや面接指導時を活用してそれらの解消に努めること。								
【面接指導(スクリーニング)】								
1 自宅学習に必要な基礎的・基本的な知識や技能を学ぶ機会とすること。 2 教員から直接指導を受けたり、他の生徒と議論や協力をしながら学習に取り組むこと。								
【定期試験】								
1 実施回数 前期に1回、後期に1回実施する。 2 出題範囲 報告課題の内容を中心とする。								
評価方法								

【知識・技能】報告課題、定期試験での成果にもとづき評価をする。

【思考・判断・表現】報告課題、面接指導、定期試験での成果にもとづき評価をする。

【主体的に学習に取り組む態度】マイページ内の「講座視聴」の学習および報告課題の取り組み状況、面接指導および定期試験の出席状況にもとづき評価をする。
評定は、3観点を点数化し、科目の目標や内容に照らし合せて、5段階評価を行う。

年間指導計画

教科等			科目		単位数	報告課題回数	定期試験回数	
公民			公共		2	6	2	
面直接指導					実施学年・クラス等	指導者名		
規定回数(1)	メディアによる減免回数		(1)-(2)-(3)					
	Web(2)	放送視聴(3)						
2	1	0	1					
※検定教科書は、発行者の番号・略称、教科書の記号・番号を記載			発行者の番号・略称または出版社	教科書の記号・番号	書名			
教科書	190・東法	公共・712	公共					
副教材等	-	-	-					
学習目標								
<p>人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けることができる。【知識・技能】</p> <p>(2)現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論することができる。【思考・判断・表現】</p> <p>(3)よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めることができる。【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。</p>								
定期試験範囲								
一学期末試験				学年末試験				
第1編 公共の扉をひらくために 「公共」の見取り図 第1章 公共的な空間をつくる私たち 第2章 公共的な空間における人間としてのあり方・生き方 第3章 公共的な空間における基本原理と日本国憲法				第2編 よりよい社会の形成に参画するために 「経済」の見取り図 第2章 経済のしくみ 第3章 変化する日本経済 第4章 豊かな生活の実現				
【添削指導(報告課題)】								
	学習範囲	単元目標				報告課題回数	Web授業回数	定期試験範囲 前期 後期
①	第1編 公共の扉をひらくために「公共」の見取り図 第1章 公共的な空間をつくる私たち 第2章 公共的な空間における人間としてのあり方・生き方	<p>【知識・技能】①自らの体験などを振り返ることを通じて、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解している。</p> <p>②人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること、伝統や文化、先人の取組や知恵に触れたりすることを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解している。</p> <p>③自分自身が、自主的によりよい公共的な空間を作り出していくこととする自立した主体になることが、自らのキャリア形成とともによりよい社会の形成に結び付くことについて理解している。</p> <p>④選択・判断の手掛かりとして、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解している。</p> <p>⑤現代の諸課題について自らも他者と共に納得できる解決方法を見出すことに向け、上記に示す考え方を活用することを通して、行為者自身の人間としての在り方生き方について探求することが、よりよく生きていく上で重要であることについて理解している。</p> <p>⑥人間としての在り方生き方に関する諸資料から、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】①社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>②倫理的価値の判断において、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方を活用し、自らも他者と共に納得できる解決方法を見出すことに向け、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現している。</p>				1	1・2	○
②	第3章 公共的な空間における基本原理と日本国憲法	<p>【知識・技能】①各人の意見や利害を公平・公正に調整することを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解している。</p> <p>②人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】①公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。</p>				2	3・4	○
③	第2編 よりよい社会の形成に参画するために「政治」の見取り図 第1章 日本の政治機構と政治参加	<p>【知識・技能】①法や規範の意義及び役割について、国会・内閣の機能と役割や関係性について、世界の政治体制とそれぞれの特徴について、裁判所の機能と役割、人権を保障するためのしくみについて、司法参加の意義などに関する現実社会の事柄や課題について理解している。</p> <p>②現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】①日本の政治機構と政治参加について、幸福・自由・正義・公正などの視点を用いて、事実を基に多面的・多角的に考察し、公正に判断し、構想したことを議論することができる。</p>				3	5・6	
④	「経済」の見取り図 第2章 経済のしくみ	<p>【知識・技能】①経済活動と経済主体、市場経済の機能と限界について、現代の企業の在り方と課題について、国民経済全体を図る国民所得などの指標、景気変動と物価の動きについて、財政及び租税の役割、金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題について理解している。</p> <p>②現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】①経済活動に関わる現実社会の諸課題について、幸福・自由・正義・公正などの視点を用いて、事実を基に多面的・多角的に考察し、公正に判断し、構想したことを議論している。</p>				4	7・8	○
⑤	第3章 変化する日本経済 第4章 豊かな生活の実現	<p>【知識・技能】①戦後の日本経済の推移、中小企業、農業問題、公害の防止と環境保全、エネルギーと循環型社会などに関わる現実社会の事柄や課題について理解している。</p> <p>②日本経済の諸課題について、政府は法律の制定や政策の実施によって、課題解決に向けてどのような役割を果たしているか理解している。</p> <p>③多様な契約及び消費者の権利と責任、職業選択、雇用と労働問題、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題について理解している。</p> <p>④現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】①日本経済、消費生活、労働問題、社会保障に関わる現実社会の諸課題について、幸福・自由・正義・公正などの視点を用いて、事実を基に多面的・多角的に考察し、公正に判断し、構想したことを議論している。</p>				5	9・10	○
⑥	「国際」の見取り図 第5章 国際政治のしくみと動向 第6章 国際経済のしくみと動向 第7章 国際社会の現状と課題	<p>【知識・技能】①国家主権、領土などに関わる現実社会の事柄や課題について、人権保障が世界でどのように広がってきたのか、国際連合の役割と課題について、第二次世界大戦後の国際社会の動向、冷戦終結後の国際社会の変容について、人種・民族・難民問題について、核兵器の廃絶などの軍縮、国際平和に向けた世界の取り組みについて、我が国の安全保障と防衛などに関わる現実社会の事柄や課題について理解している。</p> <p>②貿易と国際分業、外国為替のしくみと国際収支について、戦後国際経済の枠組みとその変化について、経済のグローバル化と相互依存関係の深まりなどに関わる現実社会の事柄や課題について理解している。</p> <p>③EUやUSMCAなどの地域統合の進展、南北問題や新興市場国などの国家間格差、地球環境問題をはじめとする地球規模の諸課題、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題を理解している。</p> <p>④現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】①国際政治、国際経済、国際社会に関わる現実社会の諸課題について、幸福・自由・正義・公正などの視点を用いて、事実を基に多面的・多角的に考察し、公正に判断し、構想したことを議論している。</p>				6	11・12	
学習方法								

【添削指導(報告課題)】

1 マイページ内の「講座視聴」の学習を終えること。 2 教科書を見ながら報告課題に取り組み、期限内に提出すること。 3 各回の添削指導後も、疑問点などがあれば、質問メールや面接指導時を活用してそれらの解消に努めること。

【面接指導(スクーリング)】

1 自宅学習に必要な基礎的・基本的な知識や技能を学ぶ機会とすること。 2 教員から直接指導を受けたり、他の生徒と議論や協力をしながら学習に取り組むこと。

【定期試験】

1 実施回数 前期に1回、後期に1回実施する。 2 出題範囲 報告課題の内容を中心とする。

評価方法

【知識・技能】報告課題、定期試験での成果にもとづき評価をする。 【思考・判断・表現】報告課題、面接指導、定期試験での成果にもとづき評価をする。

【主体的に学習に取り組む態度】マイページ内の「講座視聴」の学習および報告課題の取り組み状況、面接指導および定期試験の出席状況にもとづき評価をする。
評定は、3観点を点数化し、科目の目標や内容に照らし合せて、5段階評価を行う。

年間指導計画

教科等			科目			単位数	報告課題回数	定期試験回数		
倫理			倫理			2	6	2		
面接指導			実施学年・クラス等			指導者名				
規定回数(1)	メディアによる減回回数		(1)-(2)-(3)							
	Web(2)	放送視聴(3)								
2	1	0	1							
※検定教科書は、発行者の番号・略称、教科書の記号・番号を記載	発行者の番号・略称または出版社名	教科書の記号・番号	書名							
教科書	東京書籍	倫理701	倫理							
副教材等	-	-	-							
学習目標										
<p>人間としての在り方生き方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいて、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付けている。【知識・技能】</p> <p>(2)自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や、現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して、論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりする力を身に付けている。【思考・判断・表現】</p> <p>(3)人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察やより深い思索を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深めている。【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>以上を踏まえ、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。</p>										
定期試験範囲										
一学期末試験				学年末試験						
<p>P8～P81</p> <p>第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方</p> <p>1章 人間の心のあり方</p> <p>2章 さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅰ</p> <p>1節 哲学すること 2節 キリシヤの思想 3節 宗教と社会 4節 キリスト教</p> <p>5節 イスラーム 6節 仏教 7節 中国の思想 8節 芸術</p>				<p>P121～P198</p> <p>3章 さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅱ</p> <p>6節 人間観・言語観の問いなおし 7節 他者・自然とのかわり</p> <p>4章 国際社会に生きる日本人としての自覚</p> <p>1節 日本人の精神風土 2節 仏教と日本人の思想形成 3節 儒教と日本人の思想形成</p> <p>4節 国学の思想 5節 庶民の思想 6節 西洋思想と日本人の近代化</p>						
【添削指導(報告課題)】										
学習範囲		単元目標					報告課題回数	Web授業回数	定期試験範囲 前期 後期	
①	P8～P42 第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方 1章 人間の心のあり方 2章 さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅰ 1節 哲学すること 2節 キリシヤの思想	<p>【知識・技能】</p> <p>①個性、感情、認知、発達などに着目して、豊かな自己形成に向けて、他者と共によりよく生きる自己の生き方についての思索を深めるための手掛かりとなる様々な人間心の在り方について理解することができる。</p> <p>②幸福、愛、徳などに着目して、人間としての在り方生き方について思索するための手掛かりとなる様々な人生観について理解すること。その際、人生における宗教や芸術のもつ意義についても理解することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①自己の生き方を見つめ直し、自らの体験や悩みを振り返り、他者、集団や社会、生命や自然などとの関わりにも着目して自己の課題を捉え、その課題を現代の倫理的課題と結び付けて多面的・多角的に考察し、表現することができる。</p>					1	1・2	○	
②	P43～P81 3節 宗教と社会 4節 キリスト教 5節 イスラーム 6節 仏教 7節 中国の思想 8節 芸術	<p>【知識・技能】</p> <p>①善、正義、義務などに着目して、社会の在り方と人間としての在り方生き方について思索するための手掛かりとなる様々な倫理観について理解することができる。</p> <p>②真理、存在などに着目して、世界と人間の在り方について思索するための手掛かりとなる様々な世界観について理解することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①古今東西の先哲の考え方を手掛かりとして、より広い視野から人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、表現することができる。</p>					2	3・4	○	
③	P82～P120 3章 さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅱ 1節 近代と人間蘇生の精神 2節 近代思想の展開 3節 人格の尊厳と人倫の思想 4節 社会変革の思想 5節 理性への疑念	<p>【知識・技能】</p> <p>①古今東西の先哲の思想に関する原典の日本語訳などの諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を読み取る技能を身に付けることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①古今東西の先哲の考え方を手掛かりとして、より広い視野から人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、表現することができる。</p>					3	5・6		
④	P121～P156 6節 人間観・言語観の問いなおし 7節 他者・自然とのかわり 4章 国際社会に生きる日本人としての自覚 1節 日本人の精神風土	<p>【知識・技能】</p> <p>①古来の日本人の心情と考え方や日本の先哲の思想に着目して、我が国の風土や伝統、外来思想の受容などを基に、国際社会に生きる日本人としての在り方生き方について思索するための手掛かりとなる日本人に見られる人間観、自然観、宗教観などの特質について、自己との関わりにおいて理解することができる。</p> <p>②古来の日本人の心情と考え方や日本の先哲の思想に関する原典や原典の口語訳などの諸資料から、日本人としての在り方生き方に関わる情報を読み取る技能を身に付けることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①古来の日本人の考え方や日本の先哲の考え方を手掛かりとして、国際社会に主体的に生きる日本人としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、表現することができる。</p>					4	7・8		○
⑤	P157～P198 2節 仏教と日本人の思想形成 3節 儒教と日本人の思想形成 4節 国学の思想 5節 庶民の思想 6節 西洋思想と日本人の近代化	<p>【知識・技能】</p> <p>①古来の日本人の心情と考え方や日本の先哲の思想に着目して、我が国の風土や伝統、外来思想の受容などを基に、国際社会に生きる日本人としての在り方生き方について思索するための手掛かりとなる日本人に見られる人間観、自然観、宗教観などの特質について、自己との関わりにおいて理解することができる。</p> <p>②古来の日本人の心情と考え方や日本の先哲の思想に関する原典や原典の口語訳などの諸資料から、日本人としての在り方生き方に関わる情報を読み取る技能を身に付けることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①古来の日本人の考え方や日本の先哲の考え方を手掛かりとして、国際社会に主体的に生きる日本人としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、表現することができる。</p>					5	9・10		○
⑥	P199～P235 7節 国際社会に生きる日本人の自覚 第2編 現代の諸課題と倫理	<p>【知識・技能】</p> <p>①古来の日本人の心情と考え方や日本の先哲の思想に着目して、我が国の風土や伝統、外来思想の受容などを基に、国際社会に生きる日本人としての在り方生き方について思索するための手掛かりとなる日本人に見られる人間観、自然観、宗教観などの特質について、自己との関わりにおいて理解することができる。</p> <p>②古来の日本人の心情と考え方や日本の先哲の思想に関する原典や原典の口語訳などの諸資料から、日本人としての在り方生き方に関わる情報を読み取る技能を身に付けることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①古来の日本人の考え方や日本の先哲の考え方を手掛かりとして、国際社会に主体的に生きる日本人としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、表現することができる。</p>					6	11・12		
学習方法										
【添削指導(報告課題)】										
1 デバイス内の「講座視聴」の学習を終えること。 2 教科書を見ながら報告課題に取り組み、期限内に提出すること。 3 各回の添削指導後も、疑問点などがあれば、質問メールや面接指導時を活用してそれらの解消に努めること。										
【面接指導(スクーリング)】										
1 自宅学習に必要な基礎的・基本的な知識や技能を学ぶ機会とすること。 2 教員から直接指導を受けたり、他の生徒と議論や協力をしながら学習に取り組むこと。										
【定期試験】										
1 実施回数 前期に1回、後期に1回実施する。 2 出題範囲 報告課題の内容を中心とする。										
評価方法										

【知識・技能】報告課題、定期試験での成果にもとづき評価をする。 【思考・判断・表現】報告課題、面接指導、定期試験での成果にもとづき評価をする。
【主体的に学習に取り組む態度】マイページ内の「講座視聴」の学習および報告課題の取り組み状況、面接指導および定期試験の出席状況にもとづき評価をする。
評定は、3観点を点数化し、科目の目標や内容に照らし合わせて、5段階評価を行う。

年間指導計画

教科等			科目			単位数	報告課題回数	定期試験回数	
政治・経済			政治・経済			2	6	2	
面接指導			実施学年・クラス等			指導者名			
規定回数(1)	メディアによる減免回数		(1)-(2)-(3)						
	Web(2)	放送視聴(3)							
2	1	0	1						
※検定教科書は、発行者の番号・略称、教科書の記号・番号を記載			教科書の記号・番号			書名			
教科書	東京書籍	政経701	政治・経済						
副教材等	-	-	-						
学習目標									
<p>社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。【知識・技能】</p> <p>(2)国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を身に付けている。【思考・判断・表現力】</p> <p>(3)よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚を深めている。【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>以上を踏まえ、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。</p>									
定期試験範囲									
一学期末試験				学年末試験					
P4～P79 第1編 現代日本の政治と経済 第1章 現代日本の政治 1節 民主政治の基本原則 2節 日本国憲法の基本原則 3節 日本の政治機構 4節 現代政治の特質と課題				P119～P203 第2章 現代日本の経済 3節 日本経済の発展と現状 第3章 現代日本の諸課題 第2編 グローバル化する国際社会 第1章 現代の国際政治					
【添削指導(報告課題)】									
	学習範囲	単元目標			報告課題回数	Web授業回数	定期試験範囲 前期 後期		
①	P4～P47 第1編 現代日本の政治と経済 第1章 現代日本の政治 1節 民主政治の基本原則 2節 日本国憲法の基本原則	【知識・技能】 ①政治と法の意義と機能、基本的人権の保障と法の支配、権利と義務との関係、議会制民主主義、地方自治について、現実社会の諸事象を通して理解を深めることができる。 【思考・判断・表現】 ①民主政治の本質を基に、日本国憲法と現代政治の在り方との関連について多面的・多角的に考察し、表現することができる。 ②政党政治や選挙などの観点から、望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について多面的・多角的に考察、構想し、表現することができる。			1	1・2	○		
②	P48～P79 3節 日本の政治機構 4節 現代政治の特質と課題	【知識・技能】 ①政治と法の意義と機能、基本的人権の保障と法の支配、権利と義務との関係、議会制民主主義、地方自治について、現実社会の諸事象を通して理解を深めることができる。 ②現代日本の政治に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けることができる。 【思考・判断・表現】 ①民主政治の本質を基に、日本国憲法と現代政治の在り方との関連について多面的・多角的に考察し、表現することができる。 ②政党政治や選挙などの観点から、望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について多面的・多角的に考察、構想し、表現することができる。			2	3・4	○		
③	P80～P118 第2章 現代日本の経済 1節 現代の資本主義経済 2節 現代経済のしくみ	【知識・技能】 ①経済活動と市場、経済主体と経済循環、国民経済の大きさと経済成長、物価と景気変動、財政の動きと仕組み及び租税などの意義、金融の動きと仕組みについて、現実社会の諸事象を通して理解を深めることができる。 【思考・判断・表現】 ①経済活動と福祉の向上との関連について多面的・多角的に考察し、表現することができる。 ②市場経済の機能と限界、持続可能な財政及び租税の在り方、金融を通じた経済活動の活性化について多面的・多角的に考察、構想し、表現することができる。			3	5・6			
④	P119～P155 3節 日本経済の発展と現状 4節 福祉社会と日本経済の課題	【知識・技能】 ①経済活動と市場、経済主体と経済循環、国民経済の大きさと経済成長、物価と景気変動、財政の動きと仕組み及び租税などの意義、金融の動きと仕組みについて、現実社会の諸事象を通して理解を深めることができる。 ②現代日本の経済に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けることができる。 【思考・判断・表現】 ①経済活動と福祉の向上との関連について多面的・多角的に考察し、表現することができる。 ②市場経済の機能と限界、持続可能な財政及び租税の在り方、金融を通じた経済活動の活性化について多面的・多角的に考察、構想し、表現することができる。			4	7・8	○		
⑤	P156～P203 第3章 現代日本の諸課題 第2編 グローバル化する国際社会 第1章 現代の国際政治	【知識・技能】 ①国際社会の変遷、人権、国家主権、領土(領海、領空を含む。)などに関する国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割、我が国の安全保障と防衛、国際貢献について、現実社会の諸事象を通して理解を深めることができる。 【思考・判断・表現】 ①国際社会の特質や国際紛争の諸要因を基に、国際法の果たす役割について多面的・多角的に考察し、表現することができる。 ②国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現することができる。			5	9・10	○		
⑥	P204～P254 第2章 現代の国際経済 第3章 国際社会の諸課題	【知識・技能】 ①貿易の現状と意義、為替相場の変動、国民経済と国際収支、国際協定の必要性や国際経済機関の役割について、現実社会の諸事象を通して理解を深めることができる。 ②現代の国際政治・経済に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けることができる。 【思考・判断・表現】 ①相互依存関係が深まる国際経済の特質について多面的・多角的に考察し、表現することができる。 ②国際経済において果たすことが求められる日本の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現することができる。			6	11・12			
学習方法									

【添削指導(報告課題)】

1 マイページ内の「講座視聴」の学習を終えること。 2 教科書を見ながら報告課題に取り組み、期限内に提出すること。 3 各回の添削指導後も、疑問点などがあれば、質問メールや面接指導時を活用してそれらの解消に努めること。

【面接指導(スクーリング)】

1 自宅学習に必要な基礎的・基本的な知識や技能を学ぶ機会とすること。 2 教員から直接指導を受けたり、他の生徒と議論や協力をしながら学習に取り組むこと。

【定期試験】

1 実施回数 前期に1回、後期に1回実施する。 2 出題範囲 報告課題の内容を中心とする。

評価方法

【知識・技能】報告課題、定期試験での成果にもとづき評価をする。 **【思考・判断・表現】**報告課題、面接指導、定期試験での成果にもとづき評価をする。

【主体的に学習に取り組む態度】マイページ内の「講座視聴」の学習および報告課題の取り組み状況、面接指導および定期試験の出席状況にもとづき評価をする。
評定は、3観点を点数化し、科目の目標や内容に照らし合せて、5段階評価を行う。

年間指導計画

教科等			科目			単位数	報告課題回数	定期試験回数
数学			数学 I			3	9	2
面接指導				実施学年・クラス等		指導者名		
規定回数(1)	メディアによる減免回数		(1)-(2)-(3)					
	Web(2)	放送視聴(3)						
3	1	0	2					
※検定教科書は、発行者の番号・略称、教科書の記号・番号を記載			発行者の番号・略称または出版社名			教科書の記号・番号		
教科書	東京書籍	702	書名					
副教材等	-	-	数学 I Standard					

学習目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
 (1)数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。【知識・技能】
 (2)命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を身に付けている。【思考・判断・表現】
 (3)数学のよさを認識し数学を活用しようとするとともに、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとし、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】
 以上を踏まえ、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の育成を目指す。

定期試験範囲

一学期末試験			学年末試験		
1章 数と式 1節 式の計算	2節 実数	3節 1次不等式	3章 2次関数 2節 2次方程式と2次不等式	4章 図形と計量 1節 鋭角の三角比	2節 三角比の拡張

【添削指導(報告課題)】

	学習範囲	単元目標	報告課題	Web授業	定期試験範囲	
			回数	回数	前期	後期
①	1章 数と式 1節 式の計算	【知識・技能】 ①二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めることができる。 【思考・判断・表現】 ①問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすることができる。	1	1・2	○	
②	1章 数と式 2節 実数 3節 1次不等式	【知識・技能】 ①数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすることができる。 ②不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ①不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察することができる。 ②日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、一次不等式を問題解決に活用することができる。	2	3・4	○	
③	2章 集合と論証 1節 集合 2節 命題と論証	【知識・技能】 ①集合と命題に関する基本的な概念を理解することができる。 【思考・判断・表現】 ①集合の考えを用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明することができる。	3	5・6		
④	3章 2次関数 1節 2次関数とそのグラフ	【知識・技能】 ①二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解することができる。 ②二次関数の最大値や最小値を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ①二次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察することができる。	4	7・8		
⑤	3章 2次関数 2節 2次方程式と2次不等式	【知識・技能】 ①二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係について理解することができる。また、二次不等式の解と二次関数のグラフとの関係について理解し、二次関数のグラフを用いて二次不等式の解を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ①二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。	5	9・10		○
⑥	4章 図形と計量 1節 鋭角の三角比	【知識・技能】 ①鋭角の三角比の意味と相互関係について理解することができる。 【思考・判断・表現】 ①二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。	6	11・12		○
⑦	4章 図形と計量 2節 三角比の拡張	【知識・技能】 ①三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し、鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解することができる。 【思考・判断・表現】 ①図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現するとともに、定理や公式として導くことができる。	7	13・14		○
⑧	4章 図形と計量 3節 三角形への応用	【知識・技能】 ①正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めることができる。 【思考・判断・表現】 ①図形の構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。	8	15・16		
⑨	5章 データの分析 1節 データの分析 2節 データの分析の応用 3節 仮説検定	【知識・技能】 ①分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味やその用い方を理解することができる。 ②コンピュータなどの情報機器を用いるなどして、データを表やグラフに整理したり、分散や標準偏差などの基本的な統計量を求めたりすることができる。 ③具体的な事象において仮説検定の考え方を理解することができる。 【思考・判断・表現】 ①データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察することができる。 ②目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現することができる。 ③不確実な事象の起こりやすさに着目し、主張の妥当性について、実験などを通して判断したり、批判的に考察したりすることができる。	9	17・18		

学習方法

【添削指導(報告課題)】

1 マイページ内の「講座視聴」の学習を終えること。 2 教科書を見ながら報告課題に取り組み、期限内に提出すること。 3 各回の添削指導後も、疑問点などがあれば、質問メールや面接指導時を活用してそれらの解消に努めること。

【面接指導(スクーリング)】

1 自宅学習に必要な基礎的・基本的な知識や技能を学ぶ機会とすること。 2 教員から直接指導を受けたり、他の生徒と議論や協力をしながら学習に取り組むこと。

【定期試験】

1 実施回数 前期に1回、後期に1回実施する。 2 出題範囲 報告課題の内容を中心とする。

評価方法

【知識・技能】報告課題、定期試験での成果にもとづき評価をする。 【思考・判断・表現】報告課題、面接指導、定期試験での成果にもとづき評価をする。

【主体的に学習に取り組む態度】マイページ内の「講座視聴」の学習および報告課題の取り組み状況、面接指導および定期試験の出席状況にもとづき評価をする。
評定は、3観点を点数化し、科目の目標や内容に照らし合せて、5段階評価を行う。

年間指導計画

教科等		科目		単位数	報告課題回数	定期試験回数
数学		数学Ⅱ		4	12	2
面接指導						
規定回数(1)	メディアによる減免回数		(1)-(2)-(3)	実施学年・クラス等	指導者名	
	Web(2)	放送視聴(3)				
4	2	0	2			
※検定教科書は、発行者の番号・略称、教科書の記号・番号を記載		発行者の番号・略称または出版社名	教科書の記号・番号	書名		
教科書	東京書籍	数Ⅱ702		数学Ⅱ Standard		
副教材等	-	-		-		

学習目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
 (1)いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理、法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。【知識・技能】
 (2)数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を身に付けている。【思考・判断・表現】
 (3)数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を身に付けようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】
 以上を踏まえ、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の育成を目指す。

定期試験範囲

一学期末試験	学年末試験
P8～P67 1章 方程式・式と証明 1節 多項式・分数式の計算 3節 高次方程式 2節 2次方程式 4節 式と証明	P118～P176 3章 三角関数 1節 三角関数 2節 加法定理 4章 指数関数・対数関数 1節 指数関数

【添削指導(報告課題)】

	学習範囲	単元目標	報告課題回数	Web授業回数	定期試験範囲	
					前期	後期
①	P10～P23 1章 方程式・式と証明 1節 多項式・分数式の計算	【知識・技能】①三次の乗法公式及び因数分解の公式を理解し、それらを用いて式の展開や因数分解をすることができる。②多項式の除法や分数式の四則計算の方法について理解し、簡単な場合について計算をすることができる。 【思考・判断・表現】①式の計算の方法を既に学習した数や式の計算と関連付け多面的に考察することができる。	1	1・2	○	
②	P24～P39 1章 方程式・式の証明 2節 2次方程式	【知識・技能】①数を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の四則計算をすることができる。②二次方程式の解の種類や判別式及び解と係数の関係について理解することができる。 【思考・判断・表現】①日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、方程式を問題解決に活用することができる。	2	3・4	○	
③	P40～P62 1章 方程式・式の証明 3節 高次方程式 4節 式と証明	【知識・技能】①因数定理について理解し、簡単な高次方程式について因数定理などを用いてその解を求めることができる。 【思考・判断・表現】①実数の性質や等式の性質、不等式の性質などを基に、等式や不等式が成り立つことを論理的に考察し、証明することができる。	3	5・6	○	
④	P70～P89 2章 図形と方程式 1節 点と直線	【知識・技能】①座標を用いて、平面上の線分を内分する点、外分する点の位置や二点間の距離を表すことができる。 【思考・判断・表現】①座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、それを方程式を用いて表現し、図形の性質や位置関係について考察することができる。	4	7・8		
⑤	P90～P102 2章 図形と方程式 2節 円	【知識・技能】①座標平面上の直線や円を方程式で表すことができる。 【思考・判断・表現】①平面上の円を、2次方程式を用いて表現し、円と直線の位置関係について考察することができる。	5	9・10		
⑥	P103～P113 2章 図形と方程式 3節 軌跡と領域	【知識・技能】①軌跡について理解し、簡単な場合について軌跡を求めることができる。②簡単な場合について、不等式の表す領域を求めたり領域を不等式で表したりすることができる。 【思考・判断・表現】①数量と図形との関係などに着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、コンピュータなどの情報機器を用いて軌跡や不等式の表す領域を座標平面上に表すなどして、問題解決に活用したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。	6	11・12		
⑦	P120～P144 3章 三角関数 1節 三角関数	【知識・技能】①角の概念を一般角まで拡張する意義や弧度法による角度の表し方について理解することができる。②三角関数の値の変化やグラフの特徴について理解することができる。③三角関数の相互関係などの基本的な性質を理解すること。 【思考・判断・表現】①三角関数の式とグラフの関係について多面的に考察することができる。	7	13・14	○	
⑧	P145～P155 3章 三角関数 2節 加法定理	【知識・技能】①三角関数の加法定理や2倍角の公式、三角関数の合成について理解することができる。 【思考・判断・表現】①三角関数に関する様々な性質について考察するとともに、三角関数の加法定理から新たな性質を導くことができる。②二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。	8	15・16	○	
⑨	P162～P176 4章 指数関数・対数関数 1節 指数関数	【知識・技能】①指数を正の整数から有理数へ拡張する意義を理解し、指数法則を用いて数や式の計算をすることができる。②指数関数の値の変化やグラフの特徴について理解することができる。 【思考・判断・表現】①(A)指数と対数を相互に関連付けて考察すること。 (イ)指数関数及び対数関数の式とグラフの関係について、多面的に考察すること。 (ウ)二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。	9	17・18	○	
⑩	P177～P192 4章 指数関数・対数関数 2節 対数関数	【知識・技能】①対数の意味とその基本的な性質について理解し、簡単な対数の計算をすることができる。②対数関数の値の変化やグラフの特徴について理解することができる。 【思考・判断・表現】①対数関数の式とグラフの関係について、多面的に考察することができる。②二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。	10	19・20		
⑪	P200～P226 5章 微分と積分 1節 微分の考え	【知識・技能】①微分係数や導関数の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の導関数を求めることができる。②導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ、グラフの概形をかく方法を理解することができる。 【思考・判断・表現】①関数とその導関数との関係について考察することができる。②関数の局所的な変化に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。	11	21・22		
⑫	P227～P247 5章 微分と積分 2節 積分の考え	【知識・技能】①不定積分及び定積分の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の不定積分や定積分の値を求めることができる。 【思考・判断・表現】①微分と積分の関係に着目し、積分の考えを用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求める方法について考察すること。	12	23・24		

学習方法

【添削指導(報告課題)】

1 マイページ内の「講座視聴」の学習を終えること。 2 教科書を見ながら報告課題に取り組み、期限内に提出すること。 3 各回の添削指導後も、疑問点などがあれば、質問メールや面接指導時を活用してそれらの解消に努めること。

【面接指導(スクーリング)】 1 自宅学習に必要な基礎的・基本的な知識や技能を学ぶ機会とすること。 2 教員から直接指導を受けたり、他の生徒と議論や協力をしながら学習に取り組むこと。

【定期試験】 1 実施回数 前期に1回、後期に1回実施する。 2 出題範囲 報告課題の内容を中心とする。

評価方法

【知識・技能】報告課題、定期試験での成果にもとづき評価をする。 **【思考・判断・表現】**報告課題、面接指導、定期試験での成果にもとづき評価をする。

【主体的に学習に取り組む態度】マイページ内の「講座視聴」の学習および報告課題の取り組み状況、面接指導および定期試験の出席状況にもとづき評価をする。
評定は、3観点を点数化し、科目の目標や内容に照らし合わせて、5段階評価を行う。

年間指導計画

教科等		科目			単位数	報告課題回数	定期試験回数
数学		数学A			2	6	2
面接指導				実施学年・クラス等	指導者名		
規定回数(1)	メディアによる減免回数		(1)-(2)-(3)				
	Web(2)	放送視聴(3)					
2	1	0	1				
※検定教科書は、発行者の番号・略称、教科書の記号・番号を記載	発行者の番号・略称または出版社名	教科書の記号・番号	書名				
教科書	東京書籍	702	数学A Standard				
副教材等	-	-	-				
学習目標							
<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。【知識・技能】</p> <p>(2)図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を身に付けている。【思考・判断・表現】</p> <p>(3)数学のよさを認識し数学を活用しようとするとともに、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとし、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>以上を踏まえ、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の育成を目指す。</p>							
定期試験範囲							
一学期末試験				学年末試験			
1章 場合の数と確率 1節 集合と場合の数 2節 確率とその基本性質				2章 図形の性質 1節 三角形と比 2節 円の性質 3節 空間図形			
【添削指導(報告課題)】							
	学習範囲	単元目標			報告課題回数	Web授業回数	定期試験範囲 前期 後期
①	1章 場合の数と確率 1節 集合と場合の数	【知識・技能】 ①集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則、積の法則などの数え上げの原則について理解することができる。 ②具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し、順列の総数や組合せの総数を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ①事象の構造などに着目し、場合の数を求める方法を多面的に考察することができる。			1	1・2	○
②	1章 場合の数と確率 2節 確率とその基本性質	【知識・技能】 ①確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを用いて事象の確率を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ①確率の性質や法則に着目し、確率を求める方法を多面的に考察することができる。			2	3・4	○
③	1章 場合の数と確率 3節 いろいろな確率	【知識・技能】 ①独立な試行の意味を理解し、独立な試行の確率を求めることができる。 ②条件付き確率の意味を理解し、簡単な場合について条件付き確率を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ①確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断したり、期待値を意思決定に活用したりすることができる。			3	5・6	
④	2章 図形の性質 1節 三角形と比	【知識・技能】 ①三角形に関する基本的な性質について理解することができる。 【思考・判断・表現】 ①図形の構成要素間の関係や既に学習した図形の性質に着目し、図形の新たな性質を見だし、その性質について論理的に考察したり説明したりすることができる。			4	7・8	○
⑤	2章 図形の性質 2節 円の性質 3節 空間図形	【知識・技能】 ①円に関する基本的な性質について理解することができる。 ②空間図形に関する基本的な性質について理解することができる。 【思考・判断・表現】 ①コンピュータなどの情報機器を用いて図形を表すなどして、図形の性質や作図について統合的・発展的に考察することができる。			5	9・10	○
⑥	3章 数学と人間の活動 1節 数える 2節 はかる 3節 遊ぶ	【知識・技能】 ①数量や図形に関する概念などと人間の活動との関わりについて理解することができる。 ②数学史的な話題、数理的なゲームやパズルなどを通して、数学と文化との関わりについての理解を深めることができる。 【思考・判断・表現】 ①数量や図形に関する概念などを、関心に基づいて発展させ考察することができる。 ②パズルなどに数学的な要素を見だし、目的に応じて数学を活用して考察することができる。			6	11・12	
学習方法							
【添削指導(報告課題)】 1 マイページ内の「講座視聴」の学習を終えること。 2 教科書を見ながら報告課題に取り組み、期限内に提出すること。 3 各回の添削指導後も、疑問点などがあれば、質問メールや面接指導時を活用してそれらの解消に努めること。 【面接指導(スクーリング)】 1 自宅学習に必要な基礎的・基本的な知識や技能を学ぶ機会とすること。 2 教員から直接指導を受けたり、他の生徒と議論や協力をしながら学習に取り組むこと。 【定期試験】 1 実施回数 前期に1回、後期に1回実施する。 2 出題範囲 報告課題の内容を中心とする。							
評価方法							

【知識・技能】報告課題、定期試験での成果にもとづき評価をする。

【思考・判断・表現】報告課題、面接指導、定期試験での成果にもとづき評価をする。

【主体的に学習に取り組む態度】マイページ内の「講座視聴」の学習および報告課題の取り組み状況、面接指導および定期試験の出席状況にもとづき評価をする。
評定は、3観点を点数化し、科目の目標や内容に照らし合せて、5段階評価を行う。

【知識・技能】報告課題、定期試験での成果にもとづき評価をする。

【思考・判断・表現】報告課題、面接指導、定期試験での成果にもとづき評価をする。

【主体的に学習に取り組む態度】マイページ内の「講座視聴」の学習および報告課題の取り組み状況、面接指導および定期試験の出席状況にもとづき評価をする。
評定は、3観点を点数化し、科目の目標や内容に照らし合せて、5段階評価を行う。

年間指導計画

教科等		科目		単位数	報告課題回数	定期試験回数	
理科		科学と人間生活		2	6	2	
面接指導			実施学年・クラス等	指導者名			
規定回数(1)	メディアによる減免回数						
	Web(2)	放送視聴(3)	(1)-(2)-(3)				
8	4	0	4				
※検定教科書は、発行者の番号・略称、教科書の記号・番号を記載	発行者の番号・略称または出版社名	教科書の記号・番号	書名				
教科書	104・数研	科人・704	科学と人間生活				
副教材等	-	-	-				
学習目標							
<p>自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。【知識・技能】</p> <p>(2)観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究しようとしている。【思考・判断・表現】</p> <p>(3)自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとするとともに、科学に対する興味・関心を高めている。【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。</p>							
定期試験範囲							
一学期末試験			学年末試験				
序編 科学技術の発展 第1編 物質の科学			第3編 光や熱の科学 第4編 宇宙や地球の科学				
【添削指導(報告課題)】							
	学習範囲	単元目標			報告課題回数	Web授業回数	定期試験範囲 前期 後期
①	序編 科学技術の発展	【知識・技能】 ①科学技術の発展が今日の人間生活に対してどのように貢献してきたかについて理解している。 【思考・判断・表現】 ①科学技術の発展と人間生活との関わりについて科学的に考察し表現することができる。			1	1・2	○
②	第1編 物質の科学	【知識・技能】 ①身近な材料に関する観察、実験などをおこない、金属やプラスチックの種類、性質及び用途と資源の再利用について、日常生活と関連付けて理解している。 ②衣料と食品に関する観察、実験などを行い、身近な衣料材料の性質や用途、食品中の主な成分の性質について、日常生活と関連付けて理解することができる。 【思考・判断・表現】 ①物質の科学について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて、科学的に考察し表現することができる。			2	3・4	○
③	第2編 生命の科学	【知識・技能】 ①ヒトの生命現象に関する観察、実験などを行い、ヒトの生命現象を人間生活と関連付けて理解している。 ②微生物に関する観察、実験などを行い、微生物の働きを人間生活と関連付けて理解することができる。 【思考・判断・表現】 ①生命の科学について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて、科学的に考察し表現することができる。			3	5・6	
④	第3編 光や熱の科学	【知識・技能】 ①光に関する観察、実験などを行い、光を中心とした電磁波の性質とその利用について、日常生活と関連付けて理解することができる。 ②熱に関する観察、実験などを行い、熱の性質、エネルギーの変換と保存及び有効利用について、日常生活と関連付けて理解することができる。 【思考・判断・表現】 ①光や熱の科学について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて、科学的に考察し表現することができる。			4	7・8	○
⑤	第4編 宇宙や地球の科学	【知識・技能】 ①天体に関する観察、実験などを行い、太陽などの身近に見られる天体の運動や太陽の放射エネルギーについて、人間生活と関連付けて理解することができる。 ②自然景観と自然災害に関する観察、実験などを行い、身近な自然景観の成り立ちと自然災害について、人間生活と関連付けて理解することができる。 【思考・判断・表現】 ①宇宙や地球の科学について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて、科学的に考察し表現することができる。			5	9・10	○
⑥	終編 これからの科学と人間生活 資料編 将来×サイエンス Newspaper 未来をひらくSCIENCE	【知識・技能】 ①これからの科学と人間生活との関わり方について認識を深めている。 【思考・判断・表現】 ①これからの科学と人間生活との関わり方について科学的に考察し表現することができる。			6	11・12	
学習方法							
【添削指導(報告課題)】							
1 マイページ内の「講座視聴」の学習を終えること。 2 教科書を見ながら報告課題に取り組み、期限内に提出すること。 3 各回の添削指導後も、疑問点などがあれば、質問メールや面接指導時を活用してそれらの解消に努めること。							
【面接指導(スクーリング)】							
1 自宅学習に必要な基礎的・基本的な知識や技能を学ぶ機会とすること。 2 教員から直接指導を受けたり、他の生徒と議論や協力をしながら学習に取り組むこと。							
【定期試験】							
1 実施回数 前期に1回、後期に1回実施する。 2 出題範囲 報告課題の内容を中心とする。							
評価方法							

【知識・技能】報告課題、定期試験での成果にもとづき評価をする。

【思考・判断・表現】報告課題、面接指導、定期試験での成果にもとづき評価をする。

【主体的に学習に取り組む態度】マイページ内の「講座視聴」の学習および報告課題の取り組み状況、面接指導および定期試験の出席状況にもとづき評価をする。
評価は、3観点を点数化し、科目の目標や内容に照らし合せて、5段階評価を行う。

年間指導計画

教科等		科目					
理科		物理基礎					
		単位数	報告課題回数	定期試験回数			
		2	6	2			
面接指導				実施学年・クラス等	指導者名		
規定回数(1)	メディアによる減免回数		(1)-(2)-(3)				
	Web(2)	放送視聴(3)					
8	4	0	4				
※検定教科書は、発行者の番号・略称、教科書の記号・番号を記載	発行者の番号・略称または出版社名	教科書の記号・番号	書名				
教科書	183・第一	物基・709	高等学校 物理基礎				
副教材等	-	-	-				
学習目標							
<p>物体の運動と様々なエネルギーに関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物体の運動と様々なエネルギーを科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。【知識・技能】</p> <p>(2)観察、実験などを行い、科学的に探究しようとしている。【思考・判断・表現】</p> <p>(3)物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。</p>							
定期試験範囲							
一学期末試験			学年末試験				
第Ⅰ章 第1節 物体の運動 第2節 力と運動の法則			第Ⅱ章 熱とエネルギー 第Ⅲ章 第1節 波の性質 第2節 音波				
【添削指導(報告課題)】							
学習範囲		単元目標		報告課題回数	Web授業回数	定期試験範囲	
						前期	後期
①	第Ⅰ章 第1節 物体の運動 (教科書p.12～49)	【知識・技能】 ①身近な物理現象について、物理量の測定と表し方、分析の手法を身に付けている。 ②物体の運動の表し方について、直線運動を中心に理解することができる。 【思考・判断・表現】 ①速度が変化する物体の直線運動に関する実験などを行い、速度と時間との関係を見いだして理解するとともに、物体が直線運動する場合の加速度を表現することができる。		1	1・2	○	
②	第Ⅰ章 第2節 力と運動の法則 (教科書p.50～87)	【知識・技能】 ①物体に様々な力が働くことを理解することができる。 ②物体に働く力のつり合いを理解することができる。 ③物体が落下する際の運動の特徴及び物体に働く力と運動との関係について理解することができる。 【思考・判断・表現】 ①物体に一定の力を加え続けたときの運動に関する実験などを行い、物体の質量、物体に働く力、物体に生じる加速度の関係を見いだして理解するとともに、運動の三法則を表現することができる。		2	3・4	○	
③	第Ⅰ章 第3節 仕事と力学的エネルギー (教科書p.88～113)	【知識・技能】 ①運動エネルギーと位置エネルギーについて、仕事と関連付けて理解することができる。 【思考・判断・表現】 ①力学的エネルギーに関する実験などを行い、力学的エネルギー保存の法則を仕事と関連付けて表現することができる。		3	5・6		
④	第Ⅱ章 熱とエネルギー (教科書p.116～135)	【知識・技能】 ①熱と温度について、原子や分子の熱運動の観点から理解することができる。 【思考・判断・表現】 ①熱に関する実験などを行い、熱の移動及び熱と仕事の変換について表現することができる。		4	7・8		○
⑤	第Ⅲ章 第1節 波の性質 第2節 音波 (教科書p.138～191)	【知識・技能】 ①波の性質について、直線状に伝わる場合を理解することができる。 ②弦の振動、音波の性質を理解することができる。 【思考・判断・表現】 ①気柱の共鳴に関する実験などを行い、気柱の共鳴と音源の振動数を関連付けて表現することができる。		5	9・10		○
⑥	第Ⅳ章 第1節 静電気と電流 第2節 電流と磁場 第3節 エネルギーとその利用 (教科書p.194～241)	【知識・技能】 ①物質によって抵抗率が異なることを理解することができる。 ②発電、送電及び電気の利用について、基本的な仕組みを理解することができる。 【思考・判断・表現】 ①電気抵抗に関する実験などを行い、同じ物質からなる導体でも長さや断面積によって電気抵抗が異なることを見いだして表現することができる。		6	11・12		
学習方法							
【添削指導(報告課題)】							
1 マイページ内の「講座視聴」の学習を終えること。 2 教科書を見ながら報告課題に取り組み、期限内に提出すること。 3 各回の添削指導後も、疑問点などがあれば、質問メールや面接指導時を活用してそれらの解消に努めること。							
【面接指導(スクーリング)】							
1 自宅学習に必要な基礎的・基本的な知識や技能を学ぶ機会とすること。 2 教員から直接指導を受けたり、他の生徒と議論や協力をしながら学習に取り組むこと。							
【定期試験】							
1 実施回数 前期に1回、後期に1回実施する。 2 出題範囲 報告課題の内容を中心とする。							

評価方法

【知識・技能】報告課題、定期試験での成果にもとづき評価をする。

【思考・判断・表現】報告課題、面接指導、定期試験での成果にもとづき評価をする。

【主体的に学習に取り組む態度】マイページ内の「講座視聴」の学習および報告課題の取り組み状況、面接指導および定期試験の出席状況にもとづき評価をする。
評定は、3観点を点数化し、科目の目標や内容に照らし合せて、5段階評価を行う。

年間指導計画

教科等			科目		単位数	報告課題回数	定期試験回数
理科			化学基礎		2	6	2
面接指導							指導者名
規定回数(1)	メディアによる減免回数		(1)-(2)-(3)	実施学年・クラス等			
	Web(2)	放送視聴(3)					
8	4	0	4				
※検定教科書は、発行者の番号・略称、教科書の記号・番号を記載	発行者の番号・略称または出版社名	教科書の記号・番号	書名				
教科書	183・第一	化基・711	高等学校 化学基礎				
副教材等	-	-	-				
学習目標							
<p>物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。【知識・技能】</p> <p>(2)観察、実験などを行い、科学的に探究しようとしている。【思考・判断・表現】</p> <p>(3)物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。</p>							
定期試験範囲							
一学期末試験				学年末試験			
第Ⅰ章 物質の構成 第1節 物質の成分と構成元素 第2節 原子の構造と元素の周期表				第Ⅱ章 物質の変化 第1節 物質と化学反応式 第2節 酸と塩基の反応			
【添削指導(報告課題)】							
	学習範囲	単元目標			報告課題回数	Web授業回数	定期試験範囲 前期 後期
①	第Ⅰ章 物質の構成 第1節 物質の成分と構成元素	<p>【知識・技能】</p> <p>①粒子の熱運動と温度との関係、粒子の熱運動と物質の三態変化との関係について理解することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①化学と人間生活との関わりについての観察、実験などを通して、物質を対象とする科学である化学の特徴について理解するとともに、実験における基本操作と物質を探究する方法を身に付けている。</p>			1	1・2	○
②	第Ⅰ章 物質の構成 第2節 原子の構造と元素の周期表	<p>【知識・技能】</p> <p>①原子の構造及び陽子、中性子、電子の性質を理解することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①元素の周期律及び原子の電子配置と周期表の族や周期との関係について理解することができる。</p>			2	3・4	○
③	第Ⅰ章 物質の構成 第3節 物質と化学結合	<p>【知識・技能】</p> <p>①イオンの生成を電子配置と関連付けて理解するとともに、イオン結合及び共価結合でできた物質の性質を理解している。</p> <p>②共有結合を電子配置と関連付けて理解し、分子からなる物質の性質を理解することができる。</p> <p>③金属の性質及び金属結合を理解することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①物質の構成について、観察、実験などを通して探究し、物質の構成における規則性や関係性を見いだして表現することができる。</p>			3	5・6	
④	第Ⅱ章 物質の変化 第1節 物質と化学反応式	<p>【知識・技能】</p> <p>①物質と化学反応式、化学反応について、物質と粒子数、質量、気体の体積との関係について理解することができる。</p> <p>②化学反応式が化学反応に関与する物質とその量的関係を表すことを見いだして理解することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①物質の変化とその利用について、観察、実験などを通して探究し、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現することができる。</p>			4	7・8	○
⑤	第Ⅱ章 物質の変化 第2節 酸と塩基の反応	<p>【知識・技能】</p> <p>①酸や塩基に関する実験などを行い、酸と塩基の性質及び中和反応に関与する物質の量的関係を理解することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①物質の変化とその利用について、観察、実験などを通して探究し、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現することができる。</p>			5	9・10	○
⑥	第Ⅱ章 物質の変化 第3節 酸化還元反応	<p>【知識・技能】</p> <p>①酸化と還元が電子の授受によることを理解することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①物質の変化とその利用について、観察、実験などを通して探究し、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現することができる。</p>			6	11・12	
学習方法							
【添削指導(報告課題)】							
<p>1 マイページ内の「講座視聴」の学習を終えること。</p> <p>2 教科書を見ながら報告課題に取り組み、期限内に提出すること。</p> <p>3 各回の添削指導後も、疑問点などがあれば、質問メールや面接指導時を活用してそれらの解消に努めること。</p>							
【面接指導(スクーリング)】							
<p>1 自宅学習に必要な基礎的・基本的な知識や技能を学ぶ機会とすること。</p> <p>2 教員から直接指導を受けたり、他の生徒と議論や協力をしながら学習に取り組むこと。</p>							
【定期試験】							
<p>1 実施回数 前期に1回、後期に1回実施する。 2 出題範囲 報告課題の内容を中心とする。</p>							
評価方法							

【知識・技能】報告課題、定期試験での成果にもとづき評価をする。

【思考・判断・表現】報告課題、面接指導、定期試験での成果にもとづき評価をする。

【主体的に学習に取り組む態度】マイページ内の「講座視聴」の学習および報告課題の取り組み状況、面接指導および定期試験の出席状況にもとづき評価をする。
評定は、3観点を点数化し、科目の目標や内容に照らし合せて、5段階評価を行う。

年間指導計画

教科等		科目				
理科		生物基礎				
		単位数	報告課題回数	定期試験回数		
		2	6	2		
面接指導				実施学年・クラス等	指導者名	
規定回数(1)	メディアによる減免回数		(1)-(2)-(3)			
	Web(2)	放送視聴(3)				
8	4	0	4			
※検定教科書は、発行者の番号・略称、教科書の記号・番号を記載		発行者の番号・略称または出版社名	教科書の記号・番号	書名		
教科書	183・第一	生基・710	高等学校 生物基礎			
副教材等	-	-	-			
学習目標						
<p>生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見直しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。【知識・技能】</p> <p>(2)観察、実験などを行い、科学的に探究しようとしている。【思考・判断・表現】</p> <p>(3)生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとするとともに、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与しようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>以上(1)から(3)を踏まえ、生徒の「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」を育成することを目指す。</p>						
定期試験範囲						
一学期末試験			学年末試験			
顕微鏡観察(教科書p.14~17) 第1編第1章(教科書p.18~53) 第1編第2章(教科書p.54~91)			第2編第3章第2節(p.116~141) 第3編第4章(p.142~183)			
【添削指導(報告課題)】						
学習範囲	単元目標			報告課題回数	Web授業回数	定期試験範囲 前期 後期
① 顕微鏡観察(教科書p.14~17) 第1編第1章(教科書p.18~53)	<p>【知識・技能】</p> <p>①様々な生物の比較に基づいて、生物は多様でありながら共通性をもっていることを見いだして理解するとともに、生物の共通性と起源の共有を関連付けて理解することができる。</p> <p>②生物とエネルギーに関する資料に基づいて、生命活動にエネルギーが必要であることを理解するとともに、光合成や呼吸などの代謝とATPを関連付けて理解することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①生物の特徴について、観察、実験などを通して探究し、多様な生物がもつ共通の特徴を見いだして表現することができる。</p>			1	1・2	○
② 第1編第2章(教科書p.54~91)	<p>【知識・技能】</p> <p>①DNAの構造に関する資料に基づいて、遺伝情報を担う物質としてのDNAの特徴を見いだして理解するとともに、塩基の相補性とDNAの複製を関連付けて理解することができる。</p> <p>②遺伝情報の発現に関する資料に基づいて、DNAの塩基配列とタンパク質のアミノ酸配列との関係を見いだして理解することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①生物の特徴について、観察、実験などを通して探究し、多様な生物がもつ共通の特徴を見いだして表現することができる。</p>			2	3・4	○
③ 第2編第3章第1節(p.92~115)	<p>【知識・技能】</p> <p>①体内環境の維持の仕組みに関する資料に基づいて、体内環境の維持とホルモンの働きとの関係を見いだして理解するとともに、体内環境の維持を自律神経と関連付けて理解することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①体の調節に関する観察、実験などを行い、体内での情報の伝達が体の調節に関係していることを見いだして理解することができる。</p> <p>②ヒトの体の調節について、観察、実験などを通して探究し、神経系と内分泌系による調節及び免疫などの特徴を見いだして表現することができる。</p>			3	5・6	
④ 第2編第3章第2節(p.116~141)	<p>【知識・技能】</p> <p>①免疫に関する資料に基づいて、異物を排除する防御機構が備わっていることを見いだして理解することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①ヒトの体の調節について、観察、実験などを通して探究し、神経系と内分泌系による調節及び免疫などの特徴を見いだして表現することができる。</p>			4	7・8	○
⑤ 第3編第4章(p.142~183)	<p>【知識・技能】</p> <p>①植生の遷移に関する資料に基づいて、遷移の要因を見いだして理解するとともに、植生の遷移をバイオームと関連付けて理解することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①生物の多様性と生態系について、観察、実験などを通して探究し、生態系における、生物の多様性及び生物と環境との関係性を見いだして表現することができる。</p>			5	9・10	○
⑥ 第3編第5章(p.184~217)	<p>【知識・技能】</p> <p>①生態系のバランスに関する資料に基づいて、生態系のバランスと人為的攪乱を関連付けて理解するとともに、生態系の保全の重要性を認識することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①生態系と生物の多様性に関する観察、実験などを行い、生態系における生物の種多様性を見いだして理解するとともに、生物の種多様性と生物間の関係性とを関連付けて理解することができる。</p> <p>②生物の多様性と生態系について、観察、実験などを通して探究し、生態系における、生物の多様性及び生物と環境との関係性を見いだして表現することができる。</p>			6	11・12	
学習方法						
<p>【添削指導(報告課題)】</p> <p>1 マイページ内の「講座視聴」の学習を終えること。</p> <p>2 教科書を見ながら報告課題に取り組み、期限内に提出すること。</p> <p>3 各回の添削指導後も、疑問点などがあれば、質問メールや面接指導時を活用してそれらの解消に努めること。</p> <p>【面接指導(スクーリング)】</p> <p>1 自宅学習に必要な基礎的・基本的な知識や技能を学ぶ機会とすること。</p> <p>2 教員から直接指導を受けたり、他の生徒と議論や協力をしながら学習に取り組むこと。</p> <p>【定期試験】</p> <p>1 実施回数 前期に1回、後期に1回実施する。 2 出題範囲 報告課題の内容を中心とする。</p>						

評価方法

【知識・技能】報告課題、定期試験での成果にもとづき評価をする。

【思考・判断・表現】報告課題、面接指導、定期試験での成果にもとづき評価をする。

【主体的に学習に取り組む態度】マイページ内の「講座視聴」の学習および報告課題の取り組み状況、面接指導および定期試験の出席状況にもとづき評価をする。
評定は、3観点を点数化し、科目の目標や内容に照らし合せて、5段階評価を行う。

年間指導計画

教科等		科目		単位数	報告課題回数	定期試験回数
理科		地学基礎		2	6	2
面接指導				実施学年・クラス等		指導者名
規定回数(1)	メディアによる減免回数		(1)-(2)-(3)			
	Web(2)	放送視聴(3)				
8	4	0	4			
※検定教科書は、発行者の番号・略称、教科書の記号・番号を記載	発行者の番号・略称または出版社名	教科書の記号・番号	書名			
教科書	東京書籍	地基701	地学基礎			
副教材等	-	-	-			
学習目標						
<p>地球や地球を取り巻く環境に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、地球や地球を取り巻く環境を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。【知識・技能】</p> <p>(2)観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。【思考・判断・表現】</p> <p>(3)地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与しようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>以上(1)から(3)を踏まえ、生徒の「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」を育成することを目指す。</p>						
定期試験範囲						
一学期末試験			学年末試験			
1編 私たちの大地(P14～P49) 2編 私たちの空と海(P52～P73)			4編 私たちの地球の歴史(P98～P127) 5編 地球に生きる私たち(P130～P147)			
【添削指導(報告課題)】						
	学習範囲	単元目標		報告課題回数	Web授業回数	定期試験範囲 前期 後期
①	1編 私たちの大地 1章 大地とその動き 2章 火山活動と地震 (P14～P49)	<p>【知識・技能】</p> <p>①地球内部の層構造とその状態を理解している。</p> <p>②プレートの分布と運動について理解しているとともに、大地形の形成と地質構造をプレートの運動と関連付けて理解している。</p> <p>③火山活動や地震に関する資料に基づいて、火山活動と地震の発生の仕組みをプレートの運動と関連付けて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①地球の形や大きさに関する観察、実験などを行い、地球の形の特徴と大きさを見いだして科学的に探究している。</p>		1	1・2	○
②	2編 私たちの空と海 1章 地球の熱収支 2章 大気と海水の運動 (P52～P73)	<p>【知識・技能】</p> <p>①気圧や気温の鉛直方向の変化などについての資料に基づいて、大気の特徴を見いだして理解しているとともに、太陽放射の受熱量と地球放射の放熱量がつり合っていることを理解している。</p> <p>②大気と海水の運動に関する資料に基づいて、大気と海洋の大循環について理解しているとともに、緯度により太陽放射の受熱量が異なることから、地球規模で熱が輸送されていることを見いだして理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①地球の熱収支に関する観察、実験などを行い、高度による地球大気の特徴と温度変化の関係及び緯度による太陽放射エネルギーの違いについて科学的に探究している。</p>		2	3・4	○
③	3編 私たちの宇宙の誕生 1章 宇宙の構造と進化 (P76～P95)	<p>【知識・技能】</p> <p>①宇宙の誕生、太陽系の誕生と生命を生み出す条件を備えた地球の特徴を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①惑星形成に関する観察などを行い、太陽系の形成過程や惑星ごとの特徴について科学的に探究している。</p>		3	5・6	
④	4編 私たちの地球の歴史 1章 地層と化石の観察 2章 古生物の変遷と地球環境 (P98～P127)	<p>【知識・技能】</p> <p>①地球環境の変化に関する資料に基づいて、大気の変化と生命活動の相互の関わりを見いだして理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①地層や化石に関する観察などを行い、地質時代が古生物の変遷に基づいて区分されることを科学的に探究している。</p>		4	7・8	○
⑤	5編 地球に生きる私たち 1章 日本の自然の恵みと防災 (P130～P147)	<p>【知識・技能】</p> <p>①日本の自然環境を理解し、それらがもたらす恩恵や災害など自然環境と人間生活との関わりについて認識している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①自然環境の観察などを行い、得られる恩恵や災害などの関係について科学的に探究している。</p>		5	9・10	○
⑥	終1章 地球環境の考え方 終2章 自然環境の変動 終3章 これからの地球環境 (P148～P169)	<p>【知識・技能】</p> <p>①地球規模の自然環境に関する資料に基づいて、地球環境の変化を見いだしてその仕組みを理解しているとともに、それらの現象と人間生活との関わりについて認識している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①地球環境に関する観察、実験などを行い、人間活動と環境変動についての関係を科学的に探究している。</p>		6	11・12	
学習方法						
【添削指導(報告課題)】						
<p>1 マイページ内の「講座視聴」の学習を終えること。</p> <p>2 教科書を見ながら報告課題に取り組み、期限内に提出すること。</p> <p>3 各回の添削指導後も、疑問点などがあれば、質問メールや面接指導時を活用してそれらの解消に努めること。</p>						
【面接指導(スクーリング)】						
<p>1 自宅学習に必要な基礎的・基本的な知識や技能を学ぶ機会とすること。</p> <p>2 教員から直接指導を受けたり、他の生徒と議論や協力をしながら学習に取り組むこと。</p>						
【定期試験】						
<p>1 実施回数 前期に1回、後期に1回実施する。 2 出題範囲 報告課題の内容を中心とする。</p>						

評価方法

【知識・技能】報告課題、定期試験での成果にもとづき評価をする。

【思考・判断・表現】報告課題、面接指導、定期試験での成果にもとづき評価をする。

【主体的に学習に取り組む態度】マイページ内の「講座視聴」の学習および報告課題の取り組み状況、面接指導および定期試験の出席状況にもとづき評価をする。
評定は、3観点を点数化し、科目の目標や内容に照らし合せて、5段階評価を行う。

年間指導計画

教科等			科目		単位数	報告課題回数	定期試験回数
保健体育			体育 I		2	2	2
面接指導			実施学年・クラス等		指導者名		
規定回数(1)	メディアによる減免回数		(1)-(2)-(3)				
	Web(2)	放送視聴(3)					
10	6	0	4				
※検定教科書は、発行者の番号・略称、教科書の記号・番号を記載	発行者の番号・略称または出版社名	教科書の記号・番号	書名				
教科書	50・大修館	保体701	現代高等保健体育				
副教材等	-	-	-				
学習目標							
<p>体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習課程を通して、体と心を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次の通り育成する。</p> <p>(1)スポーツの始まりと変遷や、現代のスポーツが社会や環境にもたらす大きな影響を理解し、スポーツから得られる恩恵とスポーツについての課題の双方から自己の関わり方を考え深めることができる。【知識・技能】</p> <p>(2)スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し、判断するとともに、他者に伝えることができる。【思考・判断・表現】</p> <p>(3)スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解することや、課題を発見するために意見交換などの学習に自ら進んで取り組もうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。</p>							
定期試験範囲							
一学期末試験				学年末試験			
1単元 スポーツの発祥と発展(教科書P136～147) 1. スポーツの始まりと変遷 2. 文化としてのスポーツ 3. オリンピックとパラリンピックの意義				1単元 スポーツの発祥と発展(教科書P148～156) 4. スポーツが経済に及ぼす効果 5. スポーツの高潔さとドーピング 6. スポーツと環境			
【添削指導(報告課題)】							
	学習範囲	単元目標			報告課題回数	Web授業回数	定期試験範囲 前期 後期
①	スポーツの発祥と発展①	<p>【知識・技能】</p> <p>①スポーツの始まりや変遷について理解し、スポーツの発展が人々に恩恵をもたらしている一方で、様々な課題も生じていることを理解することができる。</p> <p>②近代オリンピックの成り立ちについて理解し、オリンピックとパラリンピックの価値や意義、理念について理解を深めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①運動と比較し文化としてのスポーツの特徴と多様なかわり方によるスポーツの変容について説明することができる。</p>			1	1・2	○
②	スポーツの発祥と発展②	<p>【知識・技能】</p> <p>①スポーツが経済活動でどのように重要な役割を担っているか、スポーツにかかわる広範な業種から構成されるスポーツ産業による効果、スポーツイベント等による経済波及効果が経済活動に大きな影響を及ぼしていることを理解することができる。</p> <p>②スポーツにかかわる人々の増加に伴う、環境や社会に対する影響について理解することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①スポーツの持つ価値、スポーツが環境や社会にもたらす影響について習得した知識を活用し、スポーツの高潔さを脅かすドーピング等の課題やその要因について理解し、なぜドーピングがスポーツを破壊する行為になるのかを具体的に説明することができる。</p> <p>②スポーツが環境や社会に及ぼす影響について習得した知識を活用し、スポーツが持続可能な発展につながるよりよい解決策を思考し判断することで説明することができる。</p>			2	3・4	○
学習方法							
【添削指導(報告課題)】							
<p>1 マイページ内の「講座視聴」の学習を終えること。</p> <p>2 教科書を見ながら報告課題に取り組み、期限内に提出すること。</p> <p>3 各回の添削指導後も、疑問点などがあれば、質問メールや面接指導時を活用してそれらの解消に努めること。</p>							
【面接指導(スクーリング)】							
<p>1 自宅学習に必要な基礎的・基本的な知識や技能を学ぶ機会とすること。</p> <p>2 教員から直接指導を受けたり、他の生徒と議論や協力をしながら学習に取り組むこと。</p>							
【定期試験】							
<p>1 実施回数 前期に1回、後期に1回実施する。 2 出題範囲 報告課題の内容を中心とする。</p>							
評価方法							
<p>【知識・技能】報告課題、定期試験での成果にもとづき評価をする。</p> <p>【思考・判断・表現】報告課題、面接指導、定期試験での成果にもとづき評価をする。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】マイページ内の「講座視聴」の学習および報告課題の取り組み状況、面接指導および定期試験の出席状況にもとづき評価をする。</p> <p>評定は、3観点を点数化し、科目の目標や内容に照らし合わせて、5段階評価を行う。</p>							

年間指導計画

教科等			科目		単位数	報告課題回数	定期試験回数
保健体育			体育Ⅱ		2	2	2
面接指導			実施学年・クラス等		指導者名		
規定回数(1)	メディアによる減免回数		(1)-(2)-(3)				
	Web(2)	放送視聴(3)					
10	6	0	4				
※検定教科書は、発行者の番号・略称、教科書の記号・番号を記載	発行者の番号・略称または出版社名	教科書の記号・番号	書名				
教科書	大修館書店	保体701	現代高等保健体育				
副教材等	-	-	-				
学習目標							
<p>体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けている。【知識・技能】</p> <p>(2)生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を身に付けている。【思考・判断・表現】</p> <p>(3)運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しもうととしている。【主体的に取り組む態度】</p> <p>以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。</p>							
定期試験範囲							
一学期末試験				学年末試験			
2単元 運動・スポーツの学び方 1.スポーツにおける技能と体力(P158~159) 2.スポーツにおける技術と戦術(P160~161) 3.技能の上達過程と練習(P164~165)				2単元 運動・スポーツの学び方 4.効果的な動きのメカニズム(P168~169) 5.体カトレーニング(P172~175) 6.運動やスポーツでの安全の確保(P176~177)			
【添削指導(報告課題)】							
	学習範囲	単元目標			報告課題回数	Web授業回数	定期試験範囲 前期 後期
①	2単元 運動・スポーツの学び方 1.スポーツにおける技能と体力(P158~159) 2.スポーツにおける技術と戦術(P160~161) 3.技能の上達過程と練習(P164~165)	【知識・技能】 ①運動・スポーツにおける技能について型や上達課程にみる段階や停滞現象について理解できる。 ②戦術・作戦・戦略や効果的な練習方法について理解できる。 【思考・判断・表現】 ①技能の型の違いやそれぞれの練習のしかた、どのようなステップを経て上達するか説明できる。 ②技能や体力を高めるときに気を付けるべき点や、技能が上達するとどのような特徴が見られるかをあげることができる。			1	1・2	○
②	2単元 運動・スポーツの学び方 4.効果的な動きのメカニズム(P168~169) 5.体カトレーニング(P172~175) 6.運動やスポーツでの安全の確保(P176~177)	【知識・技能】 ①動きのメカニズムやさまざまなトレーニングの方法について理解できる。 ②運動・スポーツで起こるけがや事故とその予防について理解できる。 【思考・判断・表現】 ①体の動きについてや目的に応じたトレーニングの方法について説明できる。 ②スポーツ活動中に起きる重大な事故をあげ、発生原因や予防方法を説明できる。			2	3・4	○
学習方法							
【添削指導(報告課題)】 1 マイページ内の「講座視聴」の学習を終えること。 2 教科書を見ながら報告課題に取り組み、期限内に提出すること。 3 各回の添削指導後も、疑問点などがあれば、質問メールや面接指導時を活用してそれらの解消に努めること。 【面接指導(スクーリング)】 1 自宅学習に必要な基礎的・基本的な知識や技能を学ぶ機会とすること。 2 教員から直接指導を受けたり、他の生徒と議論や協力をしながら学習に取り組むこと。 【定期試験】 1 実施回数 前期に1回、後期に1回実施する。 2 出題範囲 報告課題の内容を中心とする。							
評価方法							
【知識・技能】 報告課題、定期試験での成果にもとづき評価をする。 【思考・判断・表現】 報告課題、面接指導、定期試験での成果にもとづき評価をする。 【主体的に学習に取り組む態度】 マイページ内の「講座視聴」の学習および報告課題の取り組み状況、面接指導および定期試験の出席状況にもとづき評価をする。 評定は、3観点を点数化し、科目の目標や内容に照らし合わせて、5段階評価を行う。							

年間指導計画

教科等		科目		単位数	報告課題回数	定期試験回数
保健体育		体育Ⅲ		3	3	2
面接指導				実施学年・クラス等		指導者名
規定回数(1)	メディアによる減免回数		(1)-(2)-(3)			
	Web(2)	放送視聴(3)				
15	9	0	6			
※検定教科書は、発行者の番号・略称、教科書の記号・番号を記載	発行者の番号・略称または出版社名	教科書の記号・番号	書名			
教科書	大修館書店	保体701	現代高等保健体育			
副教材等	-	-	-			
学習目標						
<p>運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。</p> <p>(1)生涯にわたって健康で豊かな生活を送るために、スポーツと継続的に関わり、ライフステージやライフスタイルに応じてスポーツライフを設計する知識を身に付けている。【知識・技能】</p> <p>(2)生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を身に付けようとしている。【思考・判断・表現】</p> <p>(3)健康・安全を確保して、運動における競争や協働の経験を通して、ライフスタイルに応じたスポーツを生涯にわたって継続して親しもうとしている。【主体的に取り組む態度】</p>						
定期試験範囲						
一学期末試験			学年末試験			
【運動やスポーツでの安全の確保】(教科書176～177ページ) 【生涯スポーツの見方・考え方】(教科書182～183ページ) 【ライフスタイルに応じたスポーツ】(教科書186～187ページ)			【スポーツを推進する取り組み】(教科書190～191ページ) 【豊かなスポーツライフの創造】(教科書194～195ページ) 【体のつくりと働き】(教科書口絵1～4ページ)(教科書170)			
【添削指導(報告課題)】						
	学習範囲	単元目標		報告課題回数	Web授業回数	定期試験範囲 前期 後期
①	【運動やスポーツでの安全の確保】(教科書176～177ページ) 【生涯スポーツの見方・考え方】(教科書182～183ページ) 【ライフスタイルに応じたスポーツ】(教科書186～187ページ)	【知識・技能】 ①スポーツ活動中に起こるけがや事故について知識を深めることができる。 ②社会の変化に伴ってスポーツの役割がどのように変化したの理解することができる。 【思考・判断・表現】 ①スポーツ障害やけが、事故の予防法を身に付け、説明することができる。 ②ライフステージに対応したスポーツの楽しみ方を説明することができる。		1	1・2	○
②	【スポーツを推進する取り組み】(教科書190～191ページ) 【豊かなスポーツライフの創造】(教科書194～195ページ)	【知識・技能】 ①オリンピックを通して、スポーツの施策や地域スポーツへの影響を考え知識を深めることができる。 ②これまでとこれからのスポーツライフの違いを理解することができる。 【思考・判断・表現】 ①身近な地域におけるスポーツ推進の取り組みについて例をあげることができる。 ②豊かなスポーツライフを創造していくための課題について取り上げ、個々や社会全体で何が求められるか発表することができる。		2	3・4	○
③	【体のつくりと働き】(教科書口絵1～4ページ)(教科書170)	【知識・技能】 ①体のつくりと働きについて知識を深めることができる。 ②運動と脳のかかわりを理解し、知識を深めることができる。 【思考・判断・表現】 ①体の動きに対して脳のどの部位が関わっているか例をあげて、実践することができる。		3	5・6	○
学習方法						
【添削指導(報告課題)】 1 マイページ内の「講座視聴」の学習を終えること。 2 教科書を見ながら報告課題に取り組み、期限内に提出すること。 3 各回の添削指導後も、疑問点などがあれば、質問メールや面接指導時を活用してそれらの解消に努めること。 【面接指導(スクーリング)】 1 自宅学習に必要な基礎的・基本的な知識や技能を学ぶ機会とすること。 2 教員から直接指導を受けたり、他の生徒と議論や協力をしながら学習に取り組みこと。 【定期試験】 1 実施回数 前期に1回、後期に1回実施する。 2 出題範囲 報告課題の内容を中心とする。						
評価方法						
【知識・技能】報告課題、定期試験での成果にもとづき評価をする。 【思考・判断・表現】報告課題、面接指導、定期試験での成果にもとづき評価をする。 【主体的に学習に取り組む態度】マイページ内の「講座視聴」の学習および報告課題の取り組み状況、面接指導および定期試験の出席状況にもとづき評価をする。 評定は、3観点を点数化し、科目の目標や内容に照らし合わせて、5段階評価を行う。						

年間指導計画

教科等		科目		単位数	報告課題回数	定期試験回数		
保健体育		保健 I		1	3	2		
面接指導				実施学年・クラス等	指導者名			
規定回数(1)	メディアによる減免回数		(1)-(2)-(3)					
	Web(2)	放送視聴(3)						
1	0	0	1					
※検定教科書は、発行者の番号・略称、教科書の記号・番号を記載	発行者の番号・略称または出版社名	教科書の記号・番号	書名					
教科書	大修館	保体701	現代高等保健体育					
副教材等	-	-	-					
学習目標								
<p>保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。</p> <p>(1)個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けている。【知識・技能】</p> <p>(2)健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。【思考・判断・表現】</p> <p>(3)生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営もうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。</p>								
定期試験範囲								
一学期末試験				学年末試験				
<p>1単元 現代社会と健康(教科書P6～35)</p> <p>1. 健康の考え方と成り立ち 2. 私たちの健康のすがた</p> <p>3. 生活習慣病の予防と回復 4. がんの原因と予防</p> <p>5. がんの治療と回復 6. 運動と健康 7. 食事と健康</p> <p>8. 休養・睡眠と健康 9. 喫煙と健康 10. 飲酒と健康</p> <p>11. 薬物乱用と健康</p>				<p>1単元 現代社会と健康(教科書P36～58)</p> <p>12. 精神疾患の特徴 13. 精神疾患の予防 14. 精神疾患からの回復</p> <p>15. 現代の感染症 16. 感染症の予防 17. 性感染症・エイズとその予防</p> <p>18. 健康に関する意思決定・行動選択 19. 健康に関する環境づくり</p> <p>2単元 安全な社会生活(教科書P60～74)</p> <p>1. 事故の現状と発生要因 2. 安全な社会の形成 3. 交通における安全</p> <p>4. 応急手当の意義とその基本 5. 日常的な応急手当 6. 心肺蘇生法</p>				
【添削指導(報告課題)】								
	学習範囲	単元目標			報告課題回数	Web授業回数	定期試験範囲	
							前期 後期	
①	現代社会と健康①	<p>【知識・技能】</p> <p>①国民の健康課題や健康の考え方は、国民の健康水準の向上や疾病構造の変化に伴って変わってきていることを理解することができる。</p> <p>②がん、脳血管疾患、虚血性心疾患、高血圧、糖尿病などの生活習慣病のリスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養及び睡眠など調和の取れた健康的な生活を続けることが必要であると理解している。</p> <p>③健康は様々な要因の影響を受けながら、主体と環境の相互作用の下に成り立っていることを理解することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①ヘルスプロモーションの考え方を踏まえた個人の適切な意思決定や行動選択及び環境づくりが関わることを理解することができる。</p> <p>②生活習慣病などの予防と回復について、習得した知識を基に自他の生活習慣や社会環境を分析し、リスクを軽減するための個人の取組及び社会的な対策に活用して考えることができる。</p> <p>③喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、我が国のこれまでの取組を個人への働きかけと社会環境への対策面から分析することができる。</p>			1	1・2	○	
②	現代社会と健康②	<p>【知識・技能】</p> <p>①感染症は時代や地域によって自然環境や社会環境の影響を受け、発生や流行に違いが見られることを理解できるようにする。</p> <p>②精神疾患は、精神機能の基盤となる心理的、生物的、または社会的な機能の障害などが原因となり、認知、情動、行動などの不調により、精神活動が不全になった状態であることを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①精神疾患の予防と回復について、習得した知識を基に、心身の健康を保ち、不調に早く気付くために必要な個人の取組や社会的な対策を整理することができる。</p>			2	3・4	○	
③	安全な社会生活	<p>【知識・技能】</p> <p>①事故は、地域、職場、家庭、学校など様々な場面において発生していることや、事故の発生には周りの状況の把握及び判断、行動や心理などの人的要因、気象条件、施設・設備、車両、法令、制度、情報体制などの環境要因などが関連していることを理解できる。</p> <p>②適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を防いだり、傷病者の苦痛を緩和したりすることを理解できる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①交通安全について、習得した知識を基に、事故につながる危険を予測し回避するための自他や社会の取組を評価することができる。</p> <p>②応急手当について、習得した知識や技能を事故や災害で生じる傷害や疾病に関連付けて、悪化防止のための適切な方法に活用することができる。</p>			3	5・6	○	
学習方法								
<p>【添削指導(報告課題)】</p> <p>1 マイページ内の「講座視聴」の学習を終えること。</p> <p>2 教科書を見ながら報告課題に取り組み、期限内に提出すること。</p> <p>3 各回の添削指導後も、疑問点などがあれば、質問メールや面接指導時を活用してそれらの解消に努めること。</p> <p>【面接指導(スクーリング)】</p> <p>1 自宅学習に必要な基礎的・基本的な知識や技能を学ぶ機会とすること。</p> <p>2 教員から直接指導を受けたり、他の生徒と議論や協力をしながら学習に取り組むこと。</p> <p>【定期試験】</p> <p>1 実施回数 前期に1回、後期に1回実施する。</p> <p>2 出題範囲 報告課題の内容を中心とする。</p>								

評価方法

【知識・技能】報告課題、定期試験での成果にもとづき評価をする。

【思考・判断・表現】報告課題、面接指導、定期試験での成果にもとづき評価をする。

【主体的に学習に取り組む態度】マイページ内の「講座視聴」の学習および報告課題の取り組み状況、面接指導および定期試験の出席状況にもとづき評価をする。
評定は、3観点を点数化し、科目の目標や内容に照らし合せて、5段階評価を行う。

年間指導計画

教科等		科目		単位数	報告課題回数	定期試験回数	
保健体育		保健Ⅱ		1	3	2	
面接指導				実施学年・クラス等		指導者名	
規定回数(1)	メディアによる減免回数		(1)-(2)-(3)				
	Web(2)	放送視聴(3)					
1	0	0	1				
※検定教科書は、発行者の番号・略称、教科書の記号・番号を記載	発行者の番号・略称または出版社名	教科書の記号・番号	書名				
教科書	大修館書店	保体・701	現代高等保健体育				
副教材等	-	-	-				
学習目標							
<p>保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。</p> <p>(1)個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けている。【知識・技能】</p> <p>(2)健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を身に付けている。【思考・判断・表現】</p> <p>(3)生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊で活力ある生活を営もうとしている。【主体的に取り組む態度】</p> <p>以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。</p>							
定期試験範囲							
一学期末試験			学年末試験				
<p>3単元 生涯を通じる健康</p> <p>1.ライフステージと健康(P76~77) 2.思春期と健康(P78~79)</p> <p>3.性意識と性行動の選択(P80~81) 4.妊娠・出産と健康(P82~83)</p> <p>5.避妊法と人工妊娠中絶(P84~85) 6.結婚生活と健康(P88~89)</p> <p>7.中高年期と健康(P90~91)</p>			<p>3単元 生涯を通じる健康</p> <p>8.働くことと健康(P92~93) 9.労働災害と健康(P94~95) 10.健康的な職業生活(P96~97)</p> <p>4単元 健康を支える環境づくり</p> <p>1.大気汚染と健康(P100~101) 2.水質汚濁、土壌汚染と健康(P102~103)</p> <p>3.環境と健康にかかわる対策(P104~105)</p> <p>4.ごみの処理と上下水道の整備(P106~107)</p> <p>4単元 健康を支える環境づくり</p> <p>5.食品の安全性(P110~111) 6.食品衛生にかかわる活動(P112~113)</p> <p>7.保健サービスとその活用(P116~117) 8.医療サービスとその活用(P118~119)</p> <p>9.医薬品の制度とその活用(P120~121) 10.さまざまな保健活動や社会対策(P124~125)</p> <p>11.健康に関する環境づくりと社会参加(P126~127)</p>				
【添削指導(報告課題)】							
	学習範囲	単元目標			報告課題回数	Web授業回数	定期試験範囲 前期 後期
①	<p>3単元 生涯を通じる健康</p> <p>1.ライフステージと健康(P76~77)</p> <p>2.思春期と健康(P78~79)</p> <p>3.性意識と性行動の選択(P80~81)</p> <p>4.妊娠・出産と健康(P82~83)</p> <p>5.避妊法と人工妊娠中絶(P84~85)</p> <p>6.結婚生活と健康(P88~89)</p> <p>7.中高年期と健康(P90~91)</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>①思春期における体の変化や家族計画の意義と適切な避妊法について理解できる。</p> <p>②心身の発達と結婚生活、また加齢の変化について理解できる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①性行動の選択についての例や妊娠出産に活用できる母子保健サービスの例をあげることができる。</p> <p>②人工妊娠中絶が及ぼす影響について説明できる。</p>			1	1・2	○
②	<p>3単元 生涯を通じる健康</p> <p>8.働くことと健康(P92~93)</p> <p>9.労働災害と健康(P94~95)</p> <p>10.健康的な職業生活(P96~97)</p> <p>4単元 健康を支える環境づくり</p> <p>1.大気汚染と健康(P100~101)</p> <p>2.水質汚濁、土壌汚染と健康(P102~103)</p> <p>3.環境と健康にかかわる対策(P104~105)</p> <p>4.ごみの処理と上下水道の整備(P106~107)</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>①働くことの意義や労働災害について理解できる。</p> <p>②大気汚染・水質汚濁・土壌汚染の原因と健康影響について理解できる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①労働災害を防止するために必要なことや余暇の意義について説明できる。</p> <p>②複合的な環境汚染の発生のしくみやごみの処理の現状と課題について説明できる。</p>			2	3・4	○
③	<p>4単元 健康を支える環境づくり</p> <p>5.食品の安全性(P110~111)</p> <p>6.食品衛生にかかわる活動(P112~113)</p> <p>7.保健サービスとその活用(P116~117)</p> <p>8.医療サービスとその活用(P118~119)</p> <p>9.医薬品の制度とその活用(P120~121)</p> <p>10.さまざまな保健活動や社会対策(P124~125)</p> <p>11.健康に関する環境づくりと社会参加(P126~127)</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>①食品の安全性や製造者の役割について理解できる。</p> <p>②保健行政の役割や医療保険の仕組みについて理解できる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①食品の安全性に関する今日の課題について説明できる。</p> <p>②保健サービスの活用の例や行政機関による社会的対策について例をあげて説明できる。</p>			3	5・6	○
学習方法							
【添削指導(報告課題)】							
<p>1 マイページ内の「講座視聴」の学習を終えること。</p> <p>2 教科書を見ながら報告課題に取り組み、期限内に提出すること。</p> <p>3 各回の添削指導後も、疑問点などがあれば、質問メールや面接指導時を活用してそれらの解消に努めること。</p>							
【面接指導(スクーリング)】							
<p>1 自宅学習に必要な基礎的・基本的な知識や技能を学ぶ機会とすること。</p> <p>2 教員から直接指導を受けたり、他の生徒と議論や協力をしながら学習に取り組むこと。</p>							
【定期試験】							
<p>1 実施回数 前期に1回、後期に1回実施する。</p> <p>2 出題範囲 報告課題の内容を中心とする。</p>							

評価方法

【知識・技能】報告課題、定期試験での成果にもとづき評価をする。

【思考・判断・表現】報告課題、面接指導、定期試験での成果にもとづき評価をする。

【主体的に学習に取り組む態度】マイページ内の「講座視聴」の学習および報告課題の取り組み状況、面接指導および定期試験の出席状況にもとづき評価をする。
評定は、3観点を点数化し、科目の目標や内容に照らし合せて、5段階評価を行う。

年間指導計画

教科等		科目		単位数	報告課題回数	定期試験回数
芸術		書道 I		2	6	2
面接指導			実施学年・クラス等	指導者名		
規定回数(1)	メディアによる減免回数 Web(2) 放送視聴(3)	(1)-(2)-(3)				
8	4 0	4				
※検定教科書は、発行者の番号・略称、教科書の記号・番号を記載	発行者の番号・略称または出版社名	教科書の記号・番号	書名			
教科書	2東書	書 I 701	書道 I			
副教材等	-	-	-			
学習目標						
<p>書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けている。【知識・技能】</p> <p>(2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい捉えたりすることができる。【思考・判断・表現】</p> <p>(3) 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造しようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。</p>						
定期試験範囲						
一学期末試験			学年末試験			
1 書写から書道へ 2 漢字の書 漢字の成立と変遷 古典に基づく学習 楷書			4 草書 隷書 篆書 5 仮名の書			
【添削指導(報告課題)】						
	学習範囲	単元目標		報告課題回数	Web授業回数	定期試験範囲 前期 後期
①	書写から書道へ	【知識・技能】 ①用具・用材の特徴と表現効果との関わりについて理解している。 ②目的や用途に即した効果的な表現、楷書と仮名や行書と仮名の調和した線質による表現を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ①中学校書写で学んだ漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した効果的な表現形式、意図に基づいた表現について構想し工夫している。		1	1・2	○
②	漢字の書 漢字の成立と変遷 古典に基づく学習 楷書	【知識・技能】 ①日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、漢字の書体の変遷、書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解している。 ②楷書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 【思考・判断・表現】 ①漢字の書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 ②楷書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。		2	3・4	○
③	行書	【知識・技能】 ①行書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ②線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。 ③行書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ①行書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫している。 ②行書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。		3	5・6	
④	草書 隷書 篆書	【知識・技能】 ①草書・隷書・篆書の各古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ②線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。 【思考・判断・表現】 ①草書・隷書・篆書の各古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫している。		4	7・8	○
⑤	仮名の書	【知識・技能】 ①日本の文字と書の伝統と文化、仮名の成立について理解している。 ②用具・用材の特徴と表現効果との関わり、線質や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 【思考・判断・表現】 ①仮名の古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 ②仮名の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。		5	9・10	○
⑥	漢字仮名交じりの書 篆刻・刻字	【知識・技能】 ①日本の文字と書の伝統と文化、仮名の成立について理解している。 ②用具・用材の特徴と表現効果との関わり、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。 【思考・判断・表現】 ①漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫している。		6	11・12	
学習方法						
【添削指導(報告課題)】						
1 マイページ内の「講座視聴」の学習を終えること。 2 教科書を見ながら報告課題に取り組み、期限内に提出すること。 3 各回の添削指導後も、疑問点などがあれば、質問メールや面接指導時を活用してそれらの解消に努めること。						
【面接指導(スクーリング)】						
1 自宅学習に必要な基礎的・基本的な知識や技能を学ぶ機会とすること。 2 教員から直接指導を受けたり、他の生徒と議論や協力をしながら学習に取り組むこと。						
【定期試験】						
1 実施回数 前期に1回、後期に1回実施する。 2 出題範囲 報告課題の内容を中心とする。						

評価方法

【知識・技能】報告課題、定期試験での成果にもとづき評価をする。

【思考・判断・表現】報告課題、面接指導、定期試験での成果にもとづき評価をする。

【主体的に学習に取り組む態度】マイページ内の「講座視聴」の学習および報告課題の取り組み状況、面接指導および定期試験の出席状況にもとづき評価をする。
評定は、3観点を点数化し、科目の目標や内容に照らし合せて、5段階評価を行う。

年間指導計画

教科等		科目		単位数	報告課題回数	定期試験回数	
外国語		英語コミュニケーションⅠ		3	9	2	
面接指導			実施学年・クラス等	指導者名			
規定回数(1)	メディアによる減免回数 Web(2)	放送視聴(3)					(1)-(2)-(3)
12	7	0	5				
※検定教科書は、発行者の番号・略称、教科書の記号・番号を記載		発行者の番号・略称または出版社名	教科書の記号・番号	書名			
教科書	東京書籍	CI701	All Aboard! English Communication I				
副教材等	-	-	-				
学習目標							
外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと[やり取り]、自分の考えやチームの意見を話すこと[発表]、書くこと等の五つの領域別の言語活動及びこれらをつなげた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。							
(1)必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。【思考・判断・表現】							
(2)必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。【思考・判断・表現】							
(3)基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやりとりを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりしようすることができる。【主体的に学習に取り組む態度】							
(4)基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。【知識・技能】							
(5)基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。【知識・技能】							
以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。							
定期試験範囲							
一学期末試験			学年末試験				
報告課題1・2回目 (Warm-Up ①②③~Lesson 3)			報告課題5・6・7回目 (Lesson 6~Lesson 8)				
【添削指導(報告課題)】							
	学習範囲	単元目標			報告課題回数	Web授業回数	定期試験範囲 前期 後期
①	Warm-Up ①②③ Pre-Lesson 1・2 Lesson 1	【知識・技能】 Warm Up①②③:教室で使う表現の理解・辞書の使い方が理解できる。 【思考・判断・表現】 Pre-Lesson 1・2:自分の名前・性格・日常の行動などを相手に伝えることができる。(be動詞・一般動詞) Lesson 1:自分の考えや好み、その理由などを伝える(過去形)ことができる。			1	1・2	○
②	Lesson 2 Lesson 3	【思考・判断・表現】 Lesson2:好きな動物について、考えや好み、理由などを伝え合う(進行形)ことができる。 Lesson3:自分ができるところ・できないことについて情報や考えを伝え合う(助動詞)ことができる。			2	3・4	○
③	Lesson 4	【思考・判断・表現】 Lesson4:自分が行ってみたい場所やしたいことについて情報や考え、気持ちを伝え合う(to不定詞)ことができる。			3	5・6	
④	Lesson 5 Reading 1	【知識・技能】 Lesson5:将来の夢や先週末に楽しんだことについて、考えや気持ち、情報を伝え合う(動名詞)ことができる。 Reading1:英語で書かれたShort Storiesを読み、それぞれの場面の心情を読み取ることができる。			4	7・8	
⑤	Lesson 6	【思考・判断・表現】 Lesson6:好きな絵の紹介とその理由について情報や考え、気持ちを話して伝え合う(受け身)ことができる。			5	9・10	○
⑥	Lesson 7	【思考・判断・表現】 Lesson7:アンネ・フランクについて学び、関心のある人物について自分で調べた事柄を用いて、考えなどを伝え合う(比較表現)ことができる。			6	11・12	○
⑦	Lesson 8	【思考・判断・表現】 Lesson8:ロボットカフェについて学び、ロボットについて自分で調べた事柄を用いて、人の生活を豊かにするロボットのアイデアを提案する(現在完了形)ことができる。			7	13・14	○
⑧	Lesson 9	【思考・判断・表現】 Lesson9:プラスチックごみによる環境汚染の問題について学び、調べた事柄を整理・理解する。自分で調べた事柄を用いて自分たちにできることを伝え合う(名詞を後ろから説明する分詞)ことができる。			8	15・16	
⑨	Lesson 10 Reading 2	【知識・技能】 Reading2:The Wizard of Ozの内容を読み取り、場面や登場人物の心情を読み取ることができる。 【思考・判断・表現】 Lesson10:海外の文化や社会を理解する手段について自分で調べた事柄を用いて考えや情報を話して伝え合う(関係代名詞who, which)ことができる。			9	17・18	
学習方法							
【添削指導(報告課題)】							
1 マイページ内の「講座視聴」の学習を終えること。							
2 教科書を見ながら報告課題に取り組み、期限内に提出すること。							
3 各回の添削指導後も、疑問点などがあれば、質問メールや面接指導時を活用してそれらの解消に努めること。							
【面接指導(スクーリング)】							
1 自宅学習に必要な基礎的・基本的な知識や技能を学ぶ機会とすること。							
2 教員から直接指導を受けたり、他の生徒と議論や協力をしながら学習に取り組むこと。							
【定期試験】							
1 実施回数 前期に1回、後期に1回実施する。 2 出題範囲 報告課題の内容を中心とする。							
評価方法							
【知識・技能】報告課題、定期試験での成果にもとづき評価をする。							
【思考・判断・表現】報告課題、面接指導、定期試験での成果にもとづき評価をする。							
【主体的に学習に取り組む態度】マイページ内の「講座視聴」の学習および報告課題の取り組み状況、面接指導および定期試験の出席状況にもとづき評価をする。							
評定は、3観点を点数化し、科目の目標や内容に照らし合わせて、5段階評価を行う。							

年間指導計画

教科等		科目		単位数	報告課題回数	定期試験回数
外国語		英語コミュニケーションⅡ		4	12	2
面指指導				実施学年・クラス等		指導者名
規定回数(1)	メディアによる減免回数		(1)-(2)-(3)			
16	Web(2)	放送視聴(3)	7			
※検定教科書は、発行者の番号・略称、教科書の記号・番号を記載		発行者の番号・略称または出版社名	教科書の記号・番号	書名		
教科書	東京書籍	CII701	All Aboard! English Communication II			
副教材等	-	-	-			
学習目標						
<p>外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれら結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握することができる。【思考・判断・表現】</p> <p>(2)必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握することができる。【思考・判断・表現】</p> <p>(3)日常的話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りができる。【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>(4)日常的話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができる。【知識・技能】</p> <p>(5)日常的話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落からなる文章で詳しく書いて伝えることができる。【知識・技能】</p> <p>以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。</p>						
定期試験範囲						
一学期末試験			学年末試験			
Pre-Lesson ~ Lesson3 (P8~P41)			Lesson6 ~ Lesson8 (P78~P119)			
【添削指導(報告課題)】						
	学習範囲	単元目標		報告課題回数	Web授業回数	定期試験範囲 前期 後期
①	(p.8~19) Pre-Lesson My Plans for This Year 今年やってみたいこと Lesson 1 A Colorful Island プラーン島	【知識・技能】 ①to不定詞や動詞willなどを用いた文の形・意味を理解している。②今年やってみたいことなどを、to不定詞や動詞willなどを用いて、相手に伝える技能を身に付けている。③関係代名詞whatの理解をもとに、海外の観光地について学んだり、海外で行ってみたい場所やそこでやりたいことについて、自分で調べた事柄を用いて、情報や考え、気持ちを話して伝え合う技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ①今年やってみたいことなどを整理して、相手に理解しやすく伝えていく。②海外の観光地に関して調べた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、海外で行ってみたい場所やそこでやりたいことについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考え、気持ちを話したり書いたりして伝え合っている。		1	1・2	○
②	(P20~P29) Lesson 2 With the Beatles サムのリクエスト	【知識・技能】 ①比較表現(more)(the most)を用いた文の形・意味を理解している。また、世帯を超えて人気のある音楽バンドについて学んだり、好きな人物について自分で調べた事柄を用いて、理由などを話して伝え合う技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 世帯を超えて人気のある音楽バンドに関して調べた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、好きな人物について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、好きな理由などを話したり書いたりして伝え合っている。		2	3・4	○
③	(P30~P41) Lesson 3 Wild Men ワイルドマンの世界	【知識・技能】 ①itを用いた文(It is ... (for ...) to ...)(It is ... that ...)の形・意味を理解している。また、ヨーロッパの国々の祭りに登場するワイルドマンについて学んだり、身近な行事について調べた事柄を整理・理解している。②itを用いた文(It is ... (for ...) to ...)(It is ... that ...)の理解をもとに、ヨーロッパの国々の祭りに登場する「ワイルドマン」について学んだり、身近な行事について自分で調べた事柄を用いて、情報や考えなどを話して伝え合う技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ヨーロッパの国々の祭りに登場する「ワイルドマン」に関して調べた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、身近な行事について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合っている。		3	5・6	○
④	(P42~P55) Lesson 4 Little Hero ハチドリのおすく	【知識・技能】 ①間接疑問文の形・意味を理解している。また、ハチドリやハチドリを主人公にした物語について学んだり、好きな物語について調べた事柄を整理・理解している。②間接疑問文の理解をもとに、ハチドリやハチドリを主人公にした物語について学んだり、自分で調べた事柄を用いて、考えや理由などを話して伝え合う技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ハチドリを紹介する記事とハチドリを主人公にして書かれた物語の文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、好きな物語について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、考えや理由などを話したり書いたりして伝え合っている。		4	7・8	
⑤	(P56~P69) Lesson 5 Special Makeup in Kabuki 歌舞伎メイクの物語	【知識・技能】 ①to不定詞を含む表現を用いた文の形・意味を理解している。また、歌舞伎と関取について学んだり、日本の伝統文化について調べた事柄を整理・理解している。②to不定詞を含む表現の理解をもとに、歌舞伎と関取について学んだり、日本の伝統文化について自分で調べた事柄を用いて、情報や考えなどを話して伝え合う技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 歌舞伎と関取について解説する歌舞伎教室の音声ガイドの文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、日本の伝統文化について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合っている。		5	9・10	
⑥	(P70~P77) Reading 1 Mujina	【知識・技能】 ①英語で書かれたMujinaの内容を理解している。②英語で書かれたMujinaの内容を読み取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 英語で書かれたMujinaの内容に関する問いに答えている。また、英語で書かれたMujinaを、情景や登場人物の心情が、聞いている相手に伝わりやすいように整理できている。		6	11・12	
⑦	(p.78~91) Lesson 6 Seeds for Future Generations 伝統野菜を未来につなぐ	【知識・技能】 ①動詞の目的語となる(何)を用いた文の形・意味を理解している。また、京野菜について学んだり、京野菜のポスターに書かれた事柄や地元の有名人の場所やものについて調べた事柄を整理・理解している。②動詞の目的語となる(何)の理解をもとに、京野菜について学んだり、地元の有名人の場所やものについて自分で調べた事柄を用いて、地元の有名人の場所やものについて紹介するポスターを作成して、考えや情報などを話して伝え合う技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 伝統野菜に関して調べた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、地元の有名人の場所やものについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、考えや情報などを話したり書いたりして伝え合っている。		7	13・14	○
⑧	(p.92~105) Lesson 7 Over the Wall アウトで世界をつなぐ	【知識・技能】 ①関係副詞where, whenを用いた文の形・意味を理解している。また、世界中で壁面を描く活動について学んだり、外国の人々と交流する方法について調べた事柄を整理・理解している。②関係副詞where, whenの理解をもとに、世界中で壁面を描く活動について学んだり、外国の人々と交流する方法について自分で調べた事柄を用いて、情報や考えなどを話して伝え合う技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 世界中で壁面を描く活動に関して調べた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、外国の人々と交流する方法について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合っている。		8	15・16	○
⑨	(p.106~119) Lesson 8 Inspiration from Nature 自然のデザインに学ぶ	【知識・技能】 ①知覚動詞を用いた文の形・意味を理解している。また、生物模倣について学んだり、自然界のデザインをヒントに開発された製品について調べた事柄を整理・理解している。②知覚動詞の理解をもとに、生物模倣について学んだり、自然界のデザインをヒントに開発された製品について自分で調べた事柄を用いて、紹介記事を作成し、情報などを話して伝え合う技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生物模倣についてのオンライン講演の要約に関して調べた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自然界のデザインをヒントに開発された製品について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報などを話したり書いたりして伝え合っている。		9	17・18	○
⑩	(p.120~133) Lesson 9 The Bitter Truth behind Chocolate 甘いチョコレートの苦い現実	【知識・技能】 ①使役動詞を用いた文の形・意味を理解している。また、チョコレートをめぐる社会問題とその解決策について学んだり、その問題について調べた事柄を整理・理解している。②使役動詞の理解をもとに、チョコレートをめぐる社会問題とその解決策について学んだり、その問題について自分で調べた事柄を用いて、情報や考えなどを話して伝え合う技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 チョコレートをめぐる社会問題とその解決策に関して調べた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、チョコレートをめぐる社会問題とその解決策について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合っている。		10	19・20	
⑪	(p.134~147) Lesson 10 Fighting Angel ナイチンゲール	【知識・技能】 ①分詞構文を用いた文の形・意味を理解している。また、ナイチンゲールの生涯について学んだり、人を助ける職業について調べた事柄を整理・理解している。②分詞構文の理解をもとに、ナイチンゲールの生涯について学んだり、人を助ける職業について自分で調べた事柄を用いて、情報や考えなどを話して伝え合う技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 医療と看護の発展に一生を捧げたナイチンゲールの生涯に関して調べた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、人を助ける職業について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合っている。		11	21・22	
⑫	(p.148~155) Reading 2 Bear's Pie	【知識・技能】 ①自分たちで結末を考え、英語で書かれたBear's Pieの内容を理解している。また、登場人物の気持ちや聞いている者に伝わりやすいように、朗読する知識を身に付けている。 ②英語で書かれたBear's Pieの内容を読み取り、物語の結末を考え、配役を決めて、朗読劇を演じる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 英語で書かれたBear's Pieの内容に関する問いに英語で答えている。また、英語で書かれたBear's Pieを、登場人物の気持ちや聞いている者に伝わりやすいように、朗読する要点を捉えている。		12	23・24	
学習方法						

【添削指導(報告課題)】

- 1 マイページ内の「講座視聴」の学習を終えること。
- 2 教科書を見ながら報告課題に取り組み、期限内に提出すること。
- 3 各回の添削指導後も、疑問点などがあれば、質問メールや面接指導時を活用してそれらの解消に努めること。

【面接指導(スクーリング)】

- 1 自宅学習に必要な基礎的・基本的な知識や技能を学ぶ機会とすること。
- 2 教員から直接指導を受けたり、他の生徒と議論や協力をしながら学習に取り組むこと。

【定期試験】

- 1 実施回数 前期に1回、後期に1回実施する。 2 出題範囲 報告課題の内容を中心とする。

評 価 方 法

【知識・技能】報告課題、定期試験での成果にもとづき評価をする。

【思考・判断・表現】報告課題、面接指導、定期試験での成果にもとづき評価をする。

【主体的に学習に取り組む態度】マイページ内の「講座視聴」の学習および報告課題の取り組み状況、面接指導および定期試験の出席状況にもとづき評価をする。

評定は、3観点を点数化し、科目の目標や内容に照らし合せて、5段階評価を行う。

年間指導計画

教科等			科目			単位数	報告課題回数	定期試験回数	
外国語			論理・表現 I			2	6	2	
面接指導			実施学年・クラス等			指導者名			
規定回数(1)	メディアによる減免回数		(1)-(2)-(3)	4	書名				
	Web(2)	放送視聴(3)							
8	4	0							
※検定教科書は、発行者の番号・略称、教科書の記号・番号を記載			教科書の記号・番号			書名			
教科書	東京書籍	論 I 701	NEW FAVORITE English Logic and Expression I						
副教材等	-	-	-						
学習目標									
<p>外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれら結び付けられた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>(1)英語の特徴やさまじを理解するとともに、それらと言語活動とを効果的に関連付け、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けることができる。【知識・技能】 (2)具体的な課題等を設定し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、これらを論理的に適切な英語で表現したり、伝え合ったりすることができる。【思考・判断・表現】 (3)関心のある事柄や学校生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、やり取りの具体的な進め方が十分に示される状況で、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合ったり、やり取りを通して必要な情報を得たりしようとしている。また、やり取りした内容を整理して発表したり、文章を書いたりしようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。</p>									
定期試験範囲									
一学期末試験					学年末試験				
報告課題1・2回目(Unit1 Lesson1~Lesson6)					報告課題4・5回目(Unit1 Lesson10~12, Unit2 Lesson1~Lesson4)				
【添削指導(報告課題)】									
	学習範囲	単元目標			報告課題回数	Web授業回数	定期試験範囲	前期	後期
①	Unit1 Lesson1 初めての食事 Lesson2 道に迷う Lesson3 人物紹介	Lesson1【知識・技能】 ①食事に関する語彙や重要表現を理解することができる。②未来表現、可算名詞・不可算名詞、受動態について、正しく理解している。 Lesson1【思考・判断・表現】 ①食事を褒める、勧める、断ることができる。 Lesson2【知識・技能】 ①道案内や場所・方向に関する語彙や重要表現を理解することができる。 Lesson2【思考・判断・表現】 ①道順を誰かに尋ねる、道順を誰かに正しく伝えることができる。②提案したり、提案に応えることができる。 Lesson3【知識・技能】 ①人の性格や活動、趣味に関する語彙や誰かを紹介するときの重要表現を理解することができる。 Lesson3【思考・判断・表現】 ②現在完了形と過去形の違い、to不定詞と動名詞の違いについて、正しく理解している。 Lesson【思考・判断・表現】 ①身近な人を誰かに紹介することができる。			1	1・2		○	
②	Lesson4 体調が悪い Lesson5 買い物 Lesson6 行ってみたい場所	Lesson4【知識・技能】 ①病気や症状、体の部位に関する語彙や、それを伝えるための重要表現を理解することができる。 ②冠詞・人称代名詞、shouldとhad betterについて、正しく理解している。 Lesson4【思考・判断・表現】 ①体調が悪いことを伝えたり、相手の体調やアレルギーについて尋ねる、相手に指示や助言をすることができる。 Lesson5【知識・技能】 ①スーパーや食料品店で使用される語彙、食材に関する語彙や買い物に関する重要表現の理解することができる。 ②現在形と現在進行形、現在完了形と過去形について、それぞれ違いを正しく理解している。 Lesson5【思考・判断・表現】 ①場所の説明、言い方の質問・説明、描写、相づちなどを適切に表現することができる。 Lesson6【知識・技能】 ①旅行に関する語彙や重要表現を理解することができる。②後置修飾、to不定詞と動名詞について、正しく理解している。 Lesson6【思考・判断・表現】 ①行きたい場所の希望、理由を列挙、その理由をサポートする方法を英語で表現することができる。			2	3・4		○	
③	Lesson7 イベントに誘われる Lesson8 スクールカウンセラーに相談 Lesson9 お気に入りを紹介	Lesson7【知識・技能】 ①イベント等に関する語彙や、誘ったり断る際の重要表現を理解することができる。②未来表現について、正しく理解している。 Lesson7【思考・判断・表現】 ①イベントや自宅などに誘う、誘いを承諾する、誘いを断る、断る理由を述べる、返事を保留することができる。 Lesson8【知識・技能】 ①学習に関する語彙や、それに伴う重要表現を理解することができる。 Lesson8【思考・判断・表現】 ①手伝いを申し出る/困っている人に声をかける、助言や提案をする、お礼や感謝を伝えることができる。 Lesson9【知識・技能】 ①英語や本に関する語彙や、感想を述べるときの重要表現を理解することができる。②前置修飾、後置修飾について、正しく理解している。 Lesson9【思考・判断・表現】 ①映画や本のあらすじを要約したり、登場人物などを紹介することができる。②英語や本の感想や批評を述べることができる。			3	5・6			
④	Lesson10 待ち合わせに遅刻 Lesson11 家庭でのディスカッション Lesson12 英字新聞に投稿	Lesson10【知識・技能】 ①謝罪や許すときの語彙、待ち合わせや約束に関する語彙や、それに関する重要表現を理解することができる。②使役動詞、to不定詞と動名詞について、正しく理解している。 Lesson10【思考・判断・表現】 ①相手に謝る、相手を励ますことができる。 Lesson11【知識・技能】 ①政府やコミュニティに関する語彙や地域活動に関する重要表現を理解することができる。 ②仮定法について正しく理解している。 Lesson11【思考・判断・表現】 ①相手の意見に賛成・反対を述べたり、残念な気持ちを述べる、解決案を提案することができる。 Lesson12【知識・技能】 ①学校の施設や持ち物、学校の行事や行為に関する語彙や重要表現を理解することができる。 Lesson12【思考・判断・表現】 ①要望や主張を述べたり、その理由を述べるすることができる。			4	7・8		○	
⑤	Unit2 Lesson1 クラスでディベート① Lesson2 クラスでディベート② Lesson3 経験談のスピーチ Lesson4 遊びやスポーツを紹介	Lesson1【知識・技能】 ①値段や支払い、オンラインショッピング等に関する基礎的な語彙や重要表現を理解することができる。②to不定詞と動名詞について、正しく理解している。 Lesson1【思考・判断・表現】 ①理由を述べる、例を挙げる、ディベートの進行をする、だれかが発言した後に一言付け加えることができる。 Lesson2【知識・技能】 ①ネットでの買い物や配送、お店での買い物等買い物全般に関する応用的な語彙や重要表現を理解することができる。②否定語の使い方について、正しく理解している。 Lesson2【思考・判断・表現】 ①相手の意見を引用し、反駁する表現や、相手の意見を認めながらも反駁する表現を使うことができる。 Lesson3【知識・技能】 ①持ち物や決まりに関する語彙、思いがけないできごとや気持ちを表す語彙や重要表現を理解することができる。②後置修飾、受動態について、正しく理解している。 Lesson3【思考・判断・表現】 ①過去のできごとを生きた生と描写したり、物事が起こった背景を説明することができる。経験からアドバイスをすることができる。 Lesson4【知識・技能】 ①スポーツやゲームに関する語彙、重要表現を理解することができる。②現在完了形と過去形の違いについて、正しく理解している。 Lesson4【思考・判断・表現】 ①ルールや手順を順序立てて説明したり、聞き手の知識に合わせて説明することができる。			5	9・10		○	
⑥	Lesson5 日本をPR Lesson6 物事の両面を伝える Lesson7 読み手を納得させる Lesson8 読み手を説得する	Lesson5【知識・技能】 ①習慣や行動、国民性、文化・伝統に関する語彙や重要表現を理解することができる。 ②and, but, soなどの接続詞を正しく理解している。 Lesson5【思考・判断・表現】 ①事実と意見を区別して述べたり、文化や習慣について説明することができる。 Lesson6【知識・技能】 ①ペットの種類や行動・性格、飼い方に関する語彙や重要表現を理解することができる。 ②名詞と無生物主語について、正しく理解している。 Lesson6【思考・判断・表現】 ①利点と欠点を述べたり、話題を発展させる、話題を変えることができる。 Lesson7【知識・技能】 ①映画鑑賞に関する語彙や重要表現を理解することができる。 Lesson7【思考・判断・表現】 ①自分の主張について理由を説明したり、理由を要約してまとめることができる。 Lesson8【知識・技能】 ①クラブ活動やボランティア活動に関する語彙や重要表現を理解することができる。 Lesson8【思考・判断・表現】 ①人の発言を直接引用したり、条件を出して意見を述べる、また説得することができる。			6	11・12			
学習方法									

【添削指導(報告課題)】

1 マイページ内の「講座視聴」の学習を終えること。 2 教科書を見ながら報告課題に取り組み、期限内に提出すること。 3 各回の添削指導後も、疑問点などがあれば、質問メールや面接指導時を活用してそれらの解消に努めること。

【面接指導(スクーリング)】

1 自宅学習に必要な基礎的・基本的な知識や技能を学ぶ機会とすること。 2 教員から直接指導を受けたり、他の生徒と議論や協力をしながら学習に取り組むこと。

【定期試験】 1 実施回数 前期に1回、後期に1回実施する。 2 出題範囲 報告課題の内容を中心とする。

評価方法

【知識・技能】報告課題、定期試験での成果にもとづき評価をする。

【思考・判断・表現】報告課題、面接指導、定期試験での成果にもとづき評価をする。

【主体的に学習に取り組む態度】マイページ内の「講座視聴」の学習および報告課題の取り組み状況、面接指導および定期試験の出席状況にもとづき評価をする。

評定は、3観点を点数化し、科目の目標や内容に照らし合せて、5段階評価を行う。

年間指導計画

教科等		科目		単位数	報告課題回数	定期試験回数	
外国語		論理・表現Ⅱ		2	6	2	
面接指導							
規定回数(1)	メディアによる減免回数		(1)-(2)-(3)	実施学年・クラス等	指導者名		
	Web(2)	放送視聴(3)					
8	4	0	4				
※検定教科書は、発行者の番号・略称、教科書の記号・番号を記載	発行者の番号・略称または出版社名	教科書の記号・番号	書名				
教科書	東京書籍	論Ⅱ701	NEW FAVORITE English Logic and Expression II				
副教材等	-	-	-				
学習目標							
<p>外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれら結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握することができる。【思考・判断・表現】</p> <p>(2)必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握することができる。【思考・判断・表現】</p> <p>(3)日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続けることができる。【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>(4)日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に注意して詳しく話して伝えることができる。【知識・技能】</p> <p>(5)日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができる。【知識・技能】</p> <p>以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。</p>							
定期試験範囲							
一学期末試験			学年末試験				
Unit1 Lesson1 ~ Lesson8(p8~39)			Unit2 Lesson1 ~ Lesson5 (p58~77)				
【添削指導(報告課題)】							
	学習範囲	単元目標			報告課題回数	Web授業回数	定期試験範囲 前期 後期
①	(P8~P23) Unit 1 Lesson 1 友達に報告する Unit 1 Lesson 2 日本での初登校 Unit 1 Lesson 3 経験についてのスピーチ Unit 1 Lesson 4 ファンレター	<p>Lesson1【知識・技能】①訂正する、心配する、感謝するときの表現の形・意味・用法を理解している。②学んだ知識を用いて、訂正する、心配する、感謝するときの表現を適切に適用し、自分の考えや気持ちなどを詳しく表現する技能を身に付けている。</p> <p>Lesson1【思考・判断・表現】①場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、発言や情報などを訂正したり、自分や相手について心配したり、相手に感謝したりして、自分の考えや気持ちなどを詳しく表現している。</p> <p>Lesson2【知識・技能】①驚く、繰り返す、言い換えるときの表現の形・意味・用法を理解している。②学んだ知識を用いて、驚く、繰り返す、言い換えるときの表現を適切に適用し、自分の考えや気持ちなどを詳しく表現する技能を身に付けている。</p> <p>Lesson2【思考・判断・表現】①場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、驚きやその原因・理由を表現したり、発言や情報などを繰り返したり、言い換えたりして、自分の考えや気持ちなどを詳しく表現している。</p> <p>Lesson3【知識・技能】①相手の知識や状況を理解し、適切な表現を用いて、1つのテーマに沿って話しながら、聞き手の注意を引いたり、同意を求めたりして、自分の考えや気持ちなどを詳しく表現している。</p> <p>Lesson3【思考・判断・表現】①相手の知識や状況を理解し、適切な表現を用いて、1つのテーマに沿って話しながら、聞き手の注意を引いたり、同意を求めたりして、自分の考えや気持ちなどを詳しく表現している。</p> <p>Lesson4【知識・技能】①望む、求めるときの表現の形・意味・用法を理解している。②学んだ知識を用いて、望む、求めるときの表現を適切に適用し、自分の考えや気持ちなどを詳しく表現する技能を身に付けている。</p> <p>Lesson4【思考・判断・表現】①相手の立場や状況を理解し、適切な表現を用いて、自分の望みを伝えたり、相手のすばいところを褒めたりして、自分の考えや気持ちなどを詳しく表現している。</p>			1	1・2	○
②	(P24~P39) Unit 1 Lesson 5 イベントに誘う Unit 1 Lesson 6 図書館で資料さがし Unit 1 Lesson 7 翻訳についてのスピーチ Unit 1 Lesson 8 通信販売で返品依頼	<p>Lesson5【知識・技能】①誘う、説明するときの表現の形・意味・用法を理解している。②学んだ知識を用いて、誘う、説明するときの表現を適切に適用し、自分の考えや気持ちなどを詳しく表現する技能を身に付けている。</p> <p>Lesson5【思考・判断・表現】①場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、相手を誘ったり、詳細を説明したりして、自分の考えや気持ちなどを詳しく表現している。</p> <p>Lesson6【知識・技能】①聞き直す、依頼するときの表現の形・意味・用法を理解している。②学んだ知識を用いて、聞き直す、依頼するときの表現を適切に適用し、自分の考えや気持ちなどを詳しく表現する技能を身に付けている。</p> <p>Lesson6【思考・判断・表現】①場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、相手の発言などについて聞き直したり、相手に依頼したりして、自分の考えや気持ちなどを詳しく表現している。</p> <p>Lesson7【知識・技能】①要約する、言い換えるときの表現の形・意味・用法を理解している。②学んだ知識を用いて、要約する、言い換えるときの表現を適切に適用し、自分の考えや気持ちなどを詳しく表現する技能を身に付けている。</p> <p>Lesson7【思考・判断・表現】①相手の知識や状況を理解し、適切な表現を用いて、1つのテーマに沿って話しながら、自説を要約したり、文意をわかりやすくするために言い換えたりして、自分の考えや気持ちなどを詳しく表現している。</p> <p>Lesson8【知識・技能】①困ったことを伝える・説明する、抱え込みに基づくなどの表現の形・意味・用法を理解している。②学んだ知識を用いて、困ったことを伝える・説明する、抱え込みに基づくなどの表現を適切に適用し、自分の考えや気持ちなどを詳しく表現する技能を身に付けている。</p> <p>Lesson8【思考・判断・表現】①相手の知識や状況を理解し、適切な表現を用いて、1つのテーマに沿って話しながら、自説を要約したり、文意をわかりやすくするために言い換えたりして、自分の考えや気持ちなどを詳しく表現している。</p>			2	3・4	○
③	(P40~P56) Unit 1 Lesson 9 タクシーの乗る Unit 1 Lesson 10 友達とディスカッション Unit 1 Lesson 11 比較結果のプレゼンテーション Unit 1 Lesson 12 就きたい職業	<p>Lesson9【知識・技能】①依頼する、提案するときの表現の形・意味・用法を理解している。②学んだ知識を用いて、依頼する、提案するときの表現を適切に適用し、自分の考えや気持ちなどを詳しく表現する技能を身に付けている。</p> <p>Lesson9【思考・判断・表現】①場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、質問や答えながら依頼したり、提案したりして、自分の考えや気持ちなどを詳しく表現している。</p> <p>Lesson10【知識・技能】①仮定する、反対するときの表現の形・意味・用法を理解している。②学んだ知識を用いて、仮定する、反対するときの表現を適切に適用し、自分の考えや気持ちなどを詳しく表現する技能を身に付けている。</p> <p>Lesson10【思考・判断・表現】①場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、さまざまな仮定をしたり、理由を加えながら反対したりして、自分の考えや気持ちなどを詳しく表現している。</p> <p>Lesson11【知識・技能】①報告する、比較して説明するときの表現の形・意味・用法を理解している。②学んだ知識を用いて、報告する、比較して説明するときの表現を適切に適用し、自分の考えや気持ちなどを詳しく表現する技能を身に付けている。</p> <p>Lesson11【思考・判断・表現】①相手の知識や状況を理解し、適切な表現を用いて、1つのテーマに沿って話しながら、さまざまな報告をしたり、さまざまな視点から見て説明したりして、自分の考えや気持ちなどを詳しく表現している。</p> <p>Lesson12【知識・技能】①説明する、理由を述べ、仮定するときの表現の形・意味・用法を理解している。②学んだ知識を用いて、説明する、理由を述べ、仮定するときの表現を適切に適用し、自分の考えや気持ちなどを詳しく表現する技能を身に付けている。</p> <p>Lesson12【思考・判断・表現】①相手の知識や状況を理解し、適切な表現を用いて、詳細を説明したり、理由を述べたり、さまざまな仮定をしたりして、自分の考えや気持ちなどを詳しく表現している。</p>			3	5・6	
④	(P58~P69) Unit 2 Lesson 1 クラスでディベート① Unit 2 Lesson 2 クラスでディベート② Unit 2 Lesson 3 クラスでディベート④	<p>Lesson1【知識・技能】①推論する、賛成・反対するときの表現の形・意味・用法を理解している。②学んだ知識を用いて、推論する、賛成・反対するときの表現を適切に適用し、自分の考えや気持ちなどを詳しく表現する技能を身に付けている。</p> <p>Lesson1【思考・判断・表現】①場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、論理的に推論したり、理由を説明して賛成・反対を表明したりして、自分の考えや気持ちなどを詳しく表現している。</p> <p>Lesson2【知識・技能】①主張する、推論する、賛成・反対するときの表現の形・意味・用法を理解している。②学んだ知識を用いて、主張する、推論する、賛成・反対するときの表現を適切に適用し、自分の考えや気持ちなどを詳しく表現する技能を身に付けている。</p> <p>Lesson2【思考・判断・表現】①場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、自説を主張したり、論理的に推論したり、理由を説明して賛成・反対を表明したりして、自分の考えや気持ちなどを詳しく表現している。</p> <p>Lesson3【知識・技能】①推論する、説明するときの表現の形・意味・用法を理解している。②学んだ知識を用いて、推論する、説明するときの表現を適切に適用し、自分の考えや気持ちなどを詳しく表現する技能を身に付けている。</p> <p>Lesson3【思考・判断・表現】①場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、論理的に推論したり、相手を説得しようとしたりして、自分の考えや気持ちなどを詳しく表現している。</p>			4	7・8	○
⑤	(P70~P77) Unit 2 Lesson 4 調査結果のプレゼンテーション Unit 2 Lesson 5 社会問題についてのスピーチ	<p>Lesson4【知識・技能】①報告する、望むときの表現の形・意味・用法を理解している。②学んだ知識を用いて、報告する、望むときの表現を適切に適用し、自分の考えや気持ちなどを詳しく表現する技能を身に付けている。</p> <p>Lesson4【思考・判断・表現】①相手の知識や状況を理解し、適切な表現を用いて、1つのテーマに沿って話しながら、さまざまな報告をしたり、自分の望みを伝えたりして、自分の考えや気持ちなどを詳しく表現している。</p> <p>Lesson5【知識・技能】①説明する、提案するときの表現の形・意味・用法を理解している。②学んだ知識を用いて、説明する、提案するときの表現を適切に適用し、自分の考えや気持ちなどを詳しく表現する技能を身に付けている。</p> <p>Lesson5【思考・判断・表現】①相手の知識や状況を理解し、適切な表現を用いて、1つのテーマに沿って話しながら、詳細を説明したり、自説を主張したり、提案したりして、自分の考えや気持ちなどを詳しく表現している。</p>			5	9・10	○
⑥	(P78~P90) Unit 2 Lesson 6 仮定して推論する Unit 2 Lesson 7 比較して説明する Unit 2 Lesson 8 読み手を説得する	<p>Lesson6【知識・技能】①仮定する、推論するときの表現の形・意味・用法を理解している。②学んだ知識を用いて、仮定する、推論するときの表現を適切に適用し、自分の考えや気持ちなどを詳しく表現する技能を身に付けている。</p> <p>Lesson6【思考・判断・表現】①相手の知識や状況を理解し、適切な表現を用いて、仮定したり、論理的に推論したりして、自分の考えや気持ちなどを詳しく表現している。</p> <p>Lesson7【知識・技能】①比較する、類似点と相違点を説明するときの表現の形・意味・用法を理解している。②学んだ知識を用いて、比較する、類似点と相違点を説明するときの表現を適切に適用し、自分の考えや気持ちなどを詳しく表現する技能を身に付けている。</p> <p>Lesson7【思考・判断・表現】①相手の知識や状況を理解し、適切な表現を用いて、さまざまな視点から比較したり、類似点と相違点を説明したりして、自分の考えや気持ちなどを詳しく表現している。</p> <p>Lesson8【知識・技能】①主張する、説得するときの表現の形・意味・用法を理解している。②学んだ知識を用いて、主張する、説得するときの表現を適切に適用し、自分の考えや気持ちなどを詳しく表現する技能を身に付けている。</p> <p>Lesson8【思考・判断・表現】①相手の知識や状況を理解し、適切な表現を用いて、論理的に主張したり、相手を説得したりして、自分の考えや気持ちなどを詳しく表現している。</p>			6	11・12	
学習方法							

【添削指導(報告課題)】

1 マイページ内の「講座視聴」の学習を終えること。 2 教科書を見ながら報告課題に取り組み、期限内に提出すること。 3 各回の添削指導後も、疑問点などがあれば、質問メールや面接指導時を活用してそれらの解消に努めること。

【面接指導(スクーリング)】

1 自宅学習に必要な基礎的・基本的な知識や技能を学ぶ機会とすること。 2 教員から直接指導を受けたり、他の生徒と議論や協力をしながら学習に取り組むこと。

【定期試験】 1 実施回数 前期に1回、後期に1回実施する。 2 出題範囲 報告課題の内容を中心とする。

評価方法

【知識・技能】報告課題、定期試験での成果にもとづき評価をする。 **【思考・判断・表現】**報告課題、面接指導、定期試験での成果にもとづき評価をする。

【主体的に学習に取り組む態度】マイページ内の「講座視聴」の学習および報告課題の取り組み状況、面接指導および定期試験の出席状況にもとづき評価をする。

評定は、3観点を点数化し、科目の目標や内容に照らし合わせて、5段階評価を行う。

年間指導計画

教科等			科目		単位数	報告課題回数	定期試験回数
家庭			家庭総合		4	12	2
面接指導			実施学年・クラス等		指導者名		
規定回数(1)	メディアによる減回回数		(1)-(2)-(3)				
	Web(2)	放送視聴(3)					
8	4	0	4				
※検定教科書は、発行者の番号・略称、教科書の記号・番号を記載	発行者の番号・略称または出版社名	教科書の記号・番号	書名				
教科書	東京書籍	家総701	家庭総合 自立・共生・創造				
副教材等	-	-	-				
学習目標							
<p>生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力で主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けている。【知識・技能】</p> <p>(2)家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を身に付けている。【思考・判断・表現】</p> <p>(3)様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするときに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実に資する実践的な態度を身に付けようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の仲長を図る。</p>							
定期試験範囲							
一学期末試験				学年末試験			
第1章 生涯を見通す(P.12～17) 第2章 人生をつくる(P.20～41) 第3章 子どもと共に育つ(P.44～73)				第6章 食生活をつくる(P.104～157) 第7章 衣生活をつくる(P.160～199)			
【添削指導(報告課題)】							
学習範囲	単元目標			報告課題回数	Web授業回数	定期試験範囲	
						前期	後期
① 第1章 生涯を見通す(p12～17)	【知識・技能】 ①人生のそれぞれの発達段階における課題や、現代の家族の特徴や機能について理解している。 【思考・判断・表現】 ①生活の営みに必要な金銭、生活時間などの生活資源について理解し、情報の収集・整理の仕方を理解し、情報を適切に取捨選択している。 ②どんな自分になりたいか、どんな人生を送りたいか自分らしい生き方を想像するとともに、将来の家庭生活及び職業生活について考察することができる。			1	1・2	○	
② 第2章 人生をつくる(p20～41)	【知識・技能】 ①生涯発達の視点から各ライフステージの特徴と課題について理解するとともに、青年期の課題である自立や男女の平等と協力、意思決定の重要性について理解している。 【思考・判断・表現】 ①家族・家庭の機能と家族関係、家族・家庭と法律、家庭生活と福祉などについて理解するとともに、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わり、家族・家庭を取り巻く社会環境の変化や課題について考察することができる。 ②どうすれば家族や地域、社会と協力・協働し、豊かな家庭生活や地域社会を創造していくことができるか考えることができる。			2	3・4	○	
③ 第3章 子どもと共に育つ(p44～73)	【知識・技能】 ①乳幼児期の心身の発達と生活、子供の遊びと文化、親の役割と保育、子育て支援について理解を深め、子供の発達に応じて適切に関わるための技能を学習している。 【思考・判断・表現】 ①子供を取り巻く社会環境の変化や課題及び子供の福祉について考察し、理解を深めている。 ②児童虐待などの子どもに対する不適切なかわり合いに陥らないように、社会全体で乳幼児をもつ親を支えていくことの重要性について考えることができる。			3	5・6	○	
④ 第4章 超高齢社会を共に生きる(p76～91)	【知識・技能】 ①高齢期の心身の特徴、高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護について理解を深め、高齢者の心身の状況に応じて適切に関わるための生活支援に関する技能を学習している。 【思考・判断・表現】 ①高齢者を取り巻く社会環境の変化や課題及び高齢者福祉について考察し、理解を深めている。 ②超高齢社会の現状と課題を学び、どのような高齢期を迎えたいか、考えることができる。			4	7・8		
⑤ 第5章 共に生き、共に支える(p94～99)	【知識・技能】 ①生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解している。 【思考・判断・表現】 ①家庭と地域との関わりについて理解するとともに、高齢者や障害のある人々など様々な人々が共に支え合って生きていることの意味について考察し、理解を深めている。 ②共に支え合って生きている社会を実現するために、個人や集団がどうつながり、助け合ったらいかがについて、人と人のネットワークや社会の制度、さらにそれを支える生活環境の整備などとも関連させて考えている。			5	9・10		
⑥ 第6章 食生活をつくる(p104～125)	【知識・技能】 ①よりよい食習慣を身に付け、生涯を健康に過ごすために、食生活の課題や食事の意義、食生活を取り巻く環境の変化を学習している。 【思考・判断・表現】 ①どうすれば朝食欠食が減るのか考え、自分が食べている朝食の献立を見直し、調理する場合に技術や知識を生かし、短時間で作り、手間のかからない献立を提案することができる。 ②自分や家族が健康に過ごす食生活に役立てるために、栄養素の種類と機能や食品の栄養的特質や調理法について科学的な理解を深めることができる。			6	11・12		
⑦ 第6章 食生活をつくる(p126～157)	【知識・技能】 ①ライフステージの特徴や課題に着目し、栄養の特徴、食品の栄養的特質、健康や環境に配慮した食生活について理解するとともに、自己と家族の食生活の計画・管理を学習する。 【思考・判断・表現】 ①食品の生産や流通・販売の多様化、輸入食品の増大、食料自給率の低下、外食や中食への依存などにより、食生活を取り巻く環境が変化している現状を理解し、資源やエネルギー、非常時に配慮した食品の購入、調理、保存などの技能を学習し、安全・健康・環境など広い視野からよりよい食生活について考えることができる。 ②食生活の自立に必要な調理の知識と技術を身に付けるために、調理や加工によりおいしさが変化することを科学的に捉えることができる。 ③配膳や食事形式のマナーに関心を持つことができる。			7	13・14		○
⑧ 第7章 衣生活をつくる(p160～179)	【知識・技能】 ①私たちが被服を着用するに至った、社会的・文化的背景と被服の多様な機能や特徴について理解している。 ②繊維(天然繊維、化学繊維)、糸、布の代表的な種類とそれらの特徴、性能について、実験や実験データ、デジタル教材等を活用するなどして理解し、適切な被服材料の選択と取扱いができる。 【思考・判断・表現】 ①被服の洗濯や保管方法を科学的に理解し、環境に配慮した衣生活について考え、実践しようとしている。			8	15・16		○
⑨ 第7章 衣生活をつくる(p180～199)	【知識・技能】 ①被服の機能、素材と管理の知識を応用しながら、目的に合った被服を制作するために、被服が身体の形に合せてどのように構成されているか、理解している。 【思考・判断・表現】 ①現代に受け継がれる日本の衣文化の工夫を受け継ぐために、日本の衣生活の変遷や日本の衣文化に込められる知恵や技術について知り、日本の民族衣装としての和服や世界の民族衣装など、被服と人との関係について考察し、理解を深めている。 ②次世代に引き継ぐ衣生活の在り方を考えるために、資源の消費の視点で自分の衣生活を見直すとともに、全ての人が健康、安全・快適な衣生活を営むためのユニバーサルデザインの被服について考察し、理解を深めている。			9	17・18		○
⑩ 第8章 住生活をつくる(p202～225)	【知識・技能】 ①住生活を取り巻く課題、日本と世界の住文化など、住まいと人との関わりについて学ぶ。 ②ライフステージの特徴や課題に着目し、住生活の特徴、防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について科学的に理解し、住生活の計画・管理に必要な技能を学ぶ。 【思考・判断・表現】 ①住居の機能、住空間の計画、住環境などについて科学的に理解し、住生活の文化に関心をもつとともに、必要な知識と技術を習得して、安全と環境に配慮し、主体的に住生活を営むことができる。			10	19・20		
⑪ 第9章 経済生活をつくる(p230～251)	【知識・技能】 ①家計の構造について理解するとともに生活における経済と社会との関わりについて学んでいる。 ②生涯を見通した生活における経済の管理や計画、リスク管理の考え方について理解を深め、情報の収集・整理することができる。 【思考・判断・表現】 ①販売方法や支払い方法が多様化する中で、契約の重要性について理解を深め、自立した消費者として責任ある消費行動を取ろうとしている。 ②生涯安定した経済生活を営めるように、経済的自立の重要性や生涯を見通した働き方について考察し、理解を深めている。			11	21・22		
⑫ 第10章 持続可能な生活を営む(p252～259) 第11章 これからの生活を創造する(p262～267)	【知識・技能】 ①生活と環境との関わりや持続可能な消費について理解するとともに、持続可能な社会へ参画することの意義について学んでいる。 【思考・判断・表現】 ①持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう、安全で安心な生活と消費及び生活文化について考察し、ライフスタイルを工夫することができる。 ②人生の目標を達成し、自分らしい生活が実現できるよう、各ライフステージの課題や生活資源、リスク管理について振り返りながら生活設計ができる。			12	23・24		
学習方法							

【添削指導(報告課題)】

- 1 マイページ内の「講座視聴」の学習を終えること。
- 2 教科書を見ながら報告課題に取り組み、期限内に提出すること。
- 3 各回の添削指導後も、疑問点などがあれば、質問メールや面接指導時を活用してそれらの解消に努めること。

【面接指導(スクーリング)】

- 1 自宅学習に必要な基礎的・基本的な知識や技能を学ぶ機会とすること。
- 2 教員から直接指導を受けたり、他の生徒と議論や協力をしながら学習に取り組むこと。

【定期試験】

- 1 実施回数 前期に1回、後期に1回実施する。
- 2 出題範囲 報告課題の内容を中心とする。

評価方法

【知識・技能】報告課題、定期試験での成果にもとづき評価をする。

【思考・判断・表現】報告課題、面接指導、定期試験での成果にもとづき評価をする。

【主体的に学習に取り組む態度】マイページ内の「講座視聴」の学習および報告課題の取り組み状況、面接指導および定期試験の出席状況にもとづき評価をする。
評定は、3観点を点数化し、科目の目標や内容に照らし合せて、5段階評価を行う。

年間指導計画

教科等		科目		単位数	報告課題回数	定期試験回数	
情報		情報 I		2	6	2	
面接指導			実施学年・クラス等	指導者名			
規定回数(1)	メディアによる減免回数						(1)-(2)-(3)
	Web(2)	放送視聴(3)					
4	2	0	2				
※検定教科書は、発行者の番号・略称、教科書の記号・番号を記載	発行者の番号・略称または出版社名	教科書の記号・番号	書名				
教科書	東京書籍	情 I 701	新編情報 I				
副教材等	-	-	-				
学習目標							
<p>情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次の通り育成することを目指す。</p> <p>(1)効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めている。【知識・技能】</p> <p>(2)様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用している。【思考・判断・表現】</p> <p>(3)情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画しようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>以上を踏まえ、「基礎的・基本的な知識・技能」、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」および「主体的に学習に取り組む態度」の伸長を図る。</p>							
定期試験範囲							
一学期末試験			学年末試験				
第1章 情報で問題を解決する 第2章 情報を伝える			第4章 データを活用する 第5章 活動して提案する				
【添削指導(報告課題)】							
	学習範囲	単元目標			報告課題回数	Web授業回数	定期試験範囲 前期 後期
①	第1章 情報で問題を解決する	【知識・技能】 ①知的財産や個人情報取り扱いを理解し、情報モラルに対する意識が向上している。 【思考・判断・表現】 ①問題解決を行うに際して、プロセスを意識し、情報技術を活用してより良く解決することができる。			1	1・2	○
②	第2章 情報を伝える	【知識・技能】 ①インターネット上のコミュニケーションの特徴を理解し、適切な情報発信や受け取った情報の信頼性を適切に判断することができる。 【思考・判断・表現】 ①UDなど、情報デザインの活用に触れ、効果的なコミュニケーションの活用方法を習得している。			2	3・4	○
③	第3章 コンピュータを活用する	【知識・技能】 ①アルゴリズムを理解し、問題解決のためのプログラミングの基礎的な技能を習得している。 【思考・判断・表現】 ①コンピュータの構成と処理の仕組みや論理回路を理解し、コンピュータに対して科学的な視点を持って対応することができる。			3	5・6	
④	第4章 データを活用する	【知識・技能】 ①情報セキュリティの基礎的な知識を習得するとともに、サイバー犯罪などの社会問題について理解している。 【思考・判断・表現】 ①インターネットの構成、データ伝送の仕組み、サーバの働きを理解し、ネットワークに対して科学的な視点で考えることができる。			4	7・8	○
⑤	第5章 活動して提案する	【知識・技能】 ①各種ソフトウェアの基本的な活用ができている(表計算ソフト・Scratch・Pythonなど)。 【思考・判断・表現】 ①職業観を養い、勤労を重んずる態度を身に付けることができる。			5	9・10	○
⑥	<巻末> 各種ソフトウェアの操作 文字・色彩の基礎知識 プログラミングの基礎	【知識・技能】 ①情報に関する幅広い知識を習得している。 【思考・判断・表現】 ①情報技術を活用して、科学的な思考に基づいた表現ができる。			6	11・12	
学習方法							
【添削指導(報告課題)】							
1 マイページ内の「講座視聴」の学習を終えること。 2 教科書を見ながら報告課題に取り組み、期限内に提出すること。 3 各回の添削指導後も、疑問点などがあれば、質問メールや面接指導時を活用してそれらの解消に努めること。							
【面接指導(スクーリング)】							
1 自宅学習に必要な基礎的・基本的な知識や技能を学ぶ機会とすること。 2 教員から直接指導を受けたり、他の生徒と議論や協力をしながら学習に取り組むこと。							
【定期試験】							
1 実施回数 前期に1回、後期に1回実施する。 2 出題範囲 報告課題の内容を中心とする。							

評価方法

【知識・技能】報告課題、定期試験での成果にもとづき評価をする。

【思考・判断・表現】報告課題、面接指導、定期試験での成果にもとづき評価をする。

【主体的に学習に取り組む態度】マイページ内の「講座視聴」の学習および報告課題の取り組み状況、面接指導および定期試験の出席状況にもとづき評価をする。
評定は、3観点を点数化し、科目の目標や内容に照らし合せて、5段階評価を行う。

年間指導計画

教科等		科目			単位数	報告課題回数	定期試験回数
総合的な探究の時間		総合的な探究の時間Ⅰ・Ⅱ			2	6	-
規定回数(1)	メディアによる減免回数		(1)-(2)-(3)	実施学年・クラス等	指導者名		
	Web(2)	放送視聴(3)					
2	1	0	1				
※検定教科書は、発行者の番号・略称、教科書の記号・番号を記載	発行者の番号・略称または出版社名	教科書の記号・番号	書名				
教科書	-	-	-				
副教材等	-	-	-				
学習目標							
<p>探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解している。【知識・技能】</p> <p>(2)実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。【思考・判断・表現】</p> <p>(3)探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとしている。【主体性・多様性・協働性】</p> <p>以上を踏まえ、「生きて働く知識・技能」、「未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等」および「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度(主体性・多様性・協働性)」の伸長を図る。</p>							
活動内容							
	学習範囲	単元目標			報告課題回数	Web授業回数	定期試験範囲 前期 後期
①	入門Ⅰ(自分探し編) 自分探しイメージマップ作成 マップ提出/担任面談	<p>【知識・技能】 自分探しイメージマップを作成することで、自分自身を見つめ、客観的に分析する技術を身につける。</p> <p>【思考・判断・表現】 自分探しイメージマップを使い、担任と面談し、マップについて説明ができる。</p>			1		
②	入門Ⅱ(自分の夢探索編) 自分の夢探索マップ作成 マップ提出/担任面談	<p>【知識・技能】 自分の夢探索マップを作成することで、自分自身を見つめ、客観的に分析する技術を身につける。</p> <p>【思考・判断・表現】 自分の夢探索マップを使い、担任と面談し、マップについて説明ができる。</p>					
③	入門Ⅲ(自己紹介編) 自己紹介プレゼン作成 プレゼン作成/プレゼン発表	<p>【知識・技能】 自己紹介プレゼンを作成することで、さらに自分自身を見つめるとともに、プレゼンを作成する技術を身につける。</p> <p>【思考・判断・表現】 自己紹介プレゼンを作成し、プレゼンを行い、他からの評価を受ける。 (前期スクーリングでプレゼンを行、プレゼン資料を提出する)</p>			2		
④	入門Ⅳ(自分の興味編) 自分の興味を探索する 探究ボットの活用 課題の設定	<p>【知識・技能】 探究ボット(生成AI)を活用して課題の設定のやり方を知る。</p> <p>【思考・判断・表現】 探究ボット(生成AI)を活用して、課題を設定のやり方を知り、自分の考えを表現する。</p>			3		
⑤	入門Ⅴ(自分の興味編) 自分の興味を探索する 探究ボットの活用 課題の整理	<p>【知識・技能】 探究ボット(生成AI)を活用して課題の整理のやり方を知る。</p> <p>【思考・判断・表現】 探究ボット(生成AI)を活用して、課題の整理のやり方を知り、自分の考えを表現する。</p>			4		
⑥	入門Ⅵ(自分の興味編) 自分の興味を探索する 探究ボットの活用 課題のまとめ	<p>【知識・技能】 探究ボット(生成AI)を活用して課題のまとめのやり方を知る。</p> <p>【思考・判断・表現】 探究ボット(生成AI)を活用して、課題のまとめのやり方を知り、自分の考えを表現する。</p>			5		
⑦	入門Ⅶ(自分の興味編) 自分の興味を探索する 探究ボットの活用 プレゼンを作成する	<p>【知識・技能】 探究ボット(生成AI)を活用してプレゼンの作成のやり方を知る。</p> <p>【思考・判断・表現】 探究ボット(生成AI)を活用して、プレゼンの作成のやり方を知り、自分の考えを表現する。</p>			6		
学習方法							
<p>【添削指導(報告課題)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 自分探しイメージマップ・自分の夢探索マップを作成し、担任の面談を受ける。 自己紹介プレゼンを作成する。 探究ボット(生成AI)を活用して、課題を設定のやり方を知り、自分の考えを表現する。 探究ボット(生成AI)を活用して、課題の整理のやり方を知り、自分の考えを表現する。 探究ボット(生成AI)を活用して、課題のまとめのやり方を知り、自分の考えを表現する。 <p>【面接指導(スクーリング)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 自己紹介プレゼンを使い、担当教員にプレゼンを行う。 探究ボット(生成AI)を活用して、自分の興味についてまとめ、自分の考えを表現する。 <p>【定期試験】 実施しない</p>							
評価方法							
<p>【知識・技能】報告課題での成果にもとづき評価をする。</p> <p>【思考・判断・表現】報告課題、面接指導での成果にもとづき評価をする。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】報告課題、面接指導の取り組み状況にもとづき評価をする。</p>							

年間指導計画

教科等		科目			単位数	報告課題回数	定期試験回数
総合的な探究の時間		総合的な探究の時間Ⅲ			2	6	-
面接指導				実施学年・クラス等	指導者名		
規定回数(1)	メディアによる減免回数		(1)-(2)-(3)				
	Web(2)	放送視聴(3)					
2	1	0	1				
※検定教科書は、発行者の番号・略称、教科書の記号・番号を記載	発行者の番号・略称または出版社名	教科書の記号・番号	書名				
教科書	-	-	-				
副教材等	-	-	-				
学習目標							
<p>探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解している。【知識・技能】</p> <p>(2)実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。【思考・判断・表現】</p> <p>(3)探究に主体的・協働的に関わり合い、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとしている。【主体性・多様性・協働性】</p> <p>以上を踏まえ、「生きて働く知識・技能」、「未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等」および「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度(主体性・多様性・協働性)」の伸長を図る。</p>							
活動内容							
	学習範囲	単元目標	報告課題回数	Web授業回数	定期試験範囲		
					前期	後期	
①	入門Ⅰ(自分探し編) 自分探しイメージマップ作成 マップ提出/担任面談	【知識・技能】 自分探しイメージマップを作成することで、自分自身を見つめ、客観的に分析する技術を身につける。 【思考・判断・表現】 自分探しイメージマップを使い、担任と面談し、マップについて説明ができる。	1				
②	入門Ⅱ(自分の夢探索編) 自己の夢探索マップ作成 マップ提出/担任面談	【知識・技能】 自己の夢探索マップを作成することで、自分自身を見つめ、客観的に分析する技術を身につける。 【思考・判断・表現】 自己の夢探索マップを使い、担任と面談し、マップについて説明ができる。					
③	入門Ⅲ(自己紹介編) 自己紹介プレゼン作成 プレゼン作成/プレゼン発表	【知識・技能】 自己紹介プレゼンを作成することで、さらに自分自身を見つめるとともに、プレゼンを作成する技術を身につける。 【思考・判断・表現】 自己紹介プレゼンを作成し、プレゼンを行い、他からの評価を受ける。 (前期スクーリングでプレゼンを行、プレゼン資料を提出する)	2				
④	入門Ⅳ(自分の進路編) 自分の進路を探索する 進路ボットの活用 小論文・面接・志望理由	【知識・技能】 進路ボット(生成AI)を活用して、小論文・面接・志望理由作成の方法を知る。 【思考・判断・表現】 探究ボット(生成AI)を活用して、小論文・面接・志望理由作成の方法を知り、自分の考えを表現する。	4				
⑤	入門Ⅴ(自分の進路編) 自分の進路を探索する 進路ボットの活用 志望理由書の作成	【知識・技能】 進路ボット(生成AI)を活用して、志望理由作成の方法や構成を理解する。 【思考・判断・表現】 進路ボット(生成AI)を活用して、自分の進路について考え、志望理由として自分の考えを表現する。	5				
⑥	入門Ⅵ(自分の進路編) 自分の進路を探索する 進路ボットの活用	【知識・技能】 進路ボット(生成AI)を活用して、進路選択における小論文・面接・志望理由作成の一連の流れを理解する。 【思考・判断・表現】 進路ボット(生成AI)を活用して、自分の進路について考えたことをまとめ、言葉で伝える。	6				
学習方法							
【添削指導(報告課題)】							
<ol style="list-style-type: none"> 自分探しイメージマップ・自己の夢探索マップを作成し、担任の面談を受ける。 自己紹介プレゼンを作成する。 探究ボット(生成AI)を活用して、小論文・面接・志望理由作成の方法を知り、自分の考えを表現する。 進路ボット(生成AI)を活用して、自分の進路について考え、志望理由として自分の考えを表現する。 進路ボット(生成AI)を活用して、自分の進路について考えたことをまとめ、言葉で伝える。 							
【面接指導(スクーリング)】							
<ol style="list-style-type: none"> 自己紹介プレゼンを使い、担当教員にプレゼンを行う。 進路ボット(生成AI)を活用して、自分の進路について考えたことをまとめたことを、担当教員にプレゼンする。 							
【定期試験】 実施しない							
評価方法							
<p>【知識・技能】報告課題での成果にもとづき評価をする。</p> <p>【思考・判断・表現】報告課題、面接指導での成果にもとづき評価をする。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】報告課題、面接指導の取り組み状況にもとづき評価をする。</p>							

年間指導計画

教科等		科目		報告課題回数			
特別活動							
面接指導				実施学年・クラス等			
規定時数(1)	メディアによる減免回数		(1)-(2)-(3)				
	Web(2)	放送視聴(3)					
10	6	0	4				
活動目標							
<p>集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>(1)多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解するとともに、行動の仕方を身に付けている。【よりよい生活を築くための知識・技能】</p> <p>(2)集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができる。【集団や社会の形成者としての思考・判断・表現】</p> <p>(3)自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己表現を図ろうとする態度を養おうとしている。【主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度】</p> <p>以上を踏まえ、「よりよい生活を築くための知識・技能」「集団や社会の形成者としての思考・判断・表現」及び「主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度」の伸長を図る。</p>							
活動内容							
	1年次		2年次		3年次		報告課題回数
	活動項目	活動内容	活動項目	活動内容	活動項目	活動内容	
4月	学校行事	【入学式】 高校生活について	学校行事	【始業式】 新年度学校生活 今年度の目標	学校行事	【始業式】 新年度学校生活 今年度の目標	1
5月	ホームルーム活動	キャリアガイダンス	ホームルーム活動	キャリアガイダンス	ホームルーム活動	キャリアガイダンス	2
6月	ホームルーム活動	動画視聴(薬物乱用防止)	ホームルーム活動	動画視聴(薬物乱用防止)	ホームルーム活動	キャリアガイダンス	3
7月	ホームルーム活動	動画視聴(性教育)	ホームルーム活動	動画視聴(性教育)	ホームルーム活動	進路説明会	4
8月	ホームルーム活動	動画視聴(平和学習)	ホームルーム活動	動画視聴(平和学習)	ホームルーム活動	キャリアガイダンス	5
9月	ホームルーム活動	動画視聴(防災)	ホームルーム活動	動画視聴(防災)	ホームルーム活動	動画視聴(防災)	6
10月	ホームルーム活動	動画視聴(情報リテラシー)	ホームルーム活動	動画視聴(情報リテラシー)	ホームルーム活動	動画視聴(情報リテラシー)	7
11月	ホームルーム活動	動画視聴(交通)	ホームルーム活動	動画視聴(交通)	ホームルーム活動	動画視聴(交通)	8
12月	ホームルーム活動	動画視聴(人権)	ホームルーム活動	動画視聴(人権)	ホームルーム活動	動画視聴(人権)	9
1月	ホームルーム活動	進路説明会	ホームルーム活動	進路説明会	ホームルーム活動	キャリアガイダンス	10
2月	ホームルーム活動	動画視聴(消費者教育)	ホームルーム活動	動画視聴(消費者教育)	ホームルーム活動	キャリアガイダンス	11
3月	学校行事	【終業式】 今年度の反省 次年度へ向けて	学校行事	【終業式】 今年度の反省 次年度へ向けて	学校行事	卒業式	12
評価方法							
<p>【知識・技能】報告課題での成果にもとづき評価をする。</p> <p>【思考・判断・表現】報告課題、面接指導での成果にもとづき評価をする。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】報告課題、面接指導の取り組み状況にもとづき評価をする。</p>							